
市川町 まちづくりに関するアンケート
－ 報告書 －

令和元年（２０１９年）１２月
兵庫県 市川町

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1 性別構成	3
2 年齢別構成	3
3 家族構成	4
4 居住年数	5
5 職業別構成	6
6 通勤先・通学先	7
III 調査結果	9
【1】住みやすさなどについて	9
1 市川町を居住先として選んだ理由	9
2 市川町への好意度	10
3 市川町での住みやすさ	12
4 今後の永住意向	14
5 住み続けたい理由	16
6 住み続けたくない理由	19
7 J R 甘地駅・鶴居駅周辺整備において重要なこと	22
8 「住み続けたい市川町」を実現するために必要な取組	24
【2】日常生活について	27
1 日常生活における主な外出地域	27
2 外出時の移動手段	29
3 日頃、心掛けていること	31
4 近所の人との付き合い程度	37
5 地域の交流活動への参加状況	39
6 地域の交流活動への参加意向	42
【3】産業振興について	43
1 農林業振興のため力を入れるべきこと	43
2 商工業振興のため力を入れるべきこと	45
3 観光について力を入れるべきこと	47
【4】家庭生活について	49
1 ワーク・ライフ・バランスの推進に必要な取組	49
2 子どもの数を増やすための支援や対策	51
【5】まちづくりの満足度と重要度について	54
1 各施策の満足度と重要度	54

【6】自由記述回答集約結果-----	69
1 まちづくりに関する意見や提案等-----	69

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「市川町まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の見直しに当たって、市川町 のまちづくりに関する町民の意識や意見等を把握し、今後の計画づくりのための基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査対象】

18 歳以上の町民（住民基本台帳による無作為抽出）

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査時期】

令和元年（2019 年） 9 月

【回収結果】

配布数 ----- 2,000 件

有効回収数 ----- 851 件

有効回収率 ----- 42.6%

【地区別回収数】

	標本数	川辺 小学校区	瀬加 小学校区	甘地 小学校区	鶴居 小学校区	無回答
構成比(%)	100.0	28.7	19.6	24.8	26.8	0.1
件数(件)	851	244	167	211	228	1

※問1回答結果より

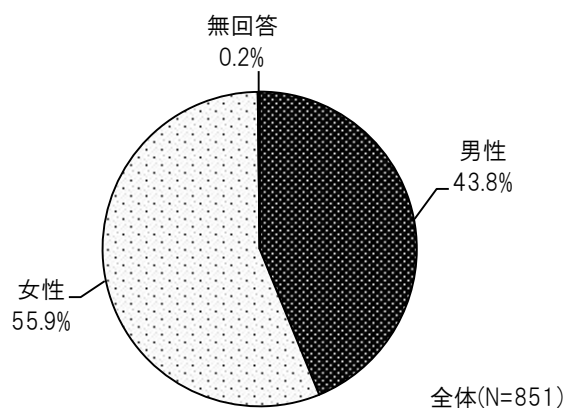
【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

Ⅱ 回答者の属性

1 性別構成

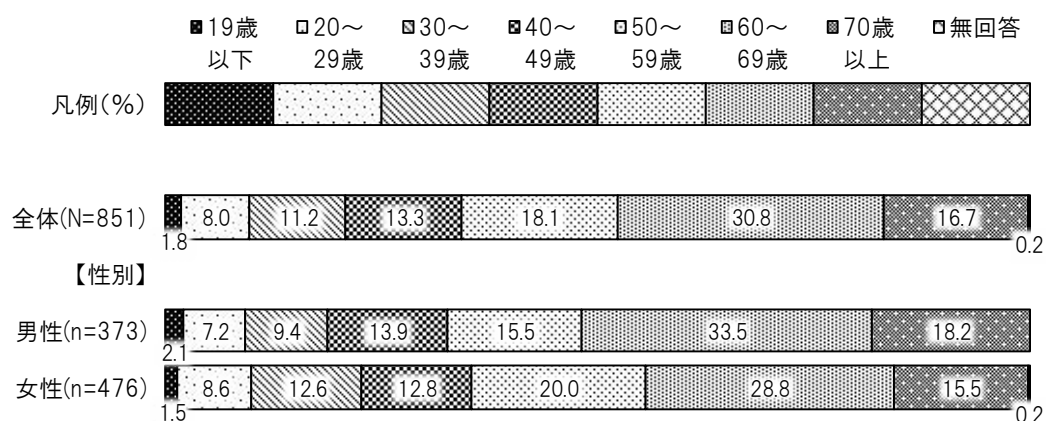
回答者の性別構成比は、「男性」が43.8%、「女性」が55.9%と、女性の割合が高い。



2 年齢別構成

年齢別構成は、「60～69歳」の割合が30.8%と最も高く、次いで「50～59歳」(18.1%)、「70歳以上」(16.7%)の順となっており、『60歳以上(合計)』で全体の約半数(47.5%)を占めている。

性別でみると、男性は女性に比べ「60～69歳」の割合がやや高く、女性は「50～59歳」の割合が男性をやや上回っている。

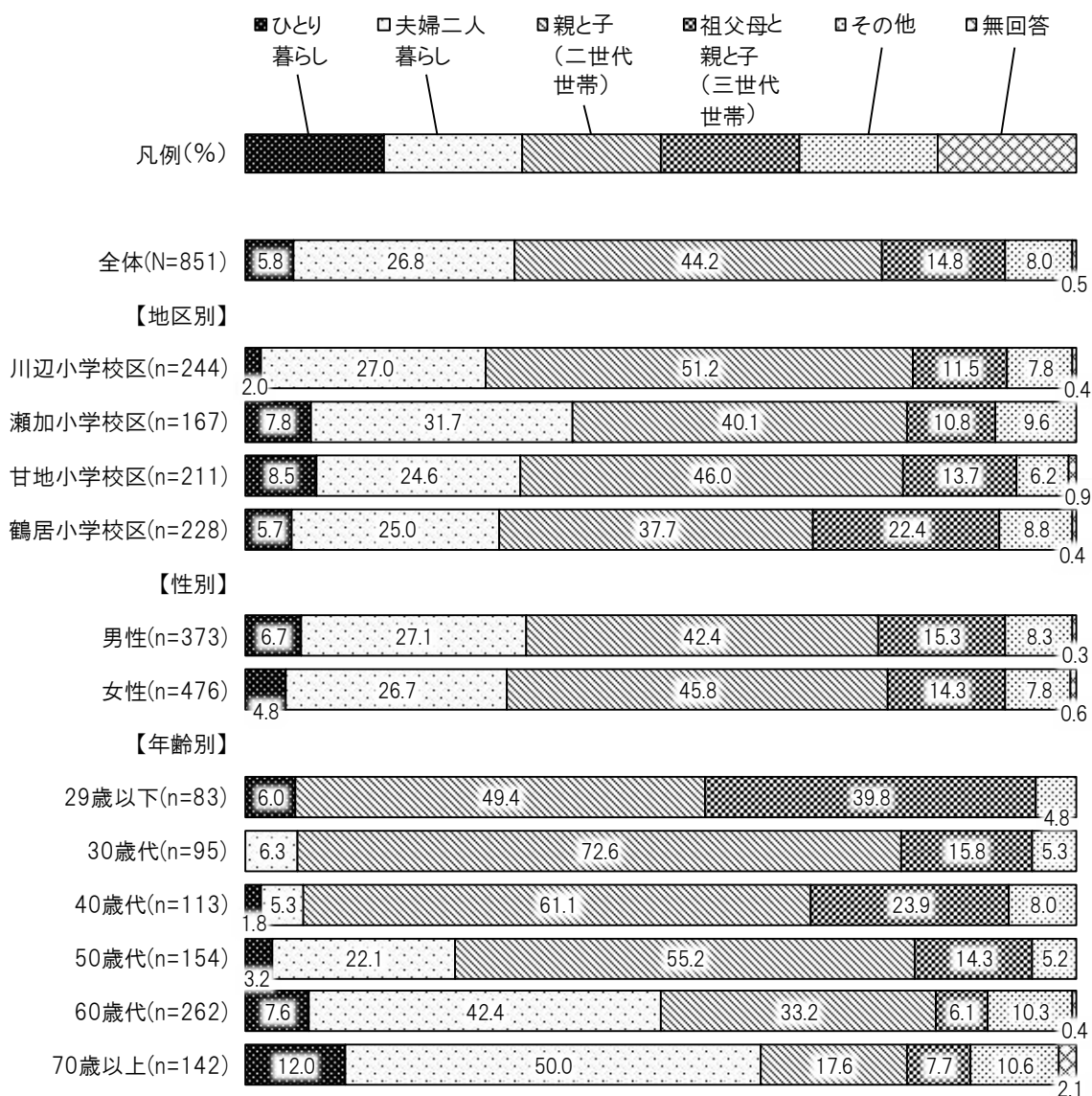


3 家族構成

家族構成は、「親と子（二世世代世帯）」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「夫婦二人暮らし」（26.8%）、「祖父母と親と子（三世世代世帯）」（14.8%）の順となっている。

地区別でみると、瀬加小学校区で「夫婦二人暮らし」、川辺小学校区で「親と子（二世世代世帯）」、鶴居小学校区で「祖父母と親と子（三世世代世帯）」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では 29 歳以下で「祖父母と親と子（三世世代世帯）」、30 歳代で「親と子（二世世代世帯）」、50 歳代以上で「夫婦二人暮らし」、70 歳以上で「ひとり暮らし」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



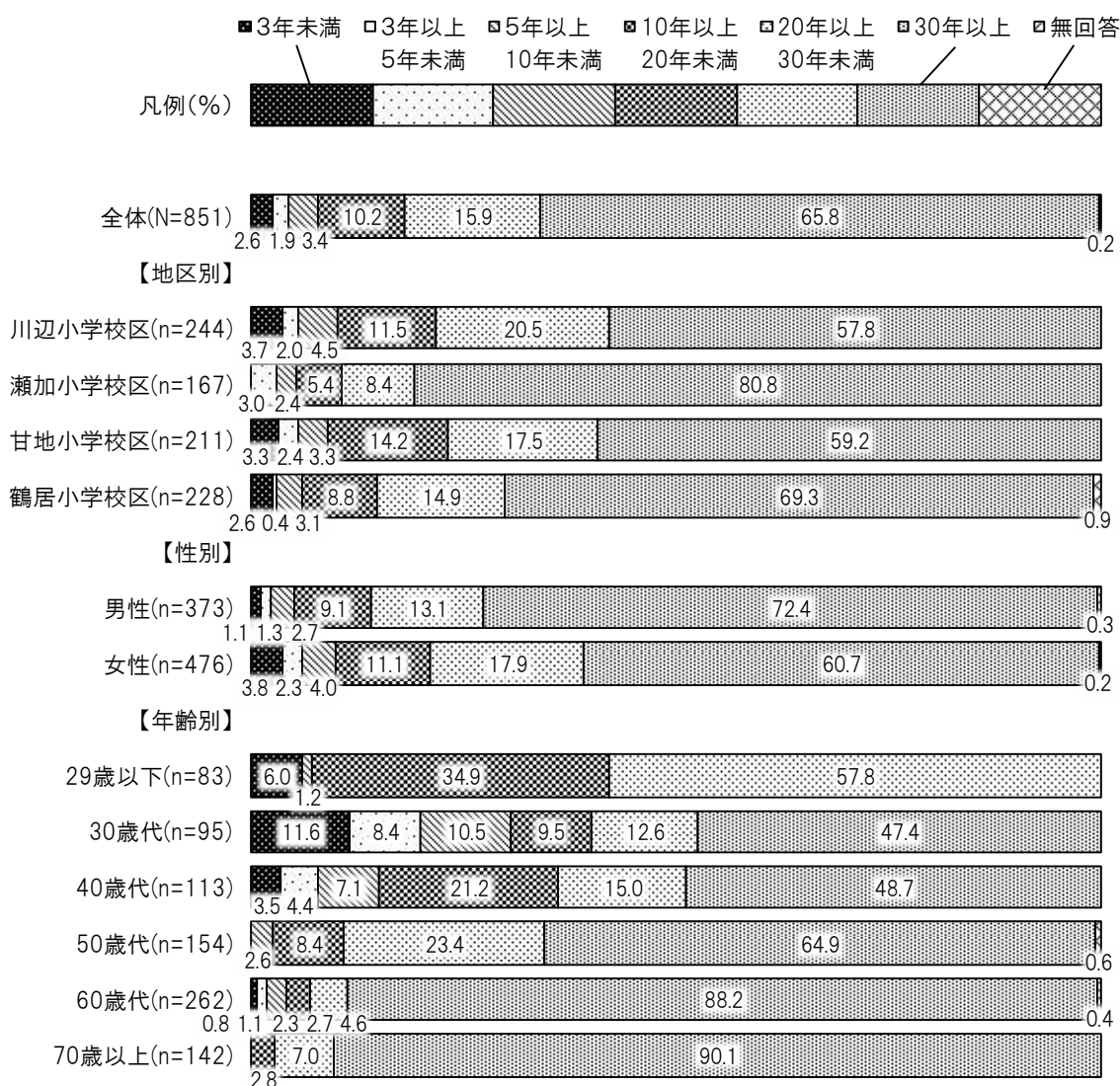
4 居住年数

居住年数については、「30 年以上」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「20 年以上 30 年未満」(15.9%)、「10 年以上 20 年未満」(10.2%) の順となっている。また、『10 年未満』の合計は 7.9%となっている。

地区別でみると、瀬加小学校区で「30 年以上」の割合が他の地区を大きく上回っている。

性別では、男性は「30 年以上」の割合が女性を上回っており、女性は男性に比べ「20 年以上 30 年未満」の割合がやや高くなっている。

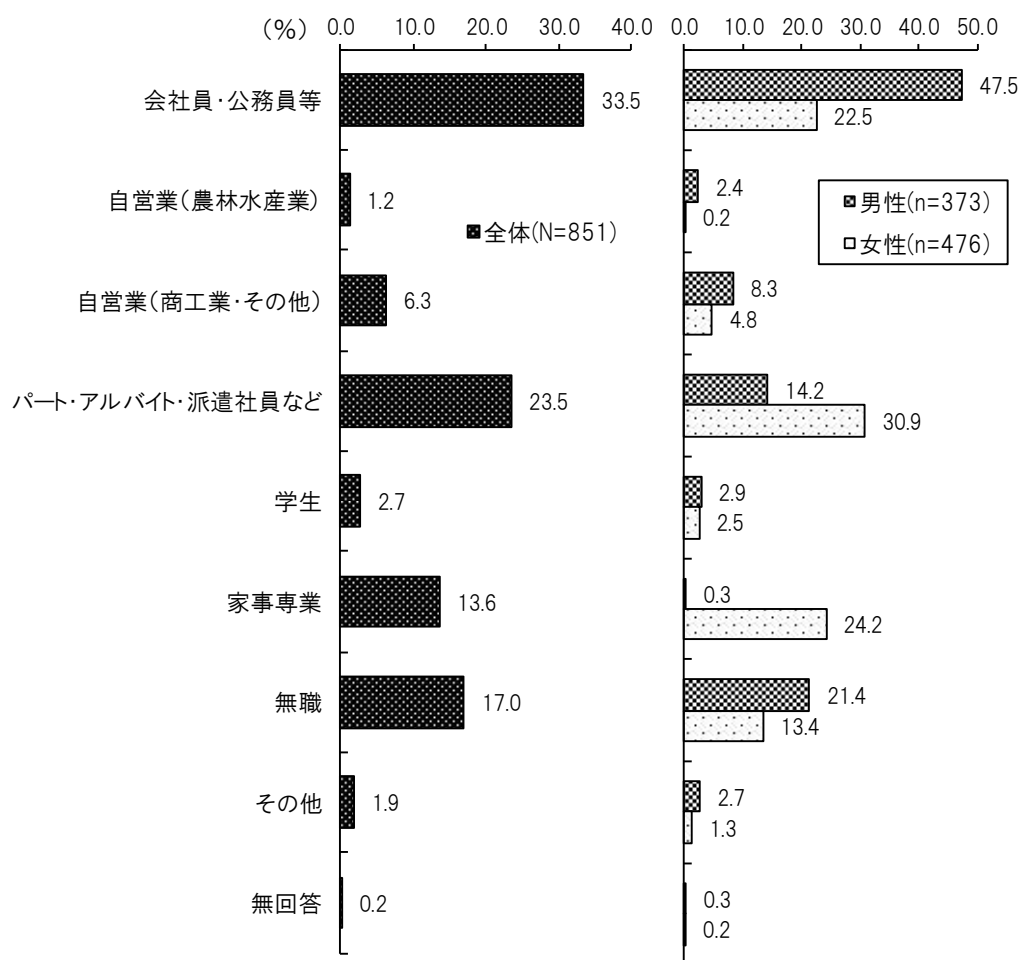
年齢別では、年齢が上がるほど「30 年以上」の割合が増える傾向にある。



5 職業別構成

職業別構成は、「会社員・公務員等」の割合が 33.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・派遣社員など」(23.5%)、「無職」(17.0%)の順となっている。

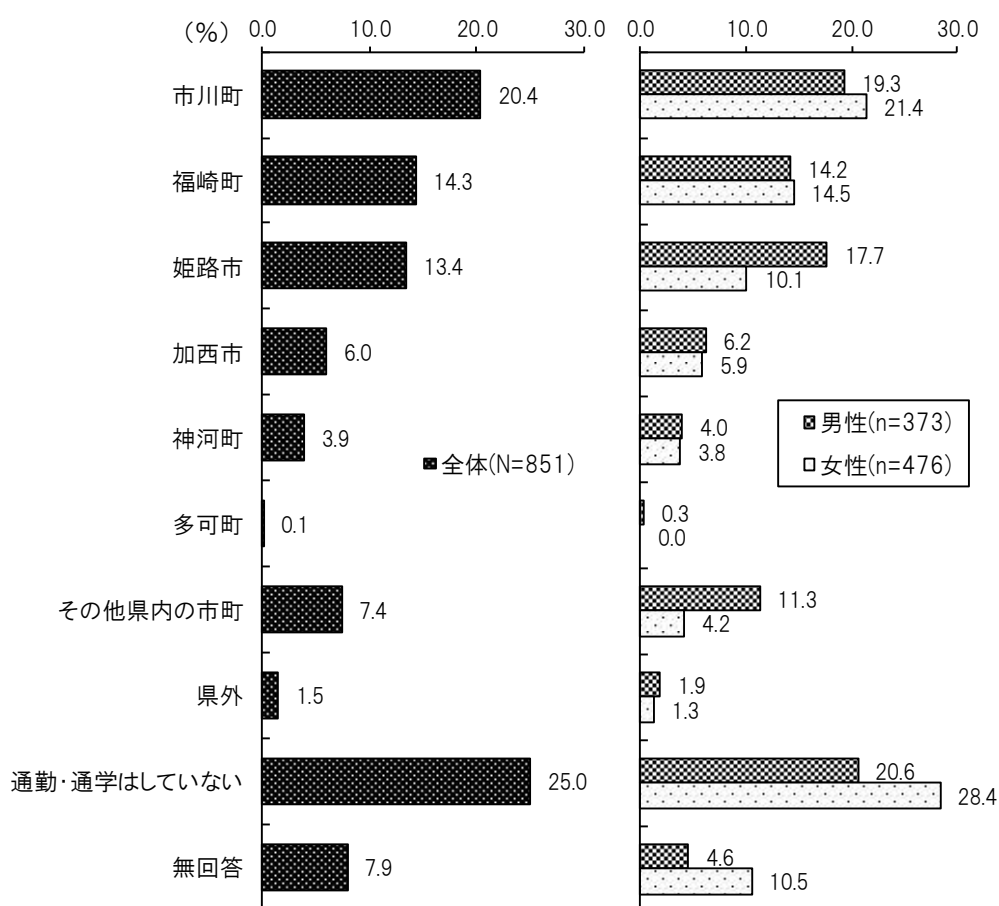
性別では、男性は女性に比べ「会社員・公務員等」「無職」などの割合が高く、女性は「パート・アルバイト・派遣社員など」「家事専業」の割合が男性を大きく上回っている。



6 通勤先・通学先

通勤先・通学先は、「市川町」の割合が20.4%と最も高く、次いで「福崎町」(14.3%)、「姫路市」(13.4%)の順となっており、「通勤・通学はしていない」は25.0%みられた。

性別では、男性は女性に比べ「姫路市」「その他県内の市町」の割合が高く、女性は「通勤・通学はしていない」の割合が男性を上回っている。



職業別でみると、会社員・公務員等は「姫路市」、自営業は「市川町」、パート・アルバイト等は「福崎町」、学生は「その他県内の市町」「県外」の割合がそれぞれ他の職業に比べて高くなっている。

単位(%)	市川町	福崎町	姫路市	加西市	神河町	多可町	その他県内の市町	県外	通勤・通学はしていない
全体(N=851)	20.4	14.3	13.4	6.0	3.9	0.1	7.4	1.5	25.0
【職業別】									
会社員・公務員等(n=285)	17.2	20.7	29.5	9.1	6.3	0.4	13.7	1.4	0.7
自営業(n=64)	59.4	9.4	7.8	0.0	1.6	0.0	6.3	0.0	15.6
パート・アルバイト等(n=200)	39.0	27.5	9.0	12.5	7.0	0.0	3.5	0.0	1.0
学生(n=23)	0.0	0.0	17.4	0.0	0.0	0.0	39.1	39.1	4.3
家事専業(n=116)	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	74.1
無職(n=145)	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.2

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計(地区別・性別・年齢別など)において最も高い割合を示している。

(例／職業別の場合、最も割合が高い職業に網掛け。)

但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。

また「無回答」は表記から省略している。(本報告書においては、以下同様)

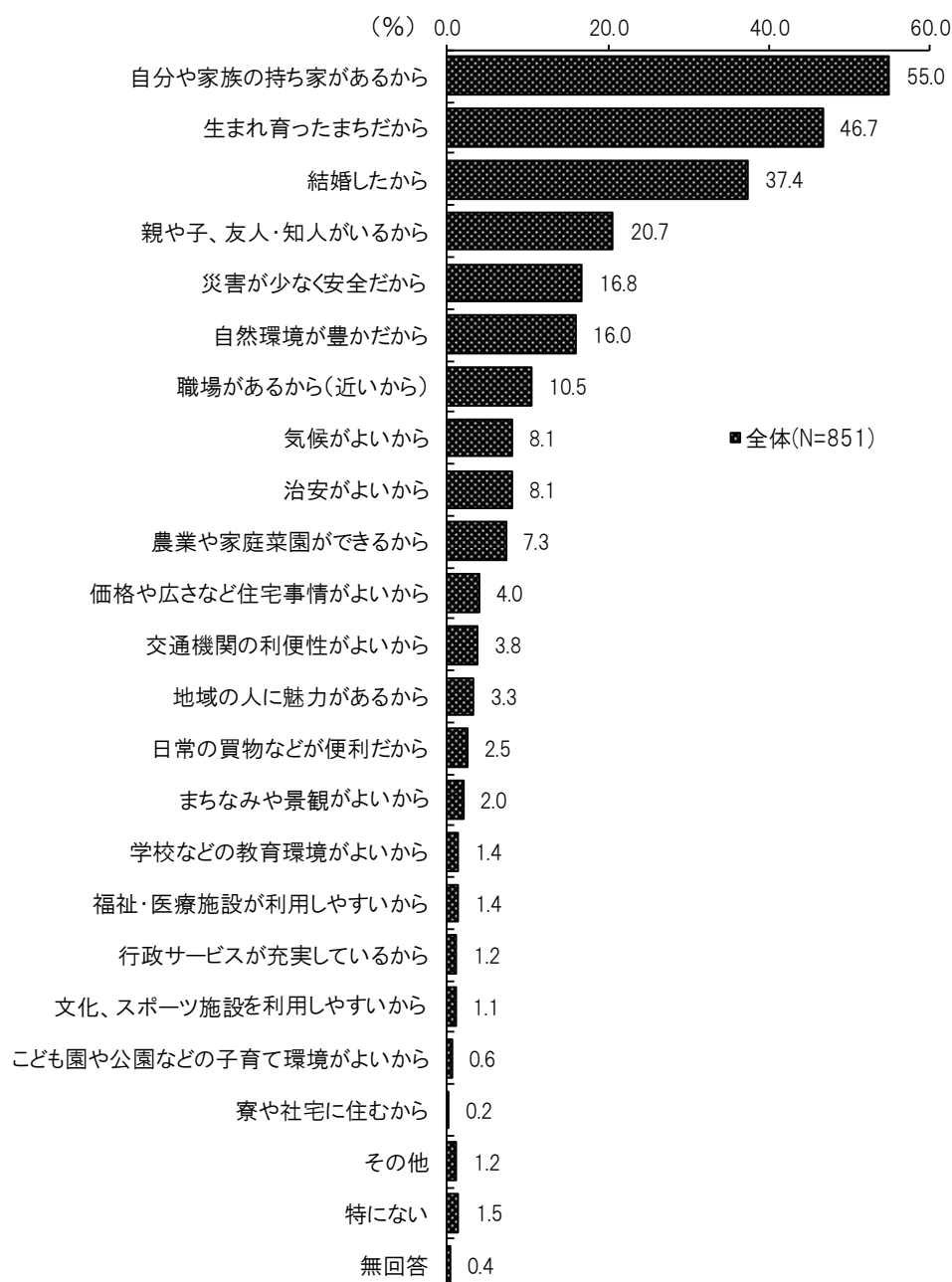
Ⅲ 調査結果

【1】住みやすさなどについて

1 市川町を居住先として選んだ理由

問8 市川町を居住先として選んだ理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

市川町を居住先として選んだ理由については、「自分や家族の持ち家があるから」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「生まれ育ったまちだから」(46.7%)、「結婚したから」(37.4%)、「親や子、友人・知人がいるから」(20.7%)、「災害が少なく安全だから」(16.8%)の順となっている。



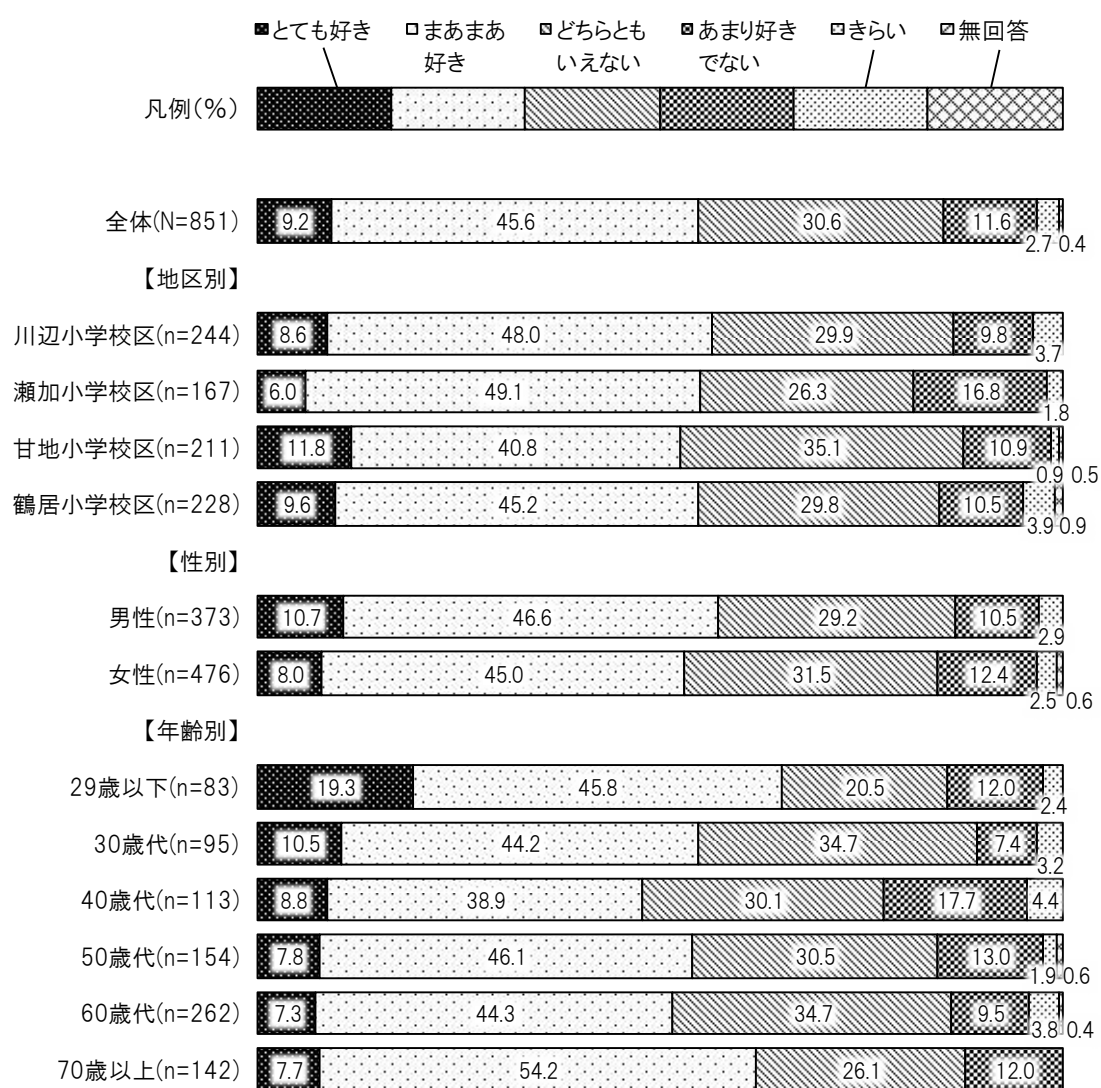
2 市川町への好意度

問9 あなたは、市川町のことが好きですか。（○は1つ）

市川町への好意度については、「とても好き」の割合が9.2%、「まあまあ好き」が45.6%で、合計半数以上（54.8%）が『好き』と回答している。一方、「あまり好きでない」（11.6%）と「嫌い」（2.7%）の合計は14.3%、「どちらともいえない」は30.6%となっている。

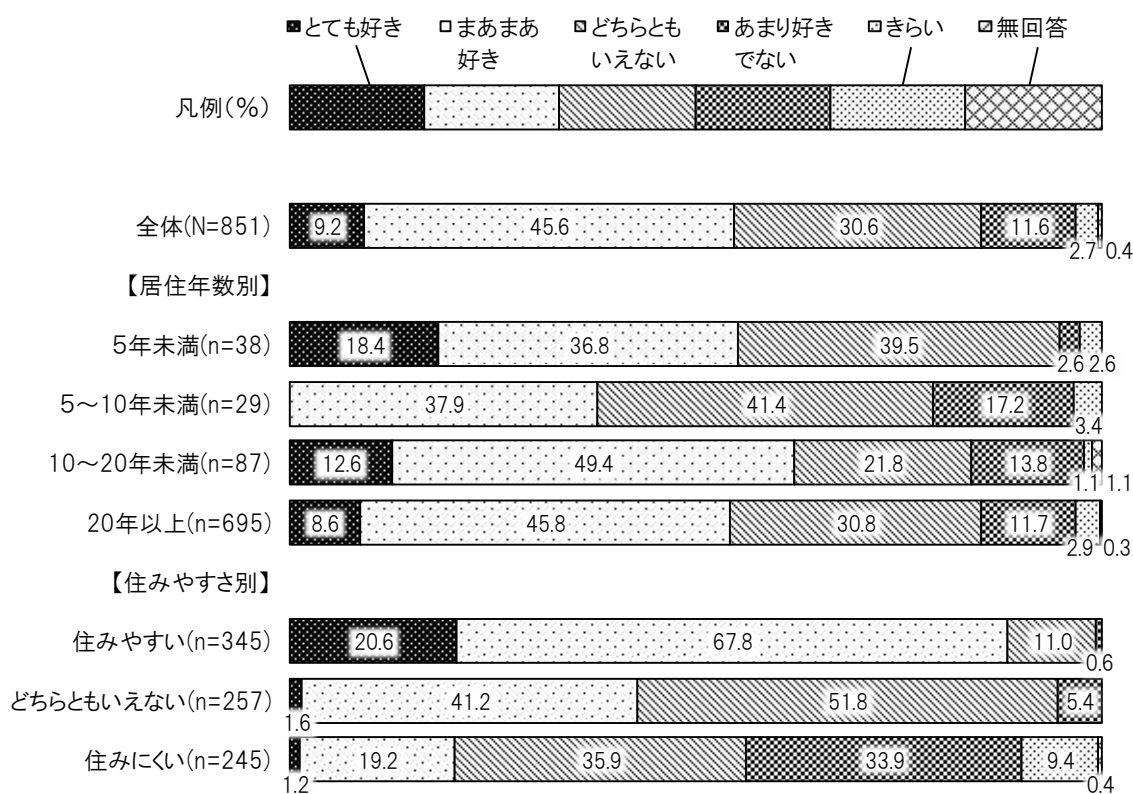
地区別では、瀬加小学校区で「あまり好きでない」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では29歳以下で「とても好き」、40歳代で「あまり好きでない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



居住年数別（問5）では、5年未満で「とても好き」の割合が高く、5～10年未満で『好き（合計）』の割合が他の居住年数に比べて低くなっている。

住みやすさ別（問10）では、住みやすいと感じている層ほど『好き（合計）』の割合が高く、住みにくいと感じている層では「あまり好きでない」「きらい」の合計が4割以上と高くなっている。



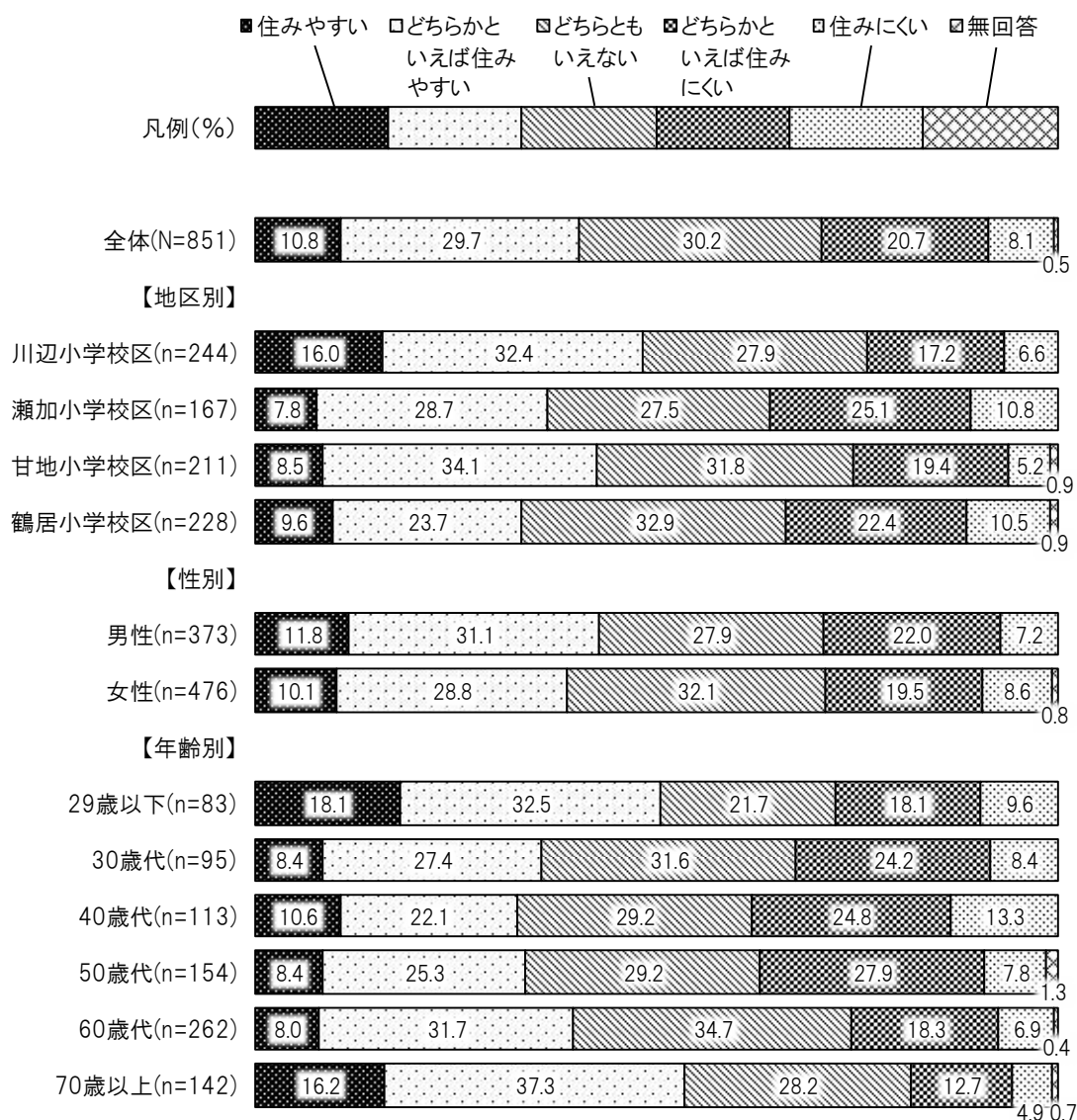
3 市川町での住みやすさ

問 10 あなたは、市川町を「住みやすいまち」だと感じますか。（○は1つ）

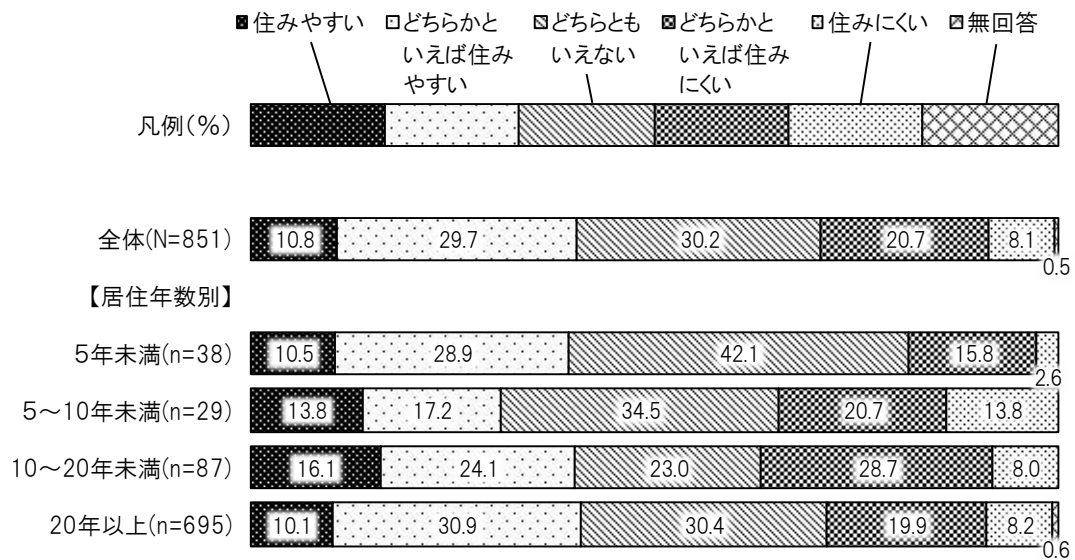
市川町での住みやすさについては、「住みやすい」の割合が10.8%、「どちらかといえば住みやすい」が29.7%で、合計約4割（40.5%）が『住みやすい』と回答している。一方、「どちらかといえば住みにくい」（20.7%）と「住みにくい」（8.1%）の合計は約3割（28.8%）となっている。

地区別では、川辺小学校区で「住みやすい」の割合が高く、瀬加小学校区や鶴居小学校区で『住みにくい（合計）』の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では29歳以下や70歳以上で『住みやすい（合計）』、30～50歳代で『住みにくい（合計）』の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



居住年数別では、5～20年未満で『住みにくい（合計）』の割合が他の居住年数に比べて高くなっている。



4 今後の永住意向

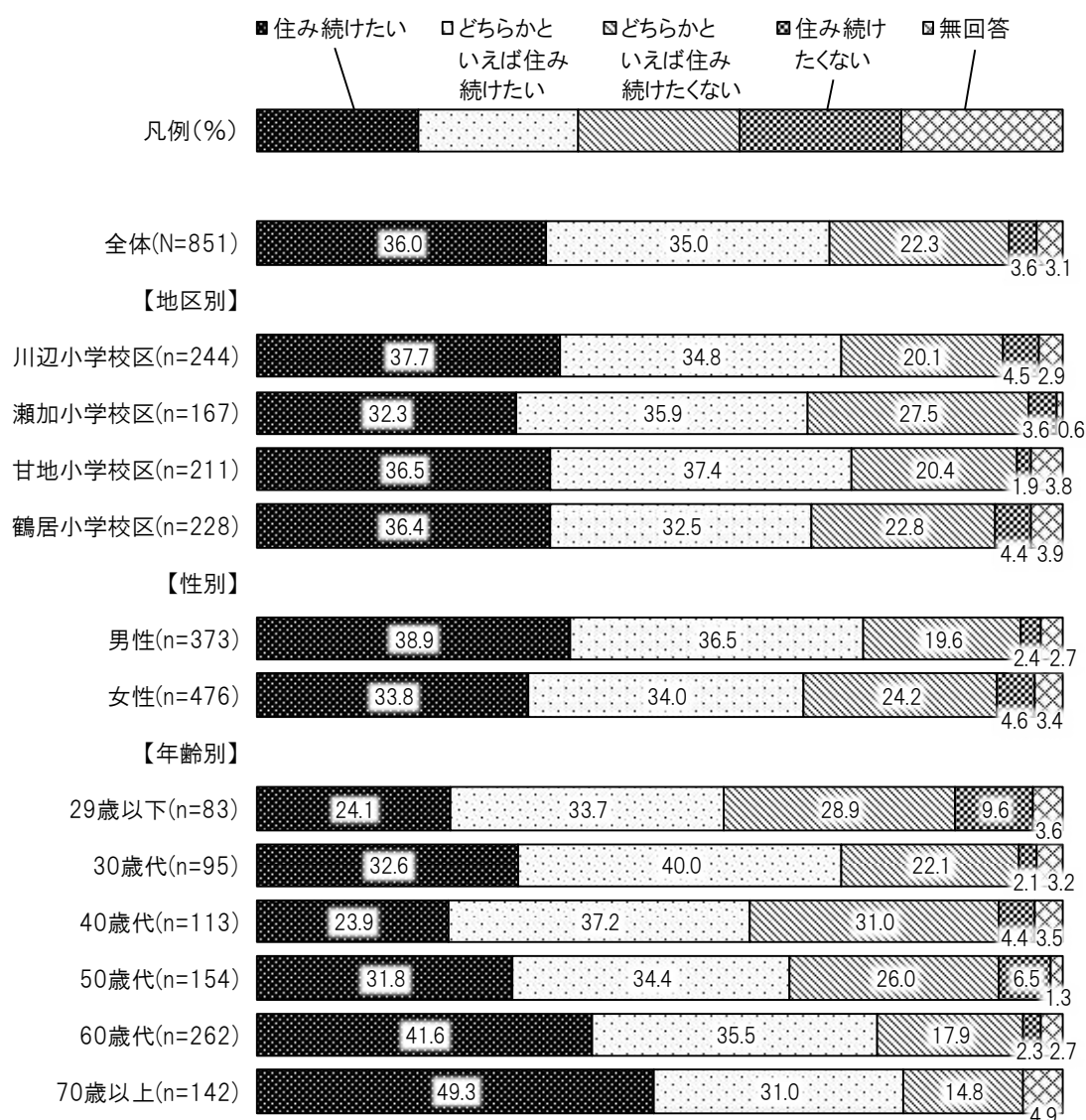
問 11 あなたは、これからも市川町に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

今後の永住意向については、「住み続けたい」の割合が36.0%、「どちらかといえば住み続けたい」が35.0%で、合計約7割（71.0%）が『住み続けたい』と回答している。一方、「どちらかといえば住み続けたくない」（22.3%）と「住み続けたくない」（3.6%）の合計は25.9%となっている。

地区別では、瀬加小学校区で「どちらかといえば住み続けたくない」の割合が他の地区に比べてやや高くなっている。

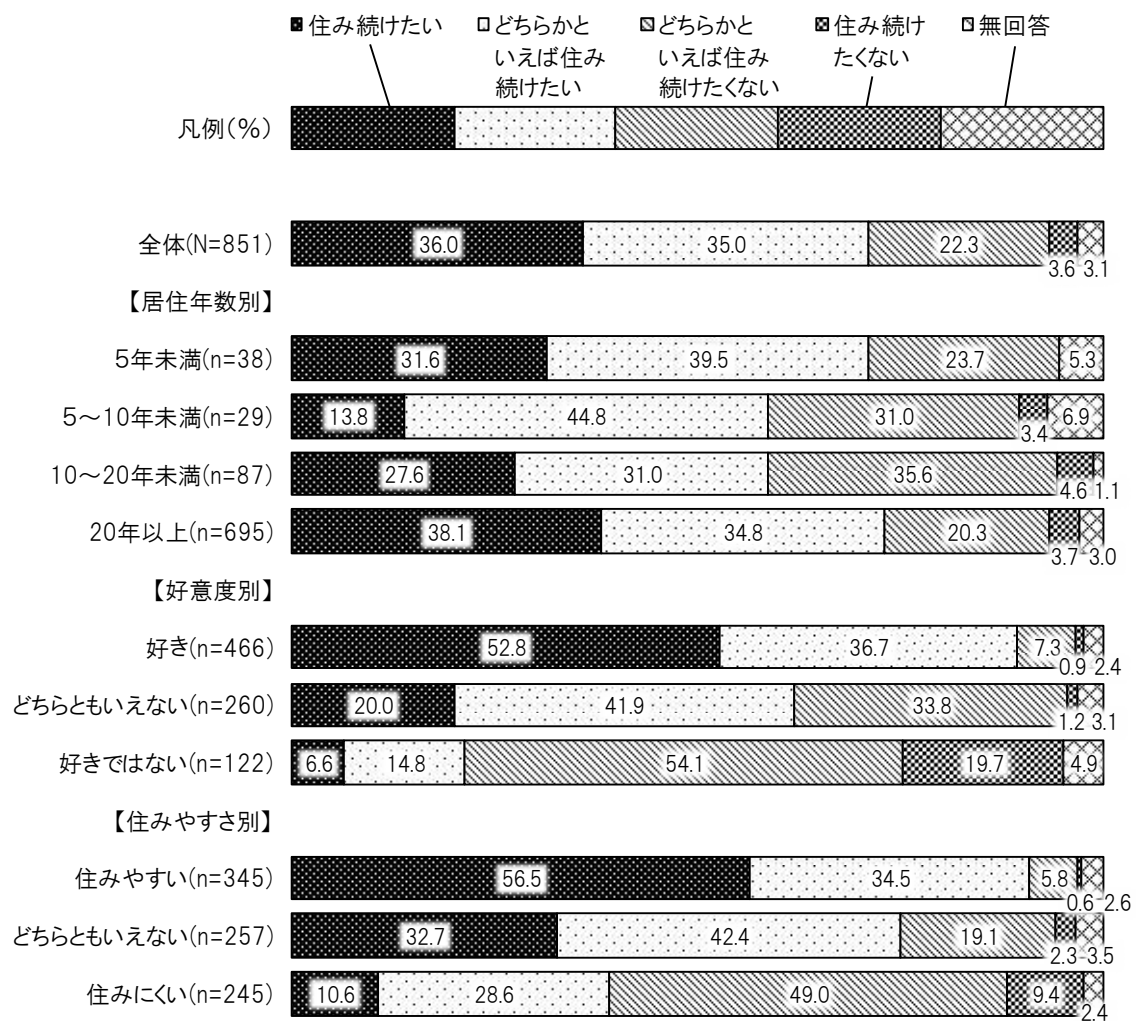
性別では、男性は女性に比べ『住み続けたい（合計）』の割合が高く、女性は『住み続けたくない（合計）』の割合が男性を上回っている。

年齢別では、おおむね年齢が上がるほど『住み続けたい（合計）』の割合が増える傾向にある。一方、29歳以下や40～50歳代では『住み続けたくない（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



居住年数別では、5年未満や20年以上で『住み続けたい（合計）』の割合が他の居住年数に比べて高くなっている。

好意度別（問9）では好きと回答した層ほど、住みやすさ別では住みやすいと感じている層ほど、それぞれ永住意向が高くなっている。

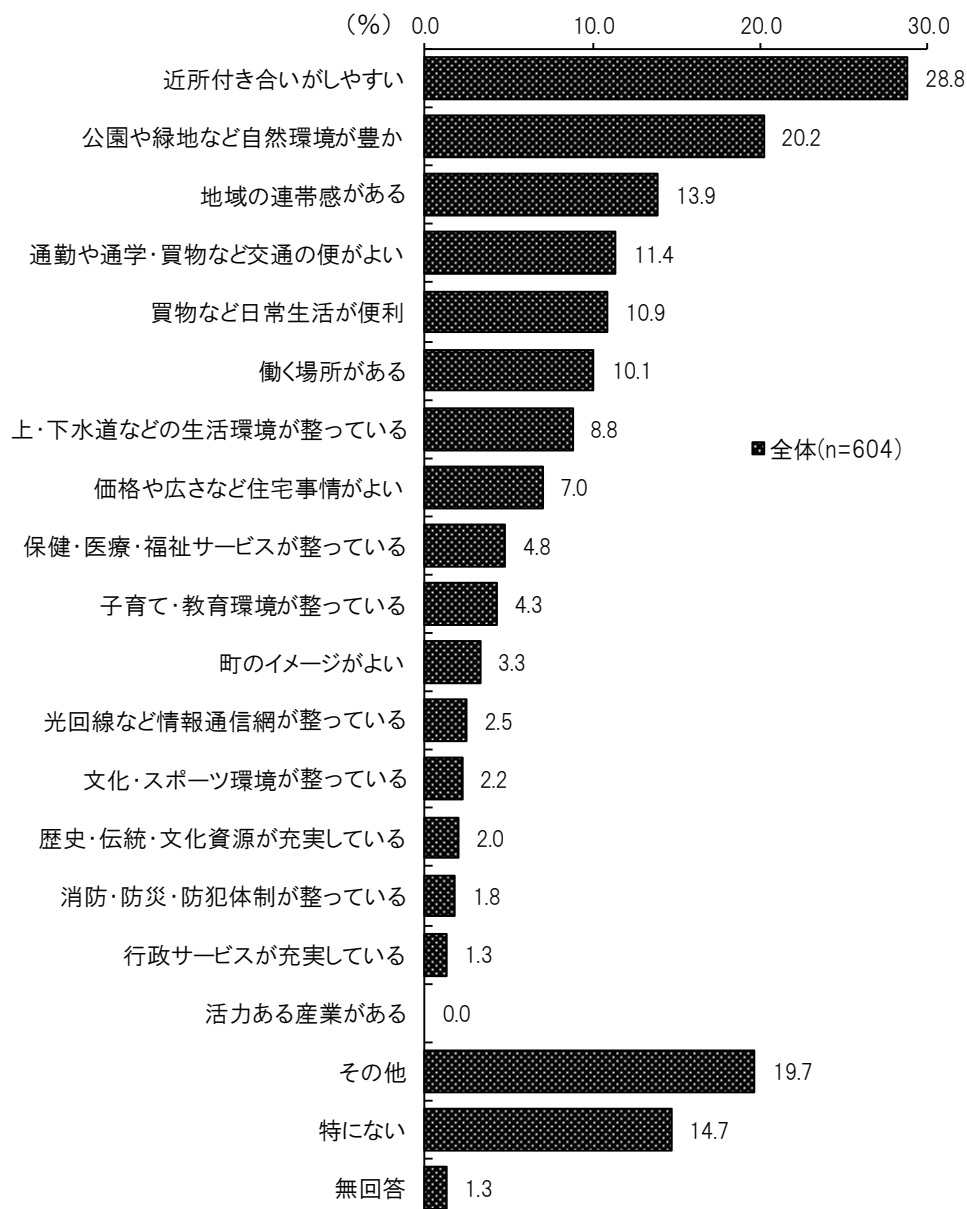


5 住み続けたい理由

【問 11 で「1～2」と答えた方におたずねします】

問 12 住み続けたいと思う主な理由は何ですか。（〇は3つまで）

住み続けたい理由については、「近所付き合いがしやすい」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「公園や緑地など自然環境が豊か」（20.2%）、「地域の連帯感がある」（13.9%）、「通勤や通学・買物など交通の便がよい」（11.4%）、「買物など日常生活が便利」（10.9%）の順となっている。



地区別では、川辺小学校区で「買物など日常生活が便利」、瀬加小学校区で「近所付き合いがしやすい」「地域の連帯感がある」などの割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は「近所付き合いがしやすい」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「公園や緑地など自然環境が豊か」の割合が高くなっている。

単位 (%)	近所付き合いがしやすい	公園や緑地など自然環境が豊か	地域の連帯感がある	交通の便がよい・買物など	買物など日常生活が便利	働く場所がある	上水道などの生活環境が整っている	価格や広さなど住宅事情がよい	保健・医療・福祉サービスが整っている	子育て・教育環境が整っている	町のイメージがよい
全体(n=604)	28.8	20.2	13.9	11.4	10.9	10.1	8.8	7.0	4.8	4.3	3.3
【地区別】											
川辺小学校区(n=177)	28.8	22.0	10.7	14.7	20.3	11.9	5.6	8.5	2.8	5.6	1.7
瀬加小学校区(n=114)	36.0	18.4	21.1	4.4	7.9	7.9	13.2	6.1	4.4	0.0	1.8
甘地小学校区(n=156)	26.3	17.9	12.8	14.1	7.1	11.5	8.3	5.8	3.2	7.1	3.2
鶴居小学校区(n=157)	26.1	21.7	13.4	10.2	6.4	8.3	9.6	7.0	8.9	3.2	6.4
【性別】											
男性(n=281)	34.5	16.4	15.3	13.2	11.0	10.7	8.9	7.5	5.0	2.8	4.3
女性(n=323)	23.8	23.5	12.7	9.9	10.8	9.6	8.7	6.5	4.6	5.6	2.5

単位 (%)	光回線など情報通信網が整備されている	文化・スポーツ環境が充実している	歴史・伝統文化資源が充実している	消防・防災・防犯体制が整っている	行政サービスが充実している	その他	特になし
全体(n=604)	2.5	2.2	2.0	1.8	1.3	19.7	14.7
【地区別】							
川辺小学校区(n=177)	2.3	3.4	1.7	1.1	0.0	20.3	10.7
瀬加小学校区(n=114)	2.6	2.6	2.6	3.5	3.5	14.9	18.4
甘地小学校区(n=156)	1.3	0.0	1.9	1.3	0.0	19.2	18.6
鶴居小学校区(n=157)	3.8	2.5	1.9	1.9	2.5	22.9	12.7
【性別】							
男性(n=281)	3.2	1.1	3.2	2.1	2.8	17.8	15.3
女性(n=323)	1.9	3.1	0.9	1.5	0.0	21.4	14.2

年齢別では、29歳以下で「公園や緑地など自然環境が豊か」、40歳代で「通勤や通学・買物など交通の便がよい」「価格や広さなど住宅事情がよい」、70歳以上で「保健・医療・福祉サービスが整っている」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	近所付き合いがしやすい	公園や緑地など自然環境が豊か	地域の連帯感がある	通勤や通学・買物など交通の便がよい	買物など日常生活が便利	働く場所がある	上水道などの生活環境が整っている	価格や広さなど住宅事情がよい	保健・医療・福祉サービスが整っている	子育て・教育環境が整っている	町のイメージがよい
全体(n=604)	28.8	20.2	13.9	11.4	10.9	10.1	8.8	7.0	4.8	4.3	3.3
【年齢別】											
29歳以下(n=48)	31.3	37.5	14.6	12.5	10.4	14.6	0.0	6.3	4.2	10.4	6.3
30歳代(n=69)	20.3	26.1	1.4	2.9	5.8	8.7	5.8	7.2	2.9	8.7	2.9
40歳代(n=69)	18.8	29.0	10.1	24.6	7.2	8.7	1.4	13.0	0.0	7.2	4.3
50歳代(n=102)	25.5	14.7	12.7	14.7	9.8	14.7	2.9	6.9	1.0	2.9	1.0
60歳代(n=202)	33.7	16.8	16.3	10.9	14.4	9.9	12.9	5.0	5.0	2.5	2.5
70歳以上(n=114)	33.3	14.9	20.2	6.1	11.4	6.1	16.7	7.0	12.3	1.8	5.3

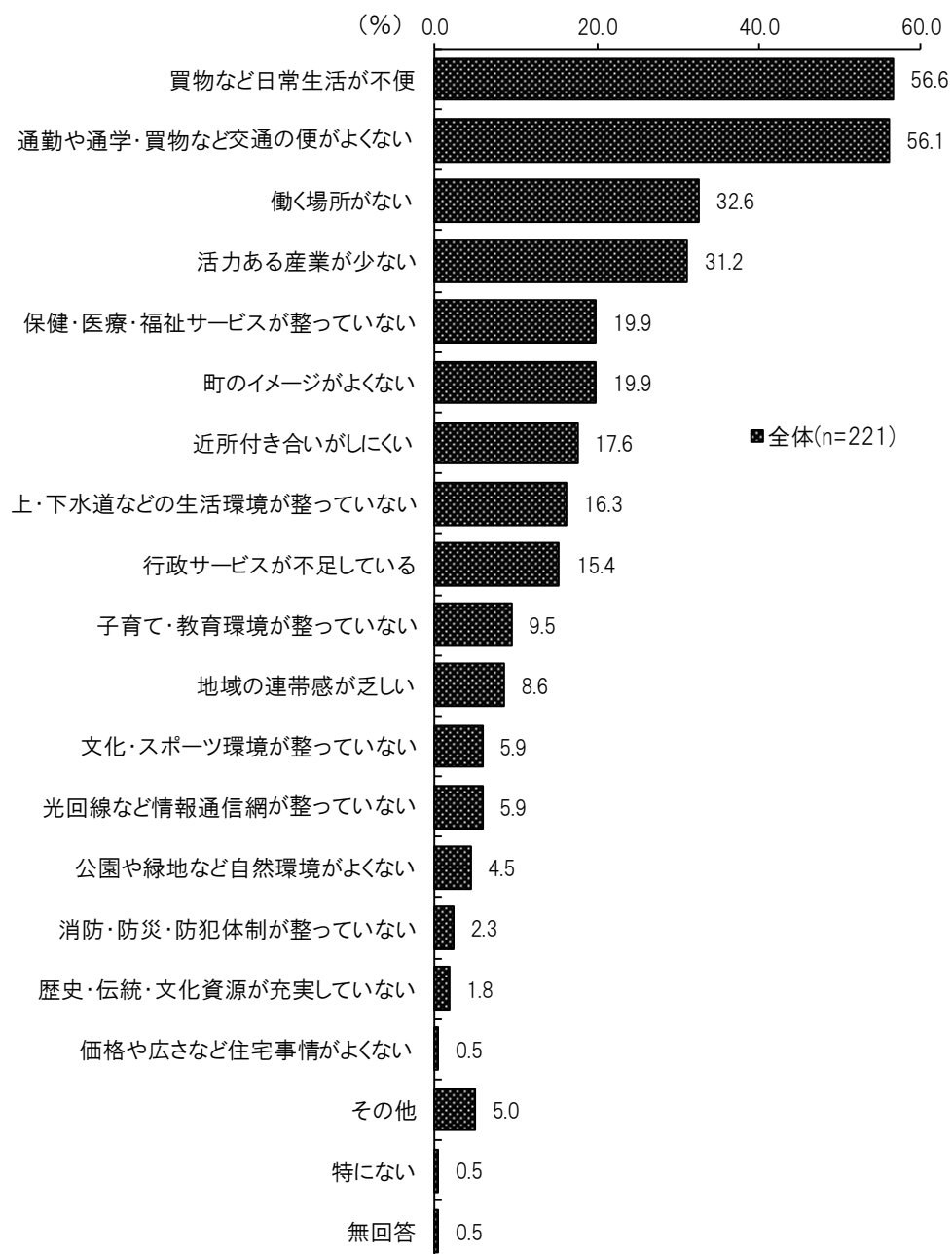
単位 (%)	光回線など情報通信網が整備されている	文化・スポーツ環境が充実している	歴史・伝統・文化資源が充実している	消防・防災・防犯体制が整っている	行政サービスが充実している	その他	特になし
全体(n=604)	2.5	2.2	2.0	1.8	1.3	19.7	14.7
【年齢別】							
29歳以下(n=48)	2.1	4.2	2.1	0.0	0.0	12.5	4.2
30歳代(n=69)	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	27.5	20.3
40歳代(n=69)	1.4	0.0	0.0	2.9	0.0	23.2	15.9
50歳代(n=102)	2.0	2.9	2.9	1.0	0.0	22.5	14.7
60歳代(n=202)	1.5	3.0	2.5	2.5	2.0	17.8	13.9
70歳以上(n=114)	3.5	1.8	2.6	2.6	3.5	16.7	16.7

6 住み続けたくない理由

【問11で「3～4」と答えた方におたずねします】

問13 住み続けたくないと思う主な理由は何ですか。（○は3つまで）

住み続けたくない理由については、「買物など日常生活が不便」の割合が56.6%と最も高く、ほぼ並んで「通勤や通学・買物など交通の便がよいくない」（56.1%）が続き、以下「働く場所がない」（32.6%）、「活力ある産業が少ない」（31.2%）、「保健・医療・福祉サービスが整っていない」「町のイメージがよいくない」（各19.9%）の順となっている。



地区別では、川辺小学校区で「上・下水道などの生活環境が整っていない」、瀬加小学校区で「買物など日常生活が不便」「働く場所がない」「保健・医療・福祉サービスが整っていない」、甘地小学校区で「近所付き合いがしにくい」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は「保健・医療・福祉サービスが整っていない」「上・下水道などの生活環境が整っていない」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「通勤や通学・買物など交通の便がよくない」の割合が高くなっている。

単位 (%)	買物など日常生活が不便	通勤や通学・買物など交通の便がよくない	働く場所がない	活力ある産業が少ない	保健・医療・福祉サービスが整っていない	町のイメージがよくない	近所付き合いがしにくい	上・下水道などの生活環境が整っていない	行政サービスが不足している	子育て・教育環境が整っていない	地域の連帯感が乏しい
全体(n=221)	56.6	56.1	32.6	31.2	19.9	19.9	17.6	16.3	15.4	9.5	8.6
【地区別】											
川辺小学校区(n=60)	46.7	46.7	28.3	38.3	18.3	23.3	20.0	33.3	16.7	10.0	8.3
瀬加小学校区(n=52)	73.1	65.4	42.3	26.9	28.8	19.2	7.7	7.7	19.2	11.5	7.7
甘地小学校区(n=47)	40.4	59.6	23.4	34.0	19.1	19.1	25.5	14.9	14.9	8.5	4.3
鶴居小学校区(n=62)	64.5	54.8	35.5	25.8	14.5	17.7	17.7	8.1	11.3	8.1	12.9
【性別】											
男性(n=82)	51.2	47.6	30.5	35.4	25.6	23.2	18.3	29.3	14.6	13.4	7.3
女性(n=137)	59.1	61.3	33.6	29.2	15.3	17.5	17.5	8.0	16.1	7.3	9.5

単位 (%)	文化・スポーツ環境が整っていない	光回線など情報通信網が整っていない	公園や緑地など自然環境がよい	消防・防災・防犯体制が整っていない	歴史・伝統・文化資源が充実していない	価格や広さなど住宅事情がよくない	その他	特になし
全体(n=221)	5.9	5.9	4.5	2.3	1.8	0.5	5.0	0.5
【地区別】								
川辺小学校区(n=60)	3.3	6.7	5.0	3.3	1.7	0.0	6.7	0.0
瀬加小学校区(n=52)	5.8	3.8	1.9	5.8	3.8	0.0	3.8	0.0
甘地小学校区(n=47)	8.5	6.4	4.3	0.0	0.0	2.1	6.4	2.1
鶴居小学校区(n=62)	6.5	6.5	6.5	0.0	1.6	0.0	3.2	0.0
【性別】								
男性(n=82)	8.5	7.3	3.7	3.7	3.7	1.2	2.4	1.2
女性(n=137)	4.4	5.1	5.1	1.5	0.7	0.0	5.8	0.0

年齢別では、29歳以下で「通勤や通学・買物など交通の便がよくない」、30歳代で「働く場所がない」、40歳代で「近所付き合いがしにくい」、70歳以上で「保健・医療・福祉サービスが整っていない」「町のイメージがよくない」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。また、おおむね年齢が上がるほど「買物など日常生活が不便」の割合が増える傾向にある。

単位 (%)	買物など日常生活が不便	通勤や通学・買物など交通の便がよくない	働く場所がない	活力ある産業が少ない	保健・医療・福祉サービスが整っていない	町のイメージがよくない	近所付き合いがしにくい	上・下水道などの生活環境が整っていない	行政サービスが不足している	子育て・教育環境が整っていない	地域の連帯感が乏しい
全体(n=221)	56.6	56.1	32.6	31.2	19.9	19.9	17.6	16.3	15.4	9.5	8.6
【年齢別】											
29歳以下(n=32)	43.8	78.1	40.6	15.6	3.1	9.4	15.6	9.4	9.4	0.0	0.0
30歳代(n=23)	47.8	65.2	52.2	30.4	26.1	13.0	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7
40歳代(n=40)	55.0	47.5	32.5	37.5	20.0	17.5	30.0	12.5	12.5	17.5	10.0
50歳代(n=50)	58.0	58.0	38.0	28.0	20.0	22.0	20.0	22.0	20.0	18.0	10.0
60歳代(n=53)	64.2	45.3	24.5	37.7	20.8	22.6	17.0	18.9	18.9	5.7	7.5
70歳以上(n=21)	61.9	52.4	4.8	38.1	33.3	38.1	4.8	23.8	19.0	0.0	19.0

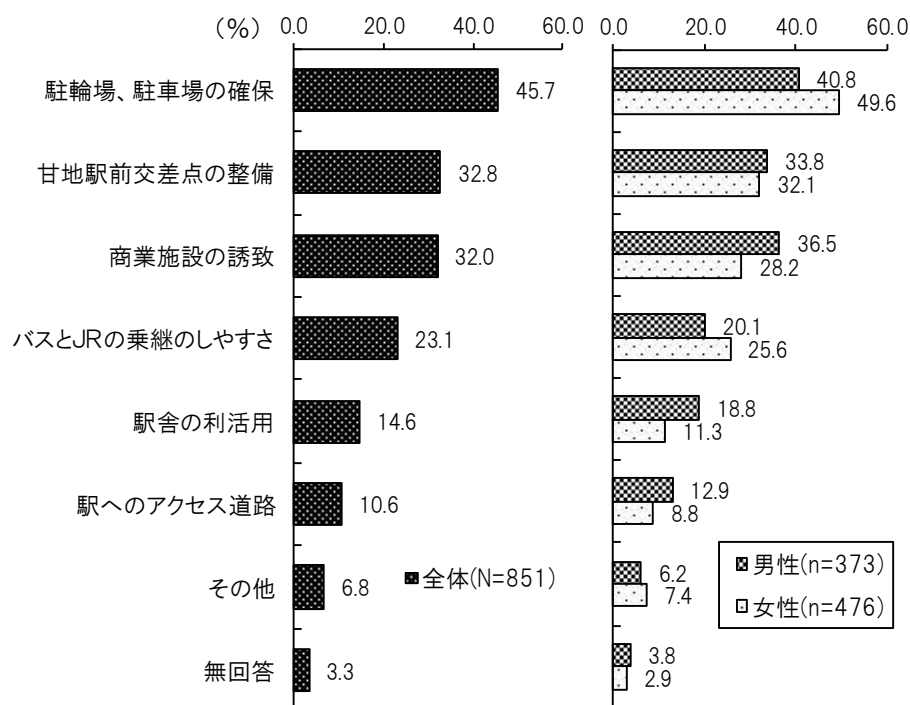
単位 (%)	文化・スポーツ環境が整っていない	光回線など情報通信網が整っていない	公園や緑地など自然環境がよい	消防・防災・防犯体制が整っていない	歴史・伝統・文化資源が充実していない	価格や広さなど住宅事情がよくない	その他	特になし
全体(n=221)	5.9	5.9	4.5	2.3	1.8	0.5	5.0	0.5
【年齢別】								
29歳以下(n=32)	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
30歳代(n=23)	4.3	8.7	13.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0
40歳代(n=40)	2.5	7.5	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
50歳代(n=50)	4.0	2.0	2.0	8.0	2.0	0.0	6.0	0.0
60歳代(n=53)	9.4	7.5	3.8	1.9	3.8	0.0	7.5	0.0
70歳以上(n=21)	4.8	9.5	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0

7 J R甘地駅・鶴居駅周辺整備において重要なこと

問 14 J R甘地駅・鶴居駅周辺整備においてトイレの改修は行う予定ですが、他に何が重要だと思いますか。（〇は2つまで）

J R甘地駅・鶴居駅周辺整備において重要なことについては、「駐輪場、駐車場の確保」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「甘地駅前交差点の整備」(32.8%)、「商業施設の誘致」(32.0%)、「バスとJ Rの乗継のしやすさ」(23.1%)、「駅舎の利活用」(14.6%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「商業施設の誘致」「駅舎の利活用」などの割合が高く、女性は「駐輪場、駐車場の確保」「バスとJ Rの乗継のしやすさ」の割合が男性を上回っている。



地区別では、瀬加小学校区で「バスとＪＲの乗継のしやすさ」「駅へのアクセス道路」、甘地小学校区で「甘地駅前交差点の整備」、鶴居小学校区で「駅舎の利活用」などの割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

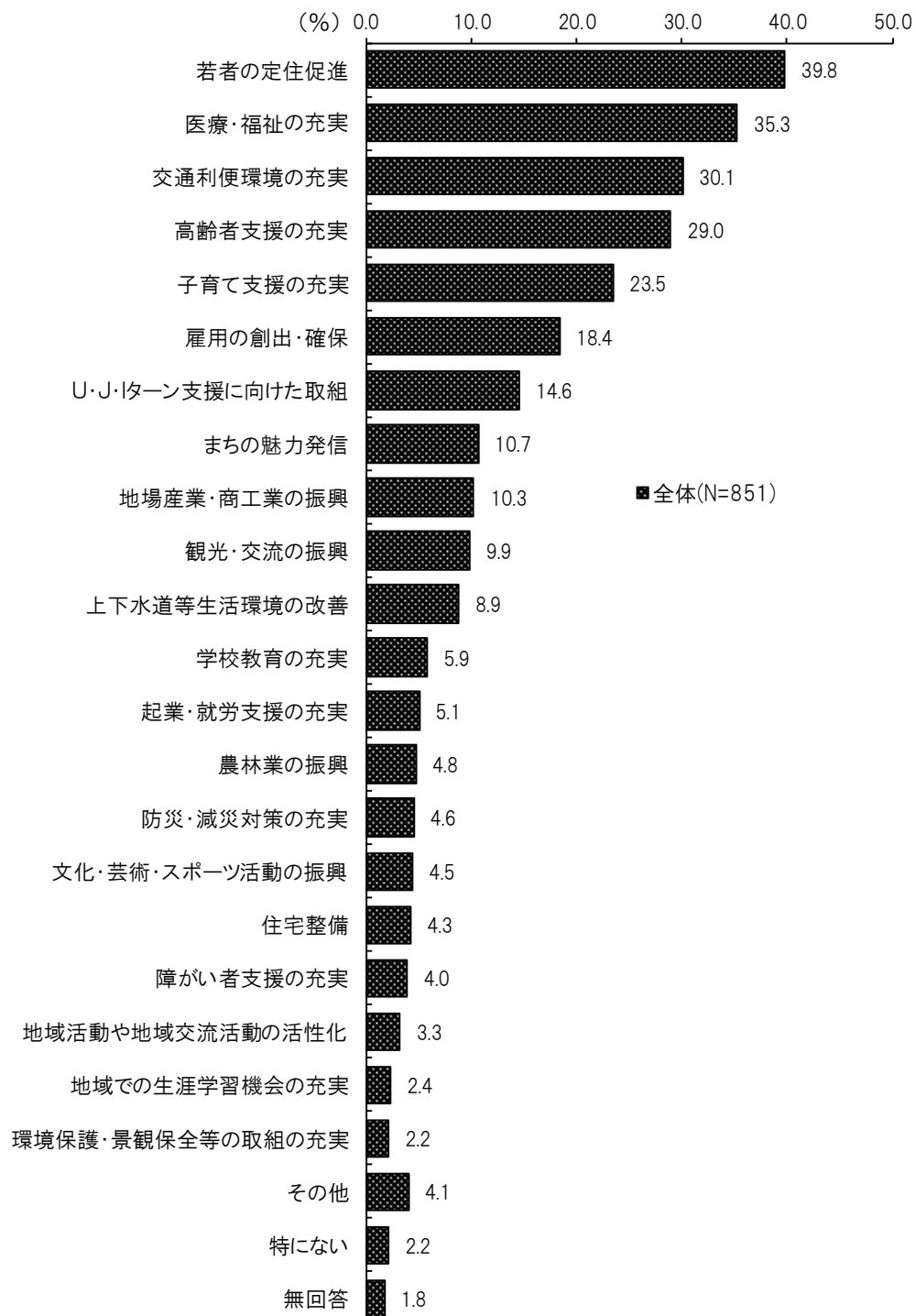
年齢別では、30歳代や70歳以上で「商業施設の誘致」、50歳代で「甘地駅前交差点の整備」「バスとＪＲの乗継のしやすさ」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べてやや高くなっている。

単位 (%)	駐輪場、 駐車場の確保	甘地駅前 交差点の整備	商業施設 の誘致	バスと ＪＲの乗 継のし やすさ	駅舎の 利活用	駅への アクセ ス道路	その他
全体(N=851)	45.7	32.8	32.0	23.1	14.6	10.6	6.8
【地区別】							
川辺小学校区(n=244)	49.6	33.6	27.5	25.8	11.5	9.4	7.8
瀬加小学校区(n=167)	46.1	22.8	25.7	35.3	9.0	18.0	6.0
甘地小学校区(n=211)	31.8	54.0	35.1	11.4	15.2	8.1	6.2
鶴居小学校区(n=228)	54.4	19.7	38.6	22.4	21.5	8.8	7.0
【年齢別】							
29歳以下(n=83)	49.4	31.3	30.1	22.9	16.9	4.8	9.6
30歳代(n=95)	43.2	31.6	35.8	21.1	12.6	17.9	5.3
40歳代(n=113)	45.1	31.0	31.0	19.5	15.0	14.2	4.4
50歳代(n=154)	45.5	38.3	26.6	27.3	12.3	10.4	7.1
60歳代(n=262)	45.8	32.4	31.7	23.3	15.6	9.9	7.6
70歳以上(n=142)	45.8	31.0	37.3	23.2	14.8	7.7	5.6

8 「住み続けたい市川町」を実現するために必要な取組

問 15 今後、「住み続けたい市川町」を実現していくために、どのような取組が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「住み続けたい市川町」を実現するために必要な取組については、「若者の定住促進」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「医療・福祉の充実」(35.3%)、「交通利便環境の充実」(30.1%)、「高齢者支援の充実」(29.0%)、「子育て支援の充実」(23.5%) の順となっている。



地区別では、川辺小学校区で「上下水道等生活環境の改善」、瀬加小学校区で「交通利便環境の充実」などの割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、女性は男性に比べ「医療・福祉の充実」などの割合が高くなっている。

単位 (%)	若者の定住促進	医療・福祉の充実	交通利便環境の充実	高齢者支援の充実	子育て支援の充実	雇用の創出・確保	U・J・インターン支援に向けた取組	まちの魅力発信	振興地産業・商工業の振興	観光・交流の振興	上下水道等生活環境の改善	学校教育の充実
全体(N=851)	39.8	35.3	30.1	29.0	23.5	18.4	14.6	10.7	10.3	9.9	8.9	5.9
【地区別】												
川辺小学校区(n=244)	36.5	35.2	28.3	26.2	26.2	18.0	12.7	13.1	8.6	11.9	16.0	8.2
瀬加小学校区(n=167)	39.5	32.9	40.1	30.5	24.6	20.4	16.2	9.6	10.8	9.0	4.8	3.6
甘地小学校区(n=211)	41.7	35.1	28.4	28.0	22.7	18.0	12.3	8.5	11.8	9.0	6.2	5.2
鶴居小学校区(n=228)	42.1	37.3	26.3	32.0	20.6	18.0	17.5	11.0	10.5	9.2	7.0	5.7
【性別】												
男性(n=373)	41.8	31.4	28.7	29.5	24.7	20.4	13.7	9.9	12.9	11.0	9.7	5.1
女性(n=476)	38.4	38.4	31.3	28.6	22.5	17.0	14.9	11.3	8.4	9.0	8.4	6.5

単位 (%)	起業・就労支援の充実	農林業の振興	防災・減災対策の充実	文化活動・芸術・スポーツの振興	住宅整備	障がい者支援の充実	地域活動の活性化や地域交流	地域の充実	地域の生涯学習機会	環境の取組の充実・景観保全	その他	特になし
全体(N=851)	5.1	4.8	4.6	4.5	4.3	4.0	3.3	2.4	2.2	4.1	2.2	
【地区別】												
川辺小学校区(n=244)	4.9	4.9	4.5	4.9	6.6	3.7	4.1	3.7	2.5	3.7	1.6	
瀬加小学校区(n=167)	5.4	7.8	4.2	2.4	2.4	1.8	4.2	3.0	2.4	4.8	3.0	
甘地小学校区(n=211)	5.2	2.8	5.2	5.7	4.3	7.6	4.3	0.9	1.4	3.8	2.4	
鶴居小学校区(n=228)	4.8	4.4	4.4	4.4	3.5	2.6	0.9	1.8	2.6	4.4	2.2	
【性別】												
男性(n=373)	5.4	5.4	4.8	3.8	5.1	4.6	3.2	2.1	3.2	4.3	2.7	
女性(n=476)	4.6	4.4	4.4	5.0	3.8	3.6	3.4	2.5	1.5	3.8	1.9	

年齢別では、29 歳以下や 50 歳代で「交通利便環境の充実」、30 歳代で「子育て支援の充実」「観光・交流の振興」、40 歳代で「雇用の創出・確保」、50～60 歳代で「若者の定住促進」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	若者の定住促進	医療・福祉の充実	交通利便環境の充実	高齢者支援の充実	子育て支援の充実	雇用の創出・確保	U・J・インターン支援に向けた取組	まちの魅力発信	地域産業・商業の振興	観光・交流の振興	上下水道等生活環境の改善	学校教育の充実
全体(N=851)	39.8	35.3	30.1	29.0	23.5	18.4	14.6	10.7	10.3	9.9	8.9	5.9
【年齢別】												
29歳以下(n=83)	37.3	26.5	37.3	15.7	31.3	18.1	15.7	3.6	13.3	9.6	9.6	9.6
30歳代(n=95)	30.5	43.2	24.2	16.8	46.3	17.9	13.7	11.6	10.5	18.9	9.5	12.6
40歳代(n=113)	36.3	27.4	25.7	22.1	26.5	24.8	18.6	11.5	12.4	8.8	8.0	9.7
50歳代(n=154)	44.2	39.0	40.3	29.9	20.1	19.5	15.6	9.7	8.4	11.7	9.7	4.5
60歳代(n=262)	44.3	37.4	28.2	35.5	19.1	16.4	11.5	13.7	9.5	9.9	8.0	3.8
70歳以上(n=142)	38.0	33.8	26.1	38.0	12.7	16.2	14.8	9.2	10.6	2.8	9.9	1.4

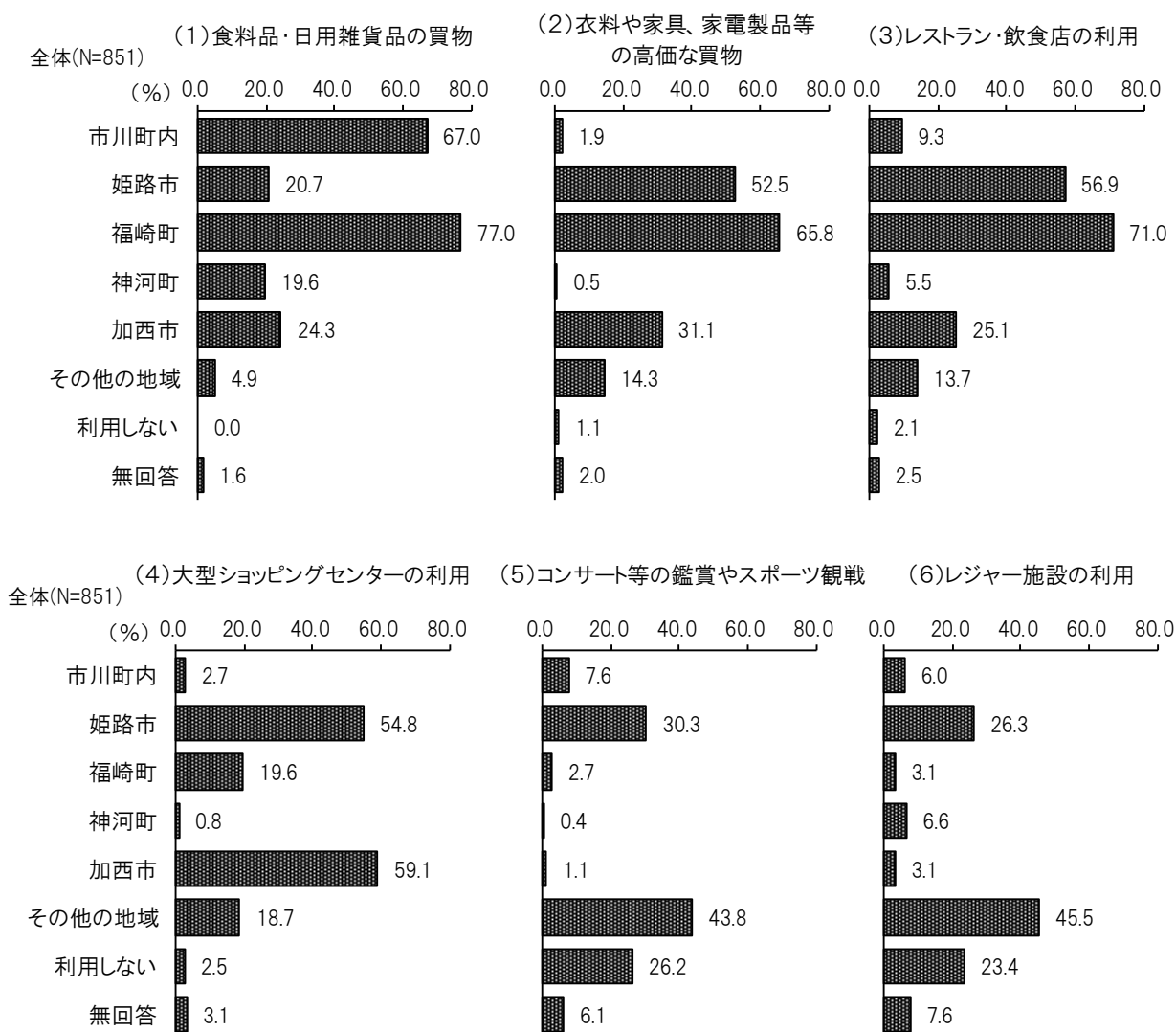
単位 (%)	起業・就労支援の充実	農林業の振興	防災・減災対策の充実	文化・芸術・スポーツ活動の振興	住宅整備	障がい者支援の充実	地域活動の活性化	地域の生涯学習機会	環境保護・景観保全	その他	特になし
全体(N=851)	5.1	4.8	4.6	4.5	4.3	4.0	3.3	2.4	2.2	4.1	2.2
【年齢別】											
29歳以下(n=83)	3.6	3.6	6.0	3.6	7.2	7.2	0.0	0.0	1.2	1.2	1.2
30歳代(n=95)	8.4	2.1	5.3	7.4	7.4	5.3	5.3	1.1	2.1	7.4	2.1
40歳代(n=113)	8.0	0.9	7.1	6.2	0.9	4.4	1.8	0.9	1.8	6.2	4.4
50歳代(n=154)	3.2	7.8	5.2	4.5	5.2	3.2	2.6	3.2	1.9	4.5	0.6
60歳代(n=262)	4.6	5.7	3.4	3.8	3.4	2.7	4.2	2.7	1.9	3.1	2.3
70歳以上(n=142)	4.2	5.6	2.8	2.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	2.8	2.8

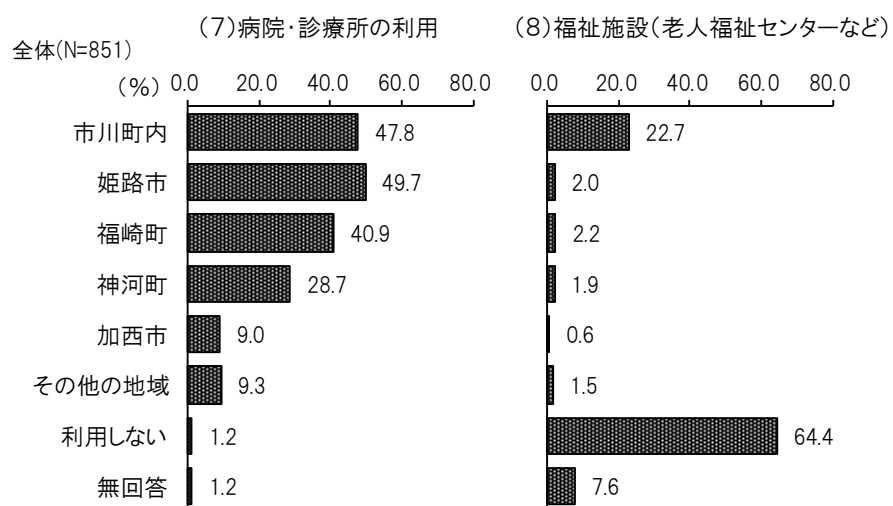
【2】日常生活について

1 日常生活における主な外出地域

問 16 日常生活において、あなたが出かける地域はどこですか。それぞれの項目ごとにお答えください。（それぞれあてはまるものすべてに○）

日常生活における主な外出地域をみると、（１）食料品・日用雑貨品の買物は「市川町内」「福崎町」、（２）衣料や家具、家電製品等の高価な買物は「姫路市」「福崎町」、（３）レストラン・飲食店の利用は「姫路市」「福崎町」、（４）大型ショッピングセンターの利用は「姫路市」「加西市」、（７）病院・診療所の利用は「市川町内」「姫路市」「福崎町」、（８）福祉施設（老人福祉センターなど）は「市川町内」での利用が多くなっている。



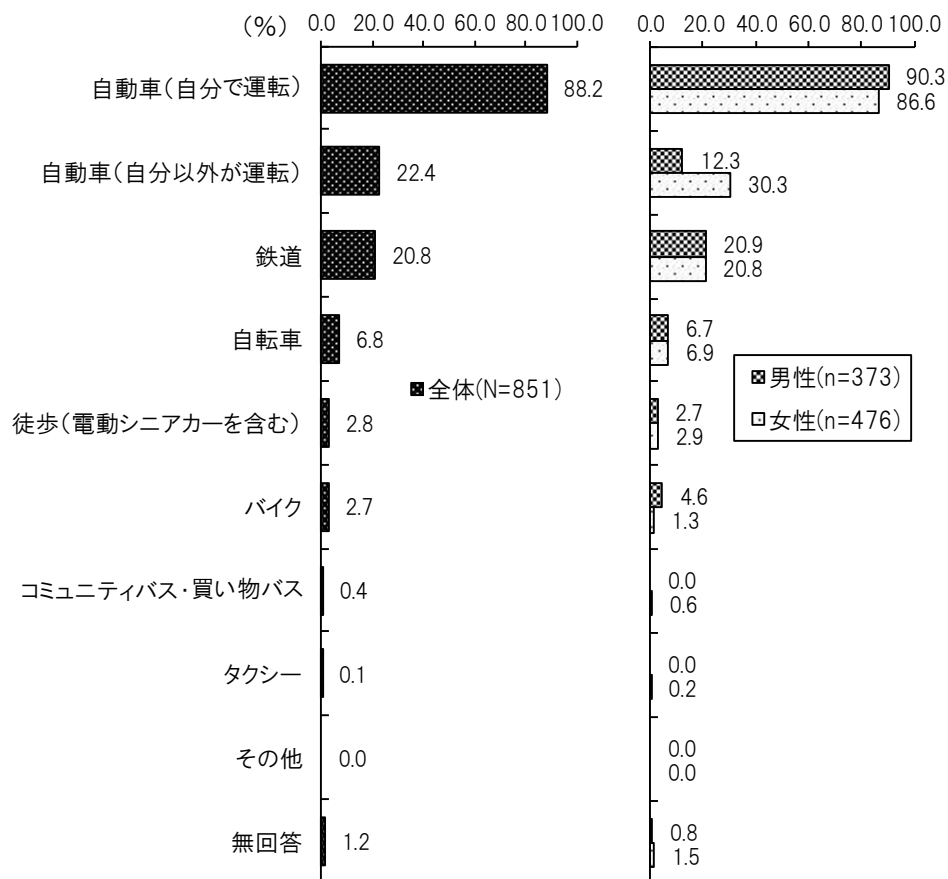


2 外出時の移動手段

問 17 あなたが出かけるときの主な移動手段は何ですか。（○は2つまで）

外出時の移動手段については、「自動車（自分で運転）」の割合が88.2%と最も高く、次いで「自動車（自分以外が運転）」（22.4%）、「鉄道」（20.8%）の順となっている。

性別では、女性は「自動車（自分以外が運転）」の割合が男性を大きく上回っている。



地区別では、瀬加小学校区で「自動車（自分で運転）」、甘地小学校区で「自動車（自分以外が運転）」、甘地小学校区や鶴居小学校区で「鉄道」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

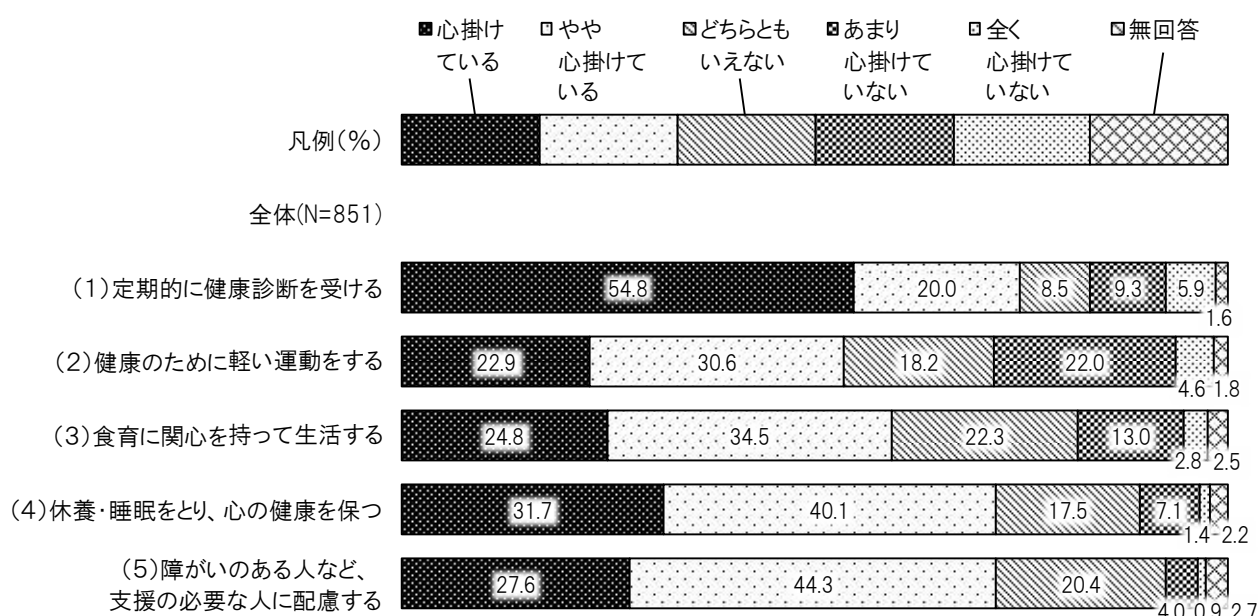
年齢別では、29歳以下で「鉄道」、30歳代で「自動車（自分以外が運転）」、70歳以上で「自転車」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	自動車 (自分で運転)	自動車 (自分以外が運 転)	鉄 道	自 転 車	徒歩 (電動シ ニアカ ーを 含む)	バ イ ク	物 バ ス コ ミ ュ ニ テ ィ バ ス ・ 買 い	タ ク シ ー
全体(N=851)	88.2	22.4	20.8	6.8	2.8	2.7	0.4	0.1
【地区別】								
川辺小学校区(n=244)	88.1	22.1	17.2	7.4	4.9	1.6	0.0	0.0
瀬加小学校区(n=167)	93.4	17.4	15.0	3.6	1.2	4.8	0.6	0.0
甘地小学校区(n=211)	85.3	28.4	24.6	5.7	1.9	2.8	0.0	0.5
鶴居小学校区(n=228)	87.7	21.1	25.4	9.6	2.6	2.2	0.9	0.0
【年齢別】								
29歳以下(n=83)	67.5	27.7	43.4	7.2	8.4	4.8	0.0	0.0
30歳代(n=95)	89.5	33.7	12.6	7.4	3.2	3.2	1.1	0.0
40歳代(n=113)	94.7	19.5	14.2	5.3	0.0	1.8	0.0	0.0
50歳代(n=154)	96.8	17.5	15.6	3.2	0.6	1.9	0.0	0.0
60歳代(n=262)	91.2	19.8	22.5	6.5	3.8	2.3	0.0	0.4
70歳以上(n=142)	79.6	23.9	20.4	12.0	2.1	3.5	1.4	0.0

3 日頃、心掛けていること

問 18 あなたは日頃、次の（１）から（５）までの項目について、それぞれの程度心掛けていますか。（○は各項目１つずつ）

日頃、心掛けていることについては、（１）定期的に健康診断を受けることを「心掛けています」割合は半数以上（54.8％）と、他の項目を大きく上回っている。一方、（２）健康のために軽い運動をするでは、「あまり心掛けていない」割合が約２割（22.0％）と、他の項目に比べて高くなっている。



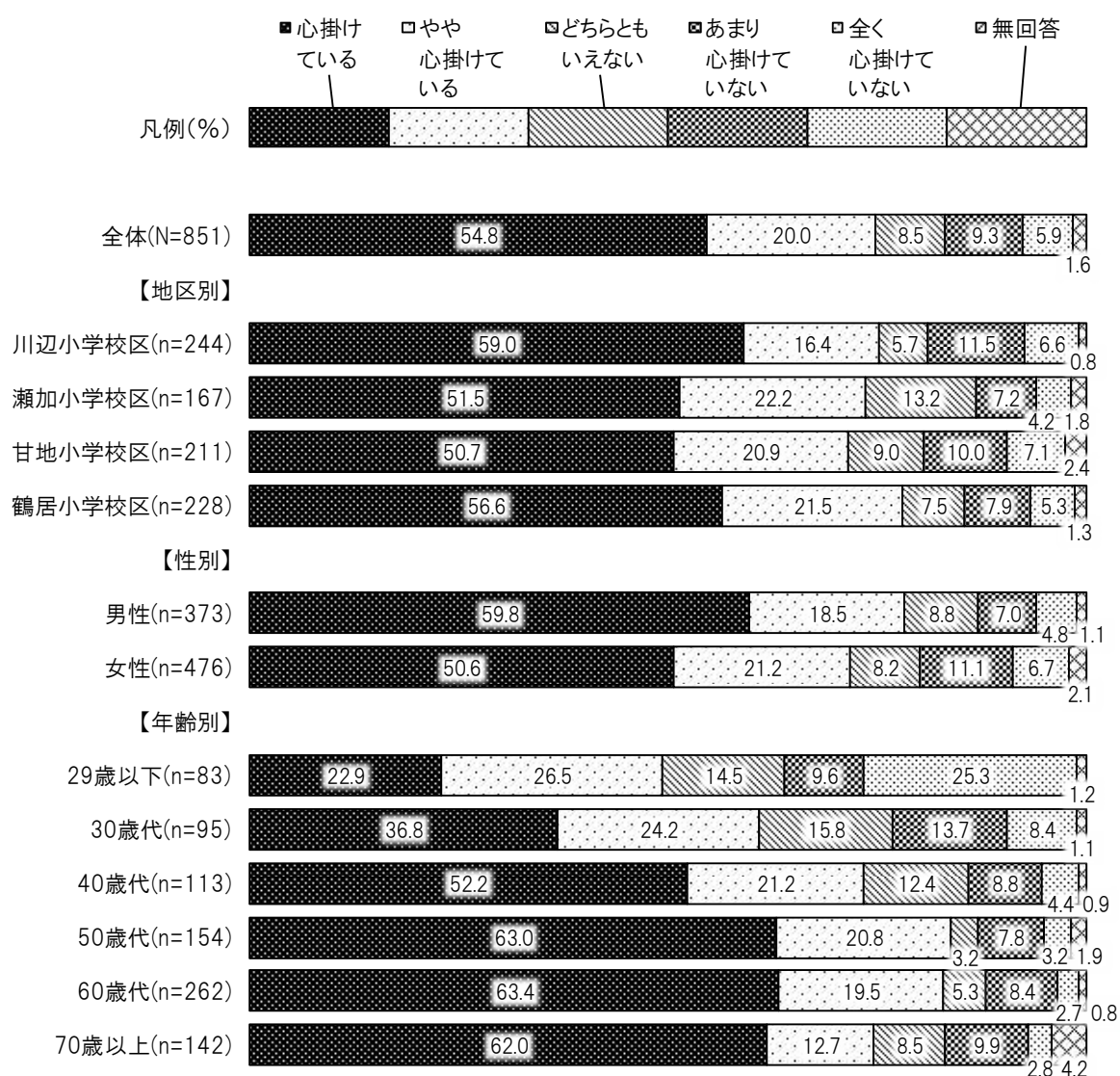
(1) 定期的に健康診断を受ける

定期的に健康診断を受けることについては、「心掛けている」の割合が 54.8%、「やや心掛けている」が 20.0%で、合計 74.8%が『心掛けている』と回答している。一方、「あまり心掛けていない」(9.3%)と「全く心掛けていない」(5.9%)の合計は 15.2%となっている。

地区別では、川辺小学校区や鶴居小学校区で「心掛けている」の割合が、他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「心掛けている」の割合が高くなっている。

年齢別では、29 歳以下で「全く心掛けていない」、50 歳代以上で「心掛けている」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

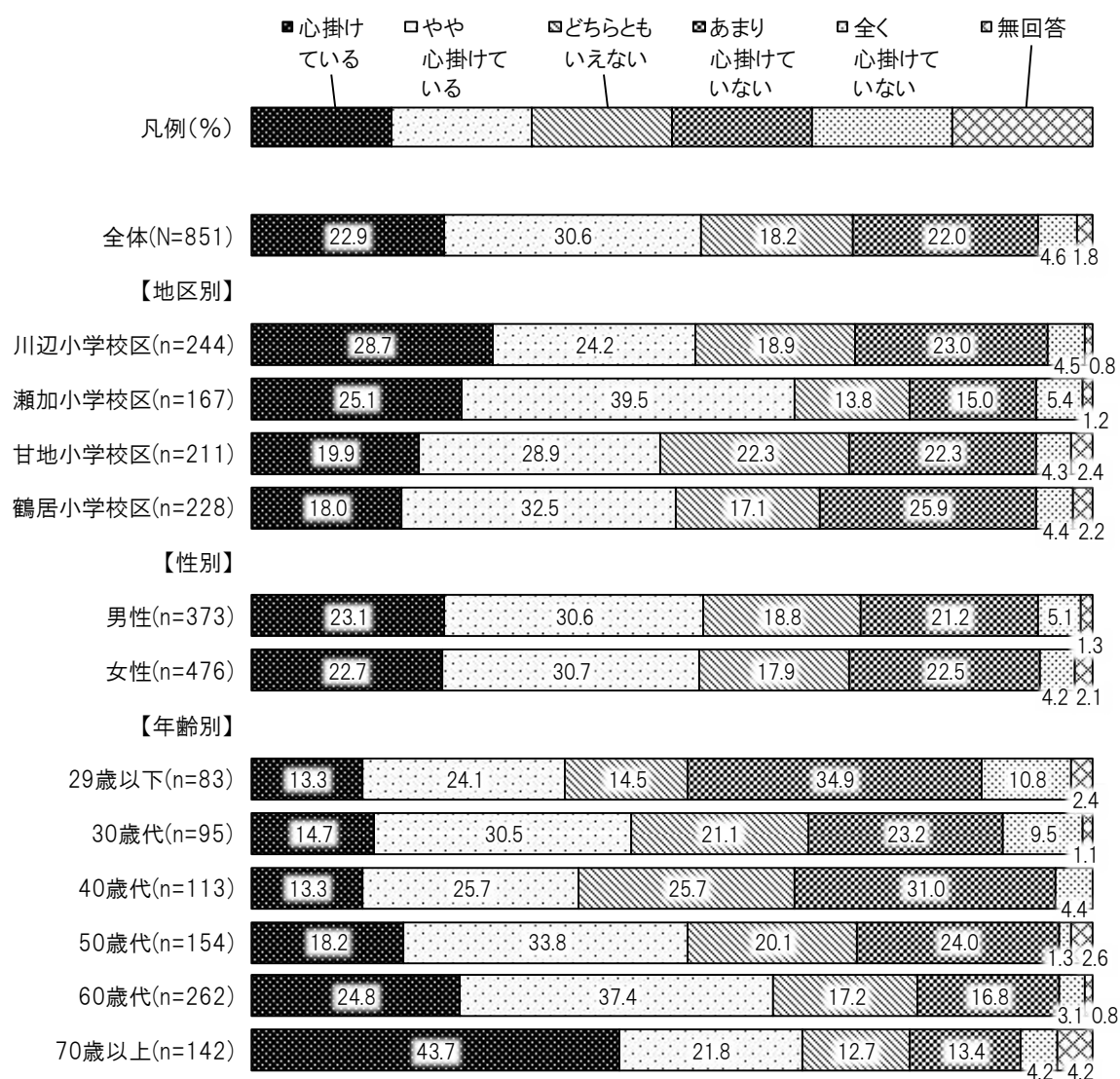


(2) 健康のために軽い運動をする

健康のために軽い運動をすることについては、「心掛けている」の割合が22.9%、「やや心掛けている」が30.6%で、合計53.5%が『心掛けている』と回答している。一方、「あまり心掛けていない」(22.0%)と「全く心掛けていない」(4.6%)の合計は26.6%となっている。

地区別では、瀬加小学校区で『心掛けている（合計）』の割合が他の地区を大きく上回っている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では29歳以下で『心掛けていない（合計）』、60歳代以上で『心掛けている（合計）』の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



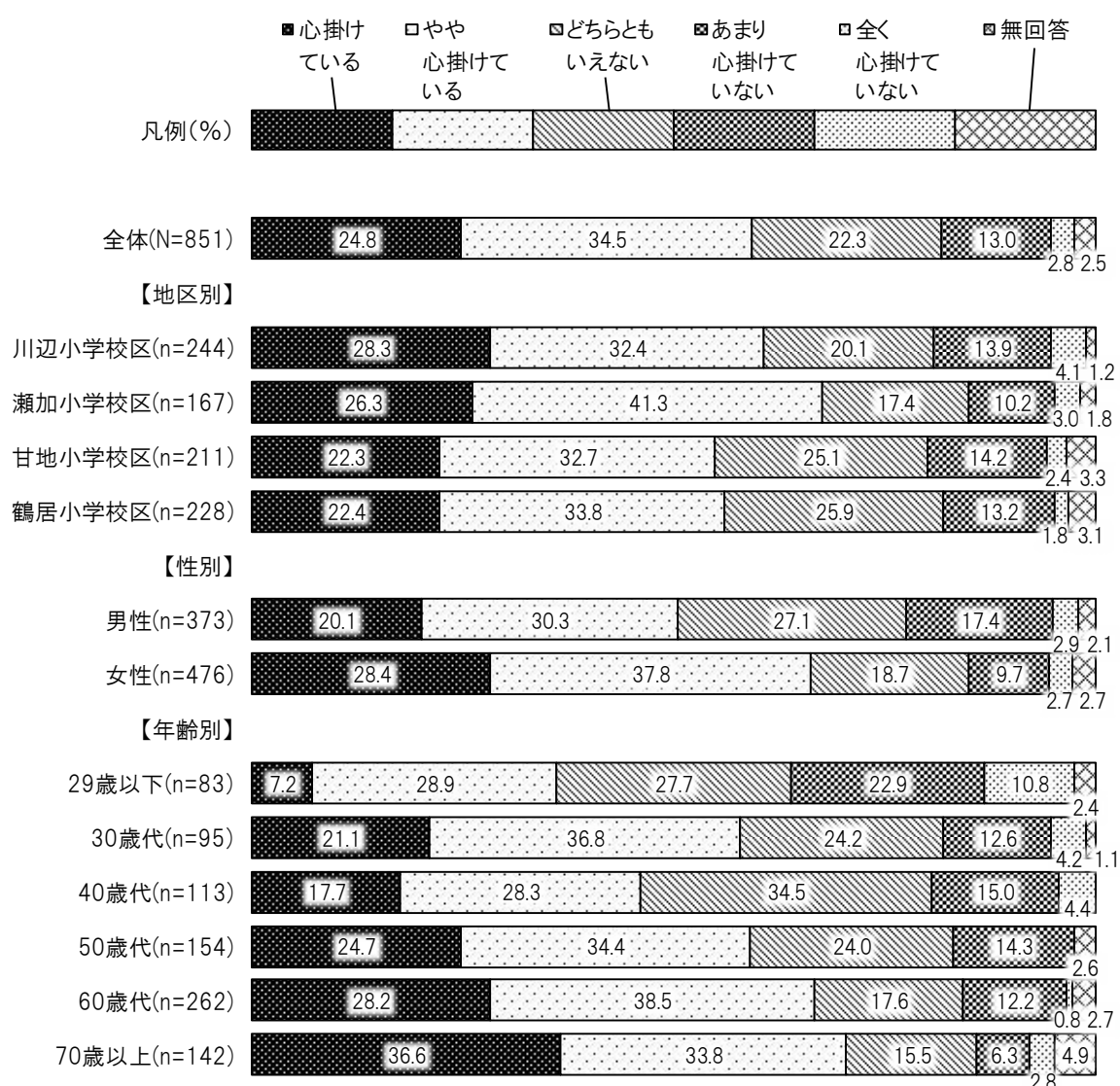
(3) 食育に関心を持って生活する

食育に関心を持って生活することについては、「心掛けている」の割合が24.8%、「やや心掛けている」が34.5%で、合計59.3%が『心掛けている』と回答している。一方、「あまり心掛けていない」(13.0%)と「全く心掛けていない」(2.8%)の合計は15.8%となっている。

地区別では、瀬加小学校区で『心掛けている（合計）』の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、女性は『心掛けている（合計）』の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、29歳以下で『心掛けていない（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高く、おおむね年齢が上がるほど『心掛けている（合計）』の割合が増える傾向にある。



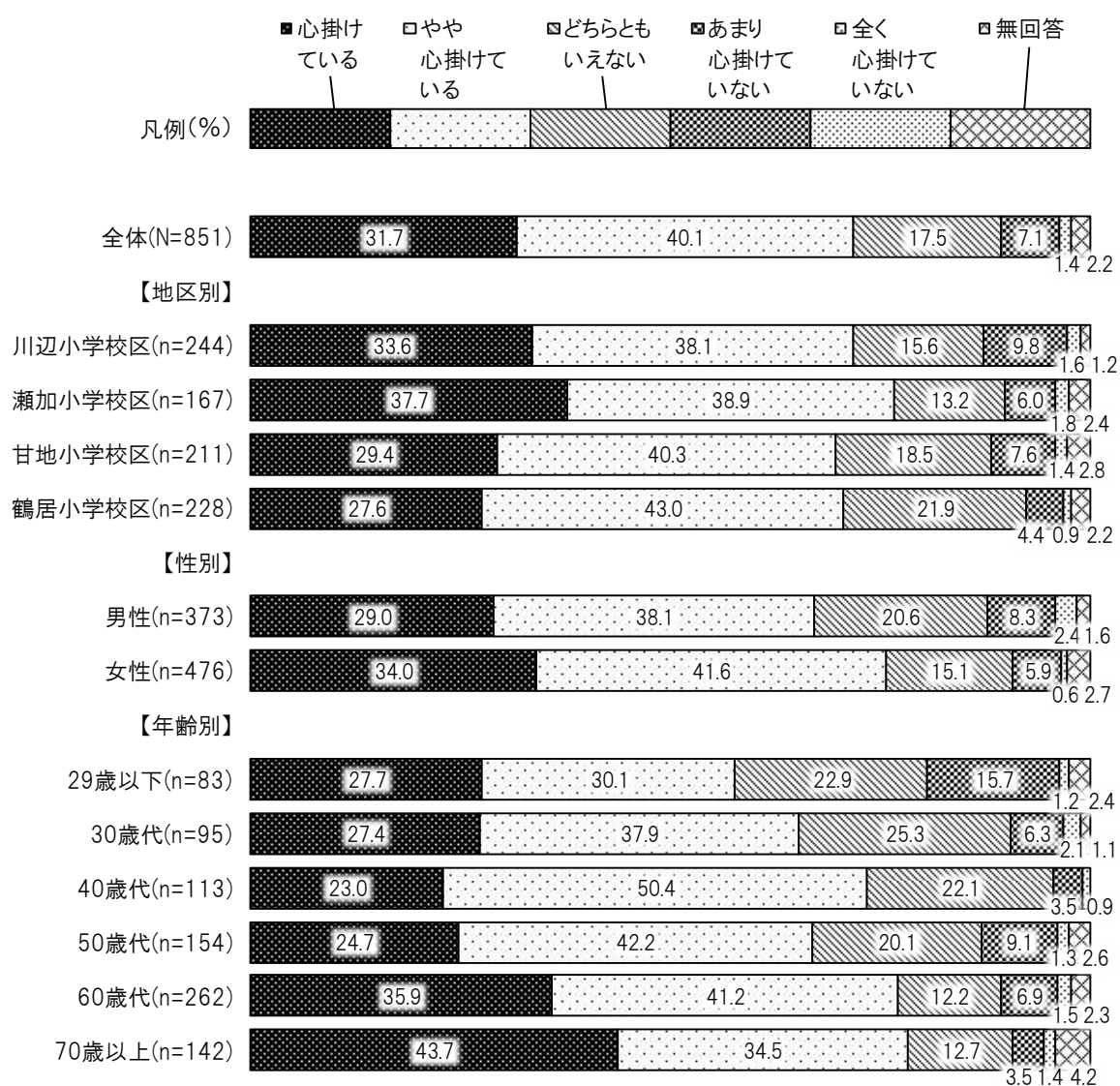
(4) 休養・睡眠をとり心の健康を保つ

休養・睡眠をとり心の健康を保つことについては、「心掛けている」の割合が 31.7%、「やや心掛けている」が 40.1%で、合計 71.8%が『心掛けている』と回答している。一方、「あまり心掛けていない」(7.1%)と「全く心掛けていない」(1.4%)の合計は 8.5%となっている。

地区別では、瀬加小学校区で『心掛けている（合計）』の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、女性は男性に比べ『心掛けている（合計）』の割合が高くなっている。

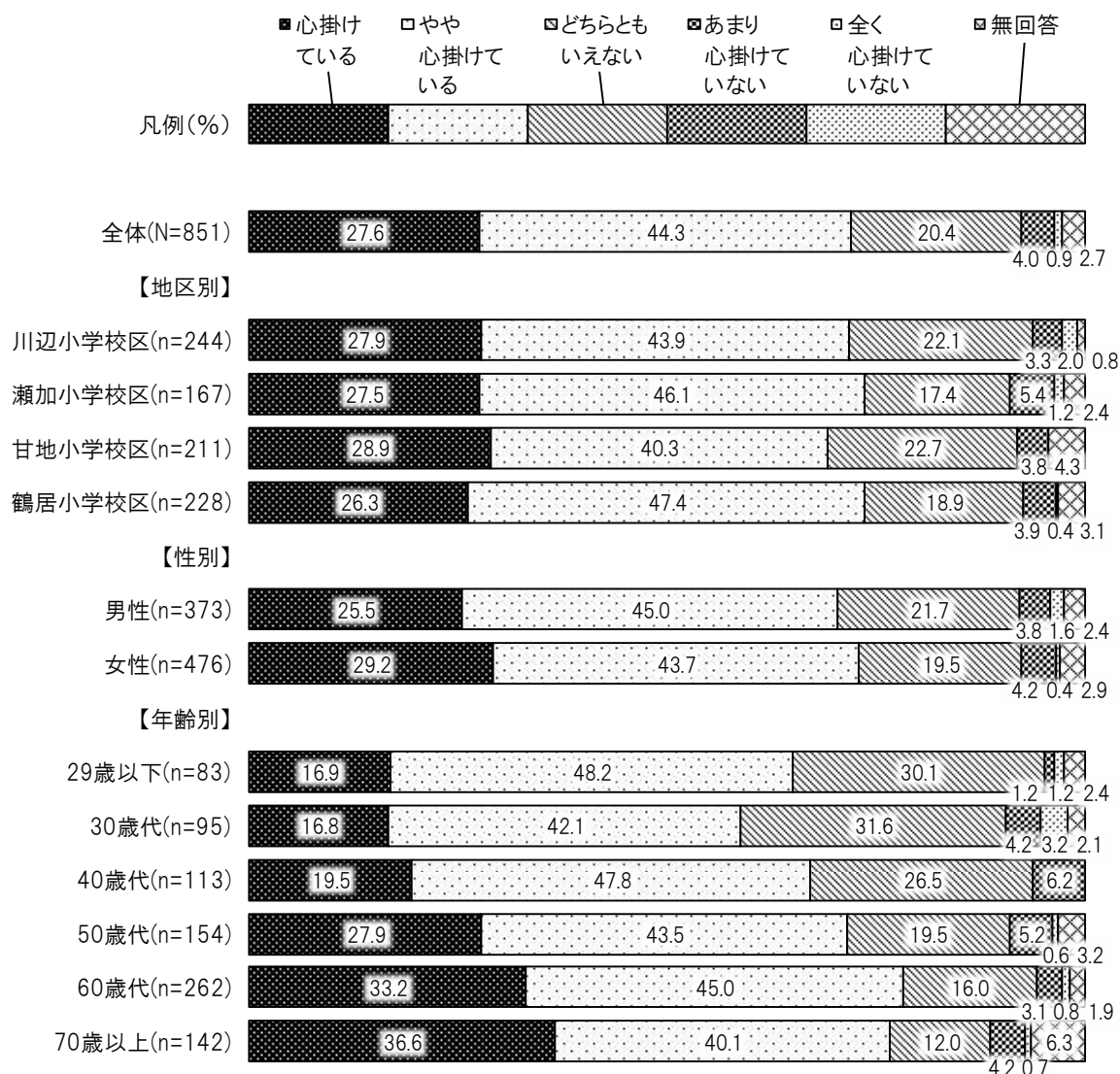
年齢別では、60 歳代以上で「心掛けている」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



(5) 障がいのある人など、支援の必要な人に配慮する

障がいのある人など、支援の必要な人に配慮することについては、「心掛けている」の割合が27.6%、「やや心掛けている」が44.3%で、合計71.9%が『心掛けている』と回答している。一方、「あまり心掛けていない」(4.0%)と「全く心掛けていない」(0.9%)の合計は4.9%となっている。

地区別や性別では大きな差はみられないが、年齢別ではおおむね年齢が上がるほど「心掛けている」の割合が増える傾向にある。



4 近所の人との付き合い程度

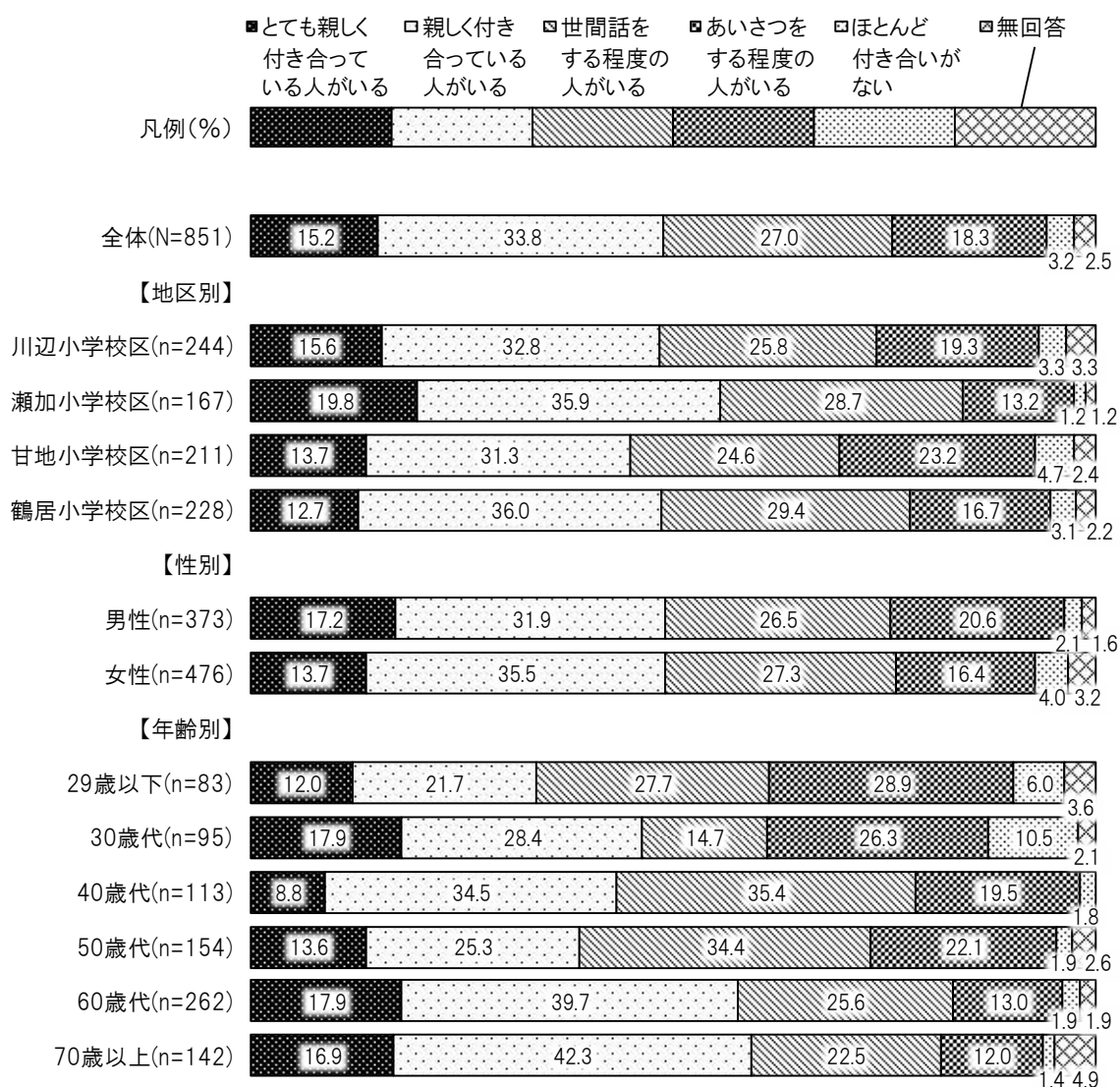
問 19 あなたの世帯では、近所の人や地域の人との付き合いはどの程度ですか。
(○は1つ)

近所の人との付き合い程度については、「とても親しく付き合っている人がある」の割合が15.2%、「親しく付き合っている人がある」が33.8%で、合計約半数(49.0%)が『親しく付き合っている人がある』と回答している。一方、「あいさつをする程度の人がある」は18.3%、「ほとんど付き合いがない」は3.2%となっている。

地区別では、瀬加小学校区で『親しく付き合っている人がある(合計)』の割合が他の地区に比べて高くなっている。

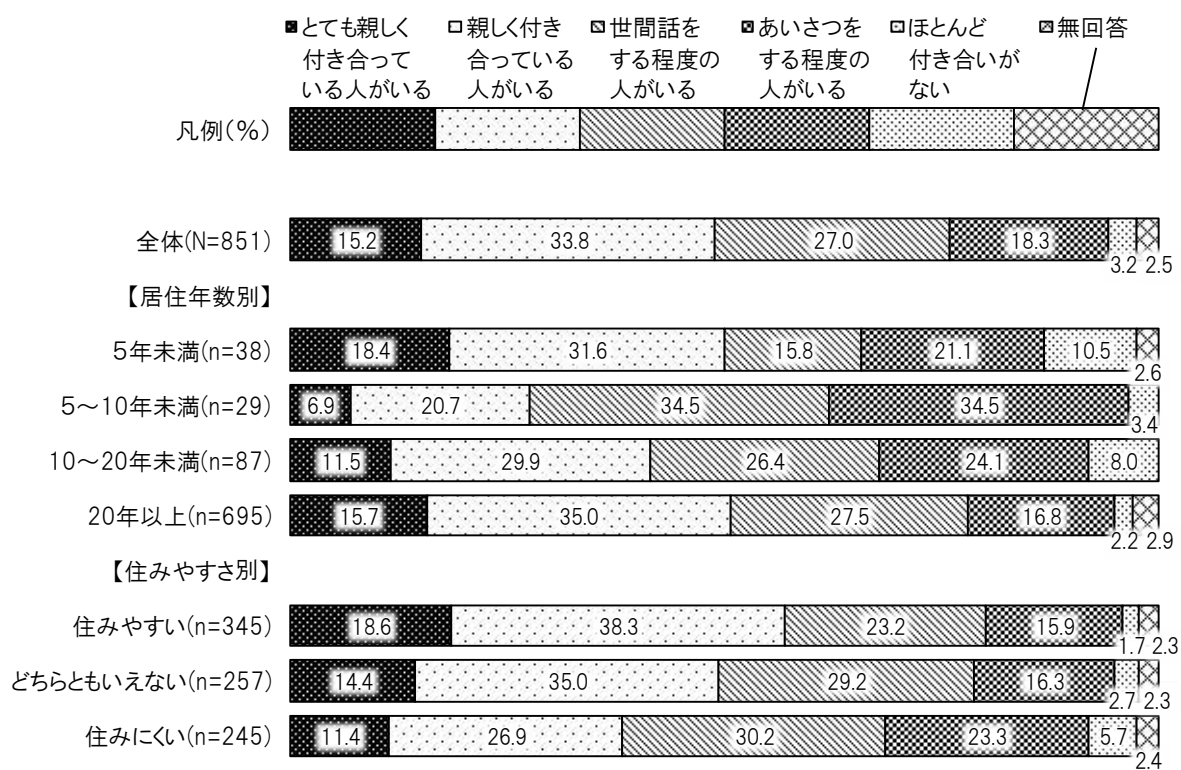
性別では、男性は女性に比べ「あいさつをする程度の人がある」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、30歳代以下で「あいさつをする程度の人がある」「ほとんど付き合いがない」、60歳代以上で『親しく付き合っている人がある(合計)』の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



居住年数別では、5年未満や20年以上で『親しく付き合っている人がある（合計）』、5～10年未満で「あいさつをする程度の人がある」の割合がそれぞれ他の居住年数に比べて高くなっている。

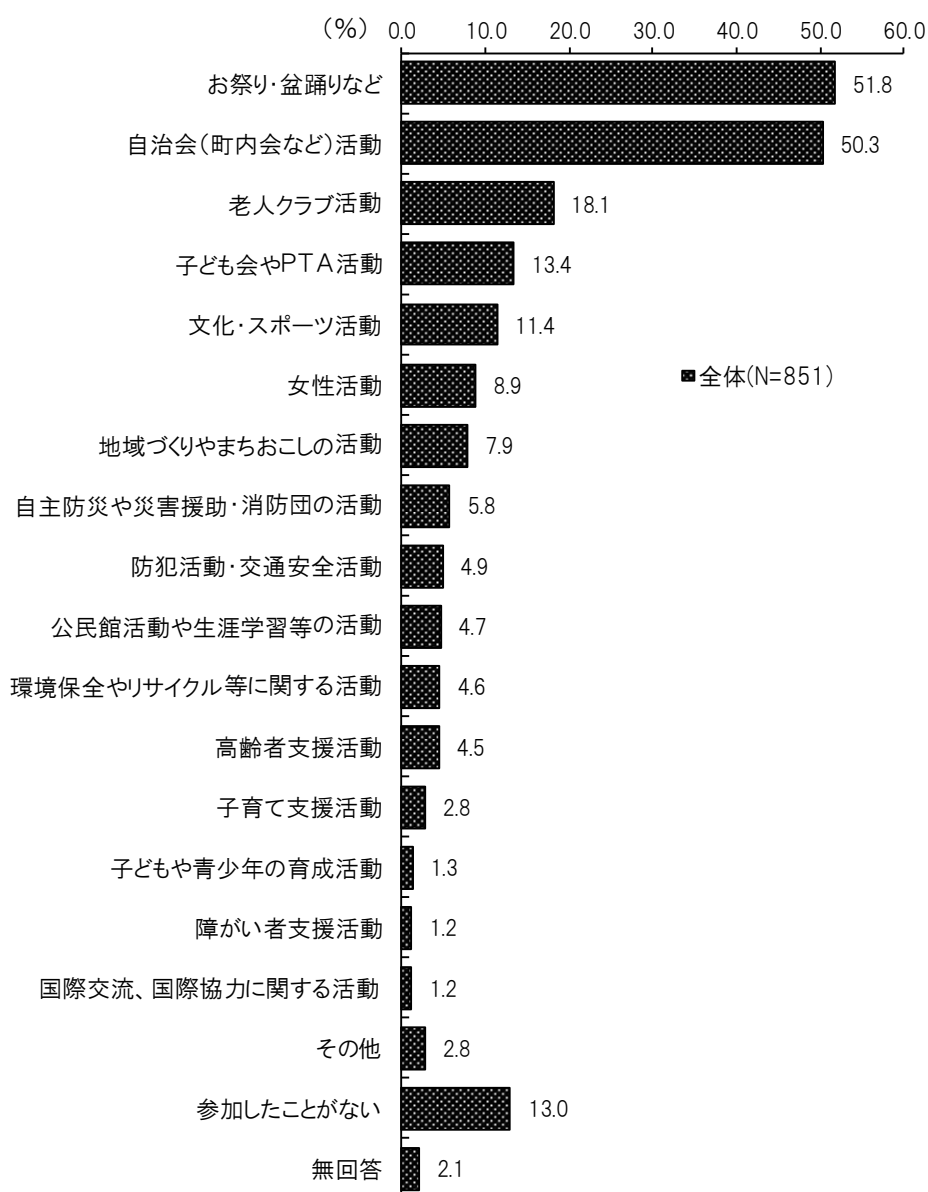
住みやすさ別では、住みやすいと感じている層ほど『親しく付き合っている人がある（合計）』の割合が増える傾向にある。



5 地域の交流活動への参加状況

問 20 あなたは地域の行事やボランティア活動など「地域の交流活動」へ参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

地域の交流活動への参加状況については、「お祭り・盆踊りなど」の割合が 51.8%と最も高く、ほぼ並んで「自治会（町内会など）活動」（50.3%）が続き、以下「老人クラブ活動」（18.1%）、「子ども会やPTA活動」（13.4%）、「文化・スポーツ活動」（11.4%）の順となっている。



地区別では、瀬加小学校区で「お祭り・盆踊りなど」「老人クラブ活動」「女性活動」、瀬加小学校区や甘地小学校区で「自治会（町内会など）活動」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は「お祭り・盆踊りなど」「自治会（町内会など）活動」「老人クラブ活動」「地域づくりやまちおこしの活動」などの割合が女性を上回っており、女性は男性に比べ「女性活動」の割合が高くなっている。

単位 (%)	お祭り・盆踊りなど	自治会（町内会など）活動	老人クラブ活動	子ども会やPTA活動	文化・スポーツ活動	女性活動	地域づくりやまちおこしの活動	自主防災や災害援助・消防団の活動	防犯活動・交通安全活動	公民館活動や生涯学習等の活動	環境保全やリサイクル等に関する活動
全体(N=851)	51.8	50.3	18.1	13.4	11.4	8.9	7.9	5.8	4.9	4.7	4.6
【地区別】											
川辺小学校区(n=244)	56.1	48.4	18.0	14.3	14.3	8.2	5.7	5.3	4.1	4.9	2.5
瀬加小学校区(n=167)	61.1	56.9	24.6	10.2	12.0	18.0	10.8	6.0	8.4	3.6	6.6
甘地小学校区(n=211)	51.2	54.0	10.9	15.2	11.4	7.6	8.5	6.2	2.8	2.8	3.3
鶴居小学校区(n=228)	41.2	44.3	20.2	13.2	7.9	4.4	7.5	5.7	5.3	7.0	6.6
【性別】											
男性(n=373)	56.0	60.3	22.0	11.0	12.1	0.8	13.7	9.9	8.0	3.8	5.6
女性(n=476)	48.7	42.6	15.1	15.1	10.9	15.3	3.4	2.5	2.5	5.5	3.8

単位 (%)	高齢者支援活動	子育て支援活動	子どもや青少年の育成活動	障がい者支援活動	国際交流、国際協力に関する活動	その他	参加したことがない
全体(N=851)	4.5	2.8	1.3	1.2	1.2	2.8	13.0
【地区別】							
川辺小学校区(n=244)	4.1	2.5	1.6	2.0	1.6	2.9	12.7
瀬加小学校区(n=167)	4.2	3.0	1.2	1.8	0.6	3.0	9.0
甘地小学校区(n=211)	2.4	3.8	1.4	0.0	1.9	2.4	15.2
鶴居小学校区(n=228)	7.0	2.2	0.9	0.9	0.4	3.1	14.5
【性別】							
男性(n=373)	1.9	1.1	1.6	0.8	0.8	2.7	11.8
女性(n=476)	6.5	4.2	1.1	1.5	1.5	2.9	13.9

年齢別では、30歳代以下で「参加したことがない」、30歳代で「自主防災や災害援助・消防団の活動」、30～40歳代で「子ども会やPTA活動」、50歳代で「女性活動」、60歳代以上で「老人クラブ活動」、70歳以上で「防犯活動・交通安全活動」「環境保全やリサイクル等に関する活動」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	お祭り・盆踊りなど	自治会（町内会など）活動	老人クラブ活動	子ども会やPTA活動	文化・スポーツ活動	女性活動	地域の活動 （おこし活動）	自主防災や災害援助・消防団の活動	防犯活動・交通安全活動	公民館活動や生涯学習等の活動	環境保全やリサイクル等に関する活動
全体(N=851)	51.8	50.3	18.1	13.4	11.4	8.9	7.9	5.8	4.9	4.7	4.6
【年齢別】											
29歳以下(n=83)	57.8	12.0	0.0	8.4	4.8	2.4	3.6	3.6	0.0	0.0	2.4
30歳代(n=95)	51.6	25.3	0.0	37.9	8.4	6.3	2.1	16.8	1.1	0.0	4.2
40歳代(n=113)	55.8	50.4	0.9	40.7	14.2	8.8	3.5	7.1	1.8	0.9	1.8
50歳代(n=154)	46.8	59.1	0.6	7.8	10.4	16.2	5.8	3.9	5.8	3.9	3.2
60歳代(n=262)	52.7	63.0	28.6	2.7	12.6	8.8	13.4	4.6	5.7	7.3	4.2
70歳以上(n=142)	49.3	56.3	54.2	2.8	14.1	7.0	9.2	2.8	10.6	9.9	10.6

単位 (%)	高齢者支援活動	子育て支援活動	子どもや青少年の育成活動	障がい者支援活動	国際交流、国際協力に関する活動	その他	参加したことがない
全体(N=851)	4.5	2.8	1.3	1.2	1.2	2.8	13.0
【年齢別】							
29歳以下(n=83)	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	2.4	30.1
30歳代(n=95)	0.0	7.4	3.2	0.0	0.0	2.1	26.3
40歳代(n=113)	0.9	3.5	1.8	0.9	0.9	1.8	10.6
50歳代(n=154)	2.6	1.3	1.3	0.6	2.6	4.5	11.0
60歳代(n=262)	7.6	1.5	1.1	1.5	0.8	1.5	8.4
70歳以上(n=142)	9.2	2.8	0.7	2.8	2.1	4.9	7.0

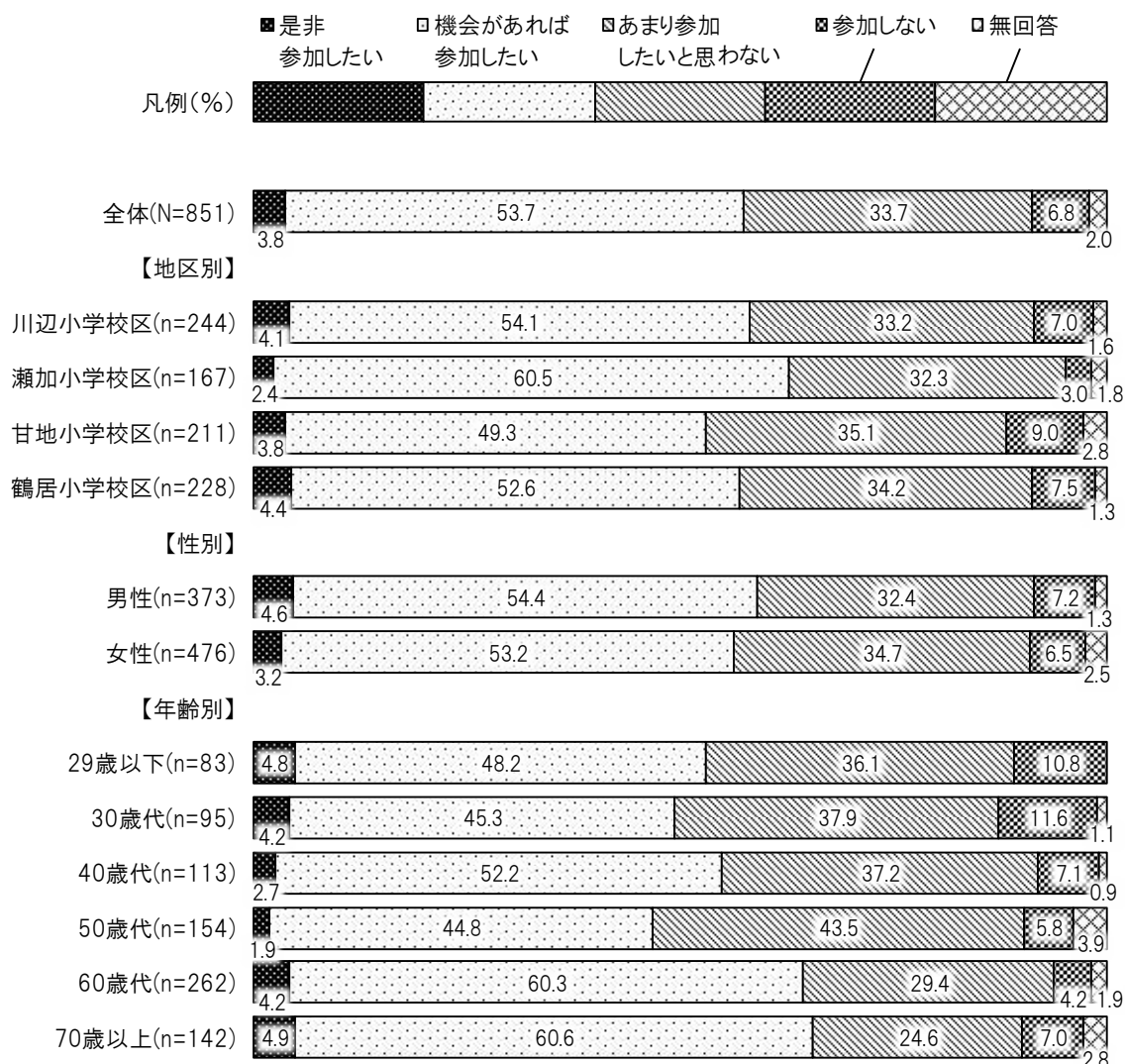
6 地域の交流活動への参加意向

問 21 あなたは今後、「地域の交流活動」へ参加したいと思いますか。（○は1つ）

地域の交流活動への参加意向については、「是非参加したい」の割合が 3.8%、「機会があれば参加したい」が 53.7%で、合計約 6 割（57.5%）が『参加したい』と回答している。一方、「あまり参加したいと思わない」（33.7%）と「参加しない」（6.8%）の合計は 40.5%となっている。

地区別では、瀬加小学校区で「機会があれば参加したい」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では 60 歳代以上で「機会があれば参加したい」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



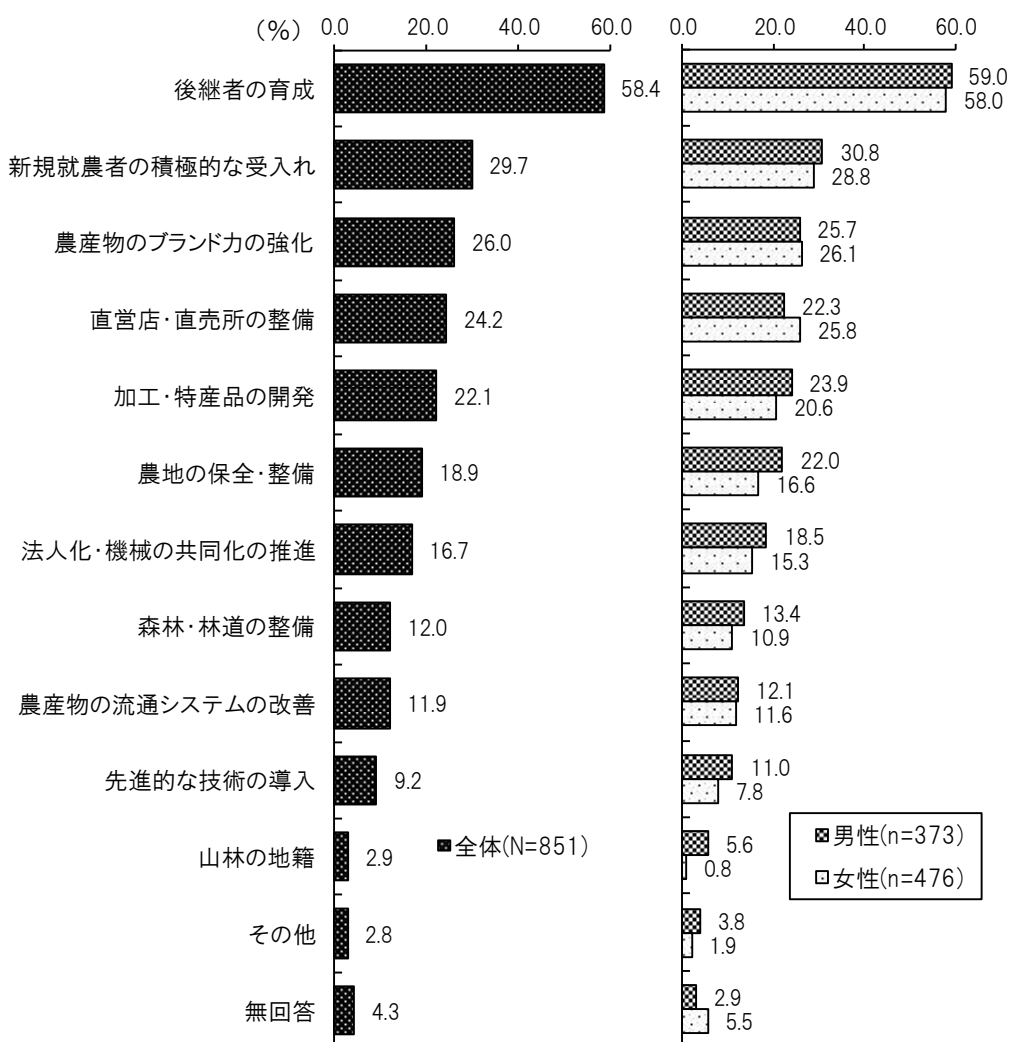
【3】産業振興について

1 農林業振興のため力を入れるべきこと

問 22 あなたは、市川町の農林業を振興するため、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇は3つまで）

農林業振興のため力を入れるべきことについては、「後継者の育成」の割合が 58.4%と最も高く、次いで「新規就農者の積極的な受入れ」（29.7%）、「農産物のブランド力の強化」（26.0%）、「直営店・直売所の整備」（24.2%）、「加工・特産品の開発」（22.1%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「農地の保全・整備」などの割合が高くなっている。



地区別では、瀬加小学校区で「農産物のブランド力の強化」「森林・林道の整備」、甘地小学校区や鶴居小学校区で「直営店・直売所の整備」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29 歳以下で「先進的な技術の導入」、30 歳代で「加工・特産品の開発」、30～40 歳代で「農産物のブランド力の強化」、60 歳代以上で「後継者の育成」、70 歳以上で「農地の保全・整備」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位(%)	後継者の育成	新規就農者の積極的な受入れ	農産物のブランド力の強化	直営店・直売所の整備	加工・特産品の開発	農地の保全・整備	法人化・機械の共同利用の推進	森林・林道の整備	農産物の流通システムの改善	先進的な技術の導入	山林の地籍
全体(N=851)	58.4	29.7	26.0	24.2	22.1	18.9	16.7	12.0	11.9	9.2	2.9
【地区別】											
川辺小学校区(n=244)	59.8	28.7	25.4	21.3	21.3	20.5	18.4	10.7	10.7	10.7	2.0
瀬加小学校区(n=167)	55.1	29.3	31.7	20.4	22.8	23.4	21.0	16.8	13.8	6.6	6.6
甘地小学校区(n=211)	54.5	31.8	26.1	27.5	25.1	11.8	9.5	10.4	10.4	9.5	2.8
鶴居小学校区(n=228)	63.2	29.4	22.4	27.2	19.7	20.6	18.4	11.4	13.2	9.2	1.3
【年齢別】											
29歳以下(n=83)	54.2	32.5	27.7	22.9	16.9	19.3	7.2	12.0	4.8	18.1	1.2
30歳代(n=95)	47.4	31.6	44.2	27.4	34.7	10.5	7.4	12.6	14.7	13.7	1.1
40歳代(n=113)	54.0	30.1	42.5	23.9	19.5	12.4	18.6	8.8	11.5	8.8	3.5
50歳代(n=154)	57.1	31.2	24.7	21.4	22.1	16.2	20.1	10.4	13.0	10.4	1.9
60歳代(n=262)	64.9	25.6	20.6	26.0	21.4	21.8	17.9	14.5	12.2	6.5	5.0
70歳以上(n=142)	61.3	31.7	10.6	22.5	19.7	27.5	21.1	11.3	11.3	4.9	2.1

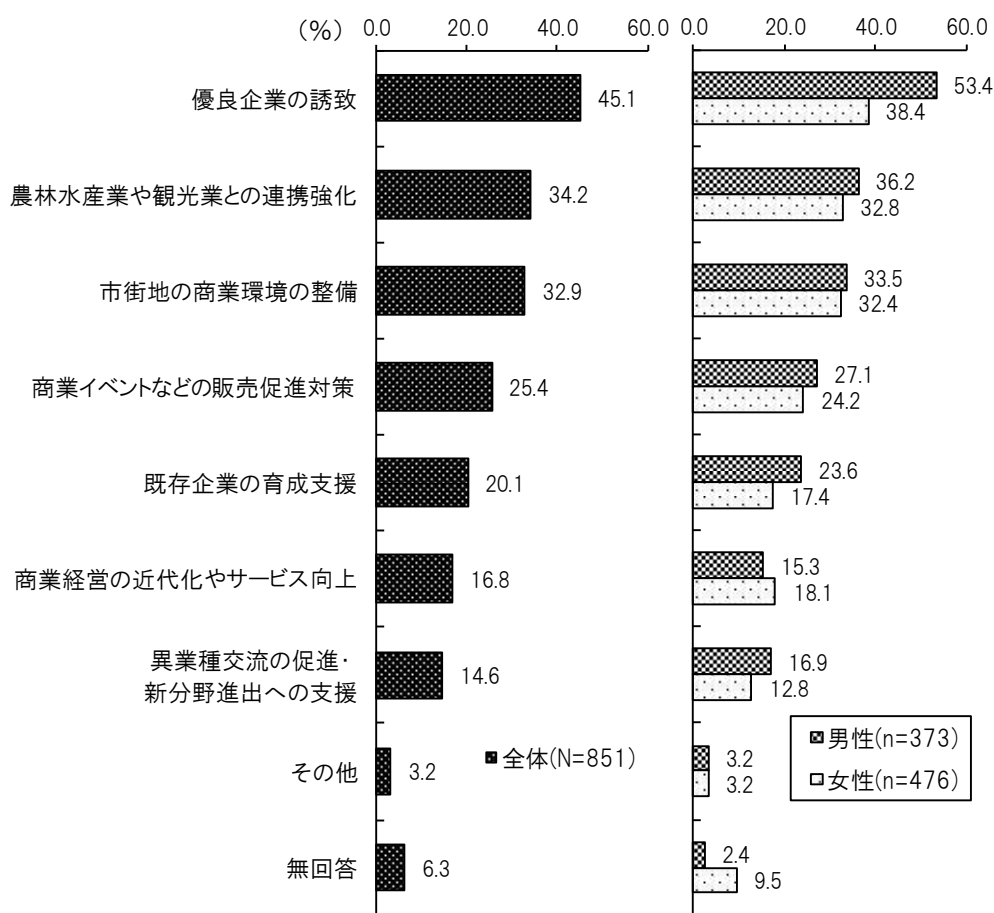
注:「その他」は表記から省略している。

2 商工業振興のため力を入れるべきこと

問 23 あなたは、市川町の商工業を振興するため、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇は3つまで）

商工業振興のため力を入れるべきことについては、「優良企業の誘致」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「農林水産業や観光業との連携強化」（34.2%）、「市街地の商業環境の整備」（32.9%）、「商業イベントなどの販売促進対策」（25.4%）、「既存企業の育成支援」（20.1%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「優良企業の誘致」「既存企業の育成支援」などの割合が高くなっている。



地区別では、鶴居小学校区で「優良企業の誘致」の割合が他の地区に比べてやや高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「商業経営の近代化やサービス向上」、30歳代で「市街地の商業環境の整備」「商業イベントなどの販売促進対策」、40歳代で「優良企業の誘致」、60歳代で「異業種交流の促進・新分野進出への支援」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

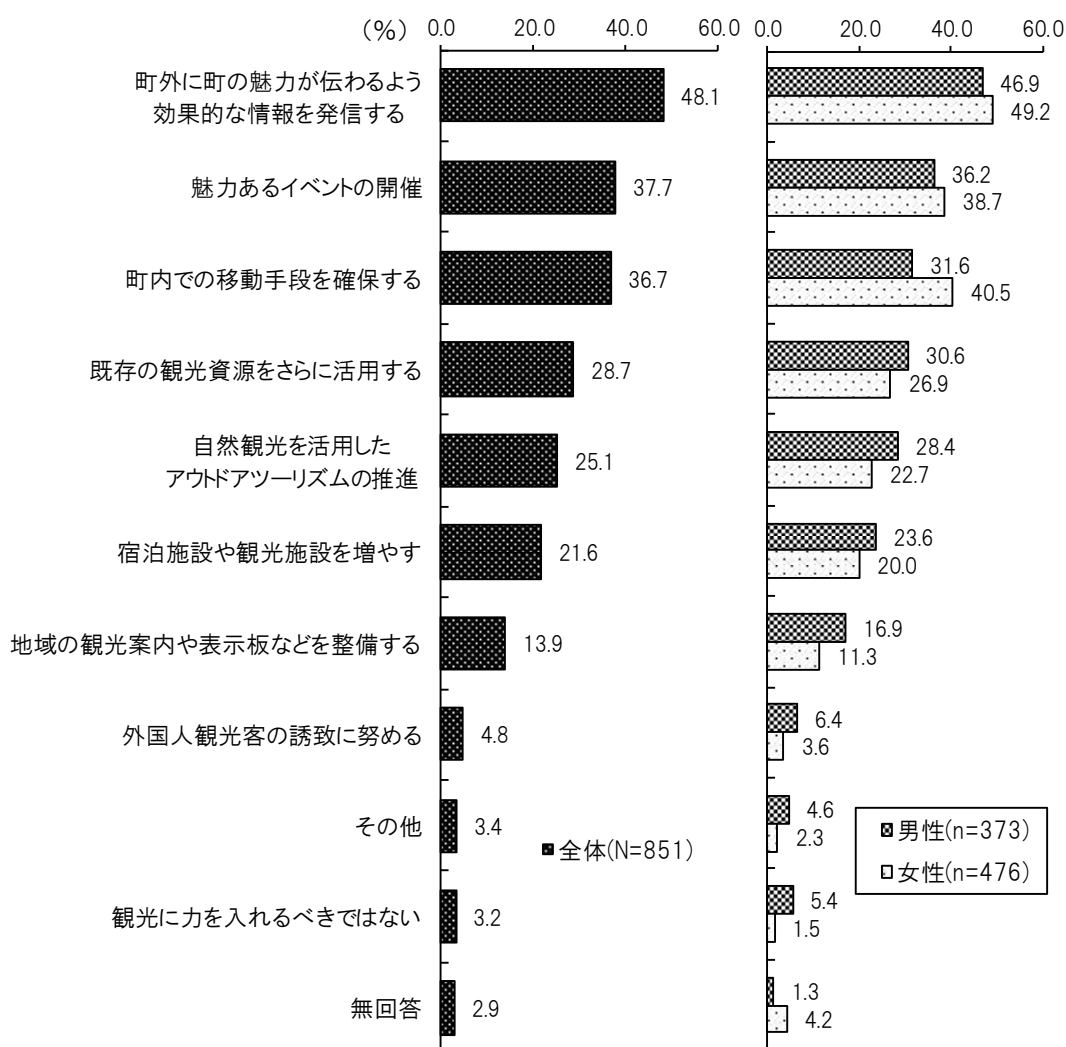
単位 (%)	優良企業の誘致	の農林水産業や観光業との連携強化	備市街地の商業環境の整備	売商業イベントなどの販売促進対策	既存企業の育成支援	サ―ビス向上の近代化や	分異業種交流の促進・新分野進出への支援	その他
全体(N=851)	45.1	34.2	32.9	25.4	20.1	16.8	14.6	3.2
【地区別】								
川辺小学校区(n=244)	40.6	34.0	31.6	28.3	21.7	15.6	17.6	3.7
瀬加小学校区(n=167)	46.1	37.7	34.1	26.3	20.4	18.0	17.4	1.8
甘地小学校区(n=211)	43.6	29.9	34.1	23.7	17.5	16.6	11.8	3.3
鶴居小学校区(n=228)	50.9	36.0	32.5	23.2	20.6	17.5	11.8	3.5
【年齢別】								
29歳以下(n=83)	30.1	36.1	38.6	28.9	18.1	26.5	9.6	2.4
30歳代(n=95)	38.9	36.8	46.3	34.7	17.9	17.9	12.6	5.3
40歳代(n=113)	51.3	33.6	33.6	24.8	17.7	17.7	9.7	4.4
50歳代(n=154)	44.8	33.1	33.1	19.5	20.1	13.6	14.9	2.6
60歳代(n=262)	46.6	36.6	29.8	24.8	22.1	14.5	19.1	3.1
70歳以上(n=142)	50.0	28.9	25.4	25.4	21.1	17.6	13.4	1.4

3 観光について力を入れるべきこと

問 24 あなたは、観光について、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇は3つまで）

観光について力を入れるべきことについては、「町外に町の魅力が伝わるよう効果的な情報を発信する」の割合が48.1%と最も高く、次いで「魅力あるイベントの開催」(37.7%)、「町内での移動手段を確保する」(36.7%)、「既存の観光資源をさらに活用する」(28.7%)、「自然観光を活用したアウトドアツーリズムの推進」(25.1%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「自然観光を活用したアウトドアツーリズムの推進」「地域の観光案内や表示板などを整備する」などの割合が高く、女性は「町内での移動手段を確保する」などの割合が男性を上回っている。



地区別では、川辺小学校区や瀬加小学校区で「魅力あるイベントの開催」、瀬加小学校区で「町内での移動手段を確保する」、甘地小学校区で「宿泊施設や観光施設を増やす」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「町内での移動手段を確保する」、30歳代以下で「宿泊施設や観光施設を増やす」、30歳代で「自然観光を活用したアウトドアツールの推進」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

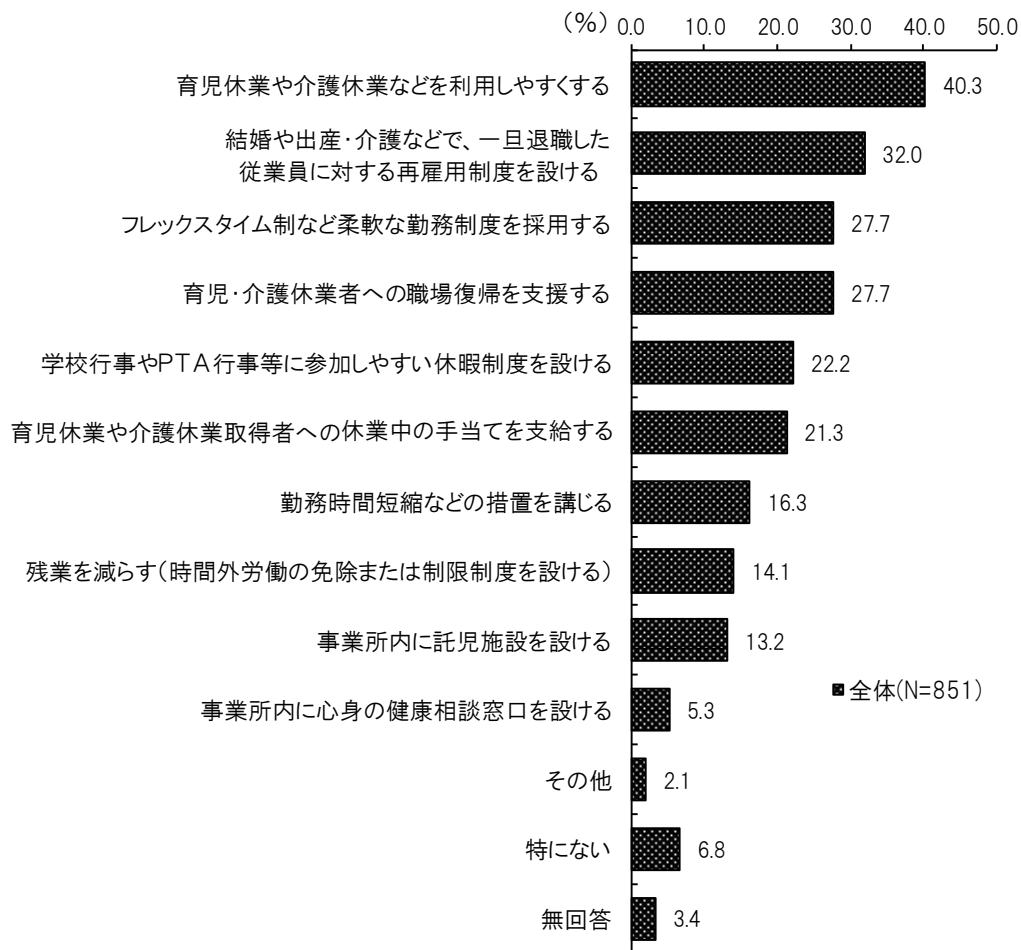
単位 (%)	効果的な町情の魅力を発信するよう	魅力あるイベントの開催	町内での移動手段を確保する	既存の観光資源をさらに活用	自然観光を活用したアウトドアツールの推進	宿泊施設や観光施設を増やす	地域の観光案内や表示板などを整備する	外国人観光客の誘致に努める	その他	観光に力を入れるべきではない
全体(N=851)	48.1	37.7	36.7	28.7	25.1	21.6	13.9	4.8	3.4	3.2
【地区別】										
川辺小学校区(n=244)	49.6	42.6	32.0	31.1	23.0	20.1	12.7	4.9	4.9	1.6
瀬加小学校区(n=167)	53.9	40.1	46.1	25.1	24.6	19.2	14.4	3.6	3.6	3.6
甘地小学校区(n=211)	40.3	33.6	34.1	27.0	24.6	26.1	12.3	5.7	3.3	5.2
鶴居小学校区(n=228)	49.6	34.6	37.3	30.3	28.5	21.1	16.2	4.8	1.8	2.6
【年齢別】										
29歳以下(n=83)	44.6	36.1	48.2	26.5	24.1	26.5	6.0	6.0	2.4	3.6
30歳代(n=95)	44.2	45.3	33.7	24.2	36.8	29.5	9.5	8.4	4.2	1.1
40歳代(n=113)	49.6	41.6	31.0	28.3	29.2	20.4	6.2	3.5	6.2	4.4
50歳代(n=154)	47.4	31.2	37.0	31.2	16.9	18.8	18.8	7.8	3.2	5.8
60歳代(n=262)	50.8	39.3	34.4	30.2	24.4	22.1	17.9	3.1	2.7	2.7
70歳以上(n=142)	47.2	34.5	40.1	27.5	24.6	15.5	14.8	2.8	2.1	1.4

【4】家庭生活について

1 ワーク・ライフ・バランスの推進に必要な取組

問 25 あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進するために、企業や事業所の取組として、どのようなことが必要だと思いますか。
（○は3つまで）

ワーク・ライフ・バランスの推進に必要な取組については、「育児休業や介護休業などを利用しやすくする」の割合が40.3%と最も高く、次いで「結婚や出産・介護などで、一旦退職した従業員に対する再雇用制度を設ける」（32.0%）、「フレックスタイム制など柔軟な勤務制度を採用する」「育児・介護休業者への職場復帰を支援する」（各27.7%）、「学校行事やPTA行事等に参加しやすい休暇制度を設ける」（22.2%）の順となっている。



地区別では、川辺小学校区で「フレックスタイム制など柔軟な勤務制度を採用する」「事業所内に託児施設を設ける」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「残業を減らす（時間外労働の免除または制限制度を設ける）」などの割合が高く、女性は「学校行事やPTA行事等に参加しやすい休暇制度を設ける」「育児休業や介護休業取得者への休業中の手当を支給する」などの割合が男性を上回っている。

年齢別では、29歳以下で「残業を減らす（時間外労働の免除または制限制度を設ける）」、30歳代で「学校行事やPTA行事等に参加しやすい休暇制度を設ける」「育児休業や介護休業取得者への休業中の手当を支給する」、40～50歳代で「フレックスタイム制など柔軟な勤務制度を採用する」、70歳以上で「結婚や出産・介護などで、一旦退職した従業員に対する再雇用制度を設ける」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

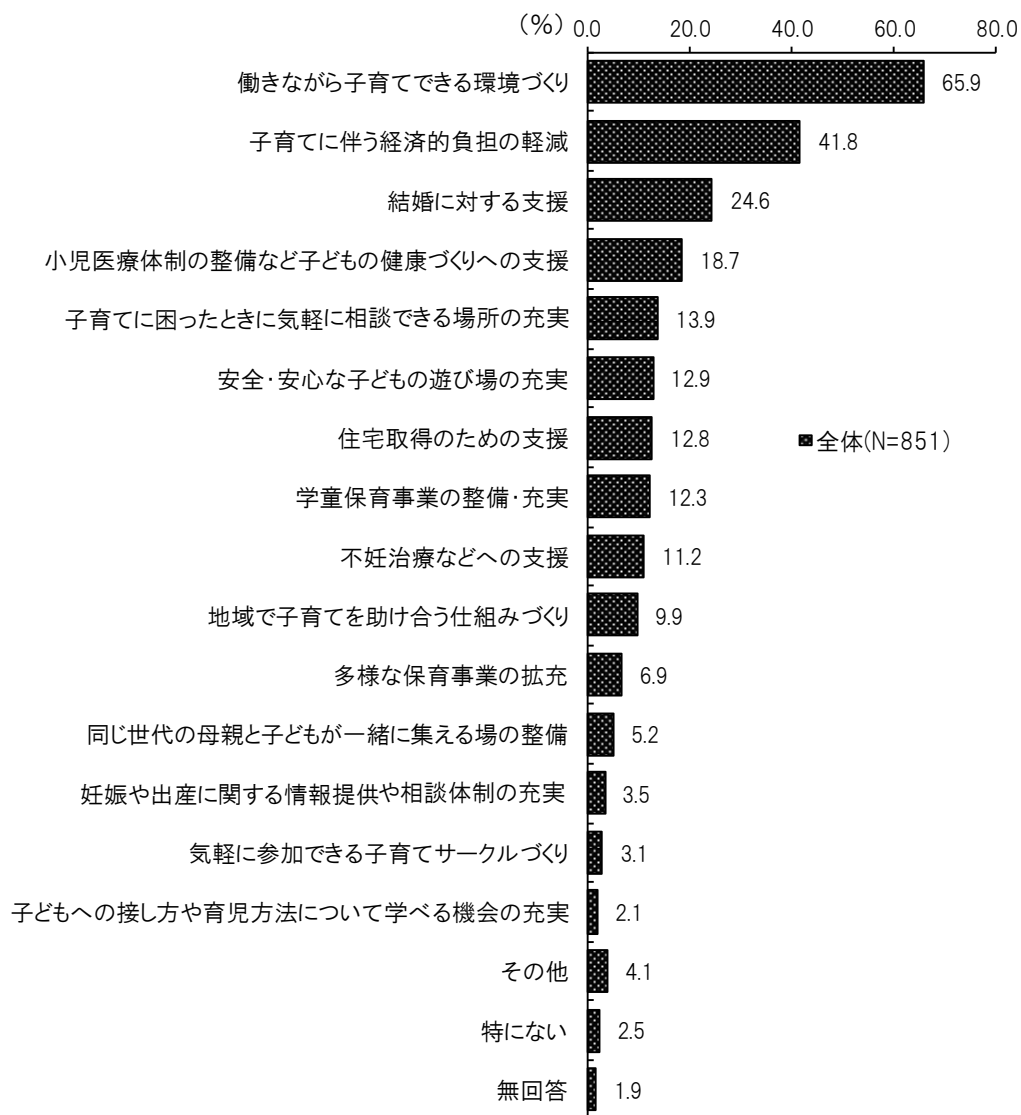
単位 (%)	育児休業や介護休業などを利用しやすいとする	育児休業や介護休業などを利用しやすいとする	育児休業や介護休業などを利用しやすいとする	育児休業や介護休業などを利用しやすいとする	育児休業や介護休業などを利用しやすいとする	育児休業や介護休業などを利用しやすいとする	育児休業や介護休業などを利用しやすいとする	育児休業や介護休業などを利用しやすいとする	育児休業や介護休業などを利用しやすいとする	育児休業や介護休業などを利用しやすいとする	育児休業や介護休業などを利用しやすいとする
全体(N=851)	40.3	32.0	27.7	27.7	22.2	21.3	16.3	14.1	13.2	5.3	6.8
【地区別】											
川辺小学校区(n=244)	38.9	29.1	32.8	27.5	21.7	21.3	17.2	11.1	17.2	4.1	6.6
瀬加小学校区(n=167)	41.3	31.1	25.7	24.6	20.4	19.8	15.6	16.8	11.4	6.0	6.6
甘地小学校区(n=211)	38.4	32.2	28.0	28.4	23.2	18.5	19.9	14.2	11.8	5.7	8.5
鶴居小学校区(n=228)	43.0	35.5	23.7	29.8	23.2	25.0	12.7	15.4	11.4	5.7	5.7
【性別】											
男性(n=373)	38.3	34.3	29.0	25.5	19.3	18.5	17.2	17.7	12.3	5.6	8.3
女性(n=476)	41.8	30.0	26.7	29.6	24.2	23.3	15.8	11.3	13.9	5.0	5.7
【年齢別】											
29歳以下(n=83)	43.4	26.5	25.3	22.9	25.3	21.7	19.3	22.9	19.3	2.4	6.0
30歳代(n=95)	33.7	29.5	23.2	26.3	37.9	35.8	23.2	12.6	17.9	10.5	5.3
40歳代(n=113)	38.1	22.1	36.3	13.3	30.1	26.5	20.4	14.2	10.6	3.5	11.5
50歳代(n=154)	44.8	32.5	35.1	27.9	16.2	26.0	16.9	18.2	9.7	3.9	3.9
60歳代(n=262)	38.5	30.5	24.8	34.4	16.8	17.2	13.4	12.2	11.5	4.6	7.6
70歳以上(n=142)	43.0	47.2	22.5	31.0	19.7	9.9	11.3	8.5	15.5	7.0	6.3

注:「その他」は表記から省略している。

2 子どもの数を増やすための支援や対策

問 26 あなたは、どのような支援や対策を行えば、子どもの数が増えると思いますか。（〇は3つまで）

子どもの数を増やすための支援や対策については、「働きながら子育てできる環境づくり」の割合が65.9%と最も高く、次いで「子育てに伴う経済的負担の軽減」(41.8%)、「結婚に対する支援」(24.6%)、「小児医療体制の整備など子どもの健康づくりへの支援」(18.7%)、「子育てに困ったときに気軽に相談できる場所の充実」(13.9%)の順となっている。



地区別では、甘地小学校区で「働きながら子育てできる環境づくり」の割合が他の地区に比べてやや高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「子育てに伴う経済的負担の軽減」「結婚に対する支援」などの割合が高く、女性は「不妊治療などへの支援」などの割合が男性を上回っている。

単位 (%)	働きながら子育てできる環境づくり	子育てに伴う経済的負担の軽減	結婚に対する支援	小児医療体制の整備への支援	子育てに困ったときに相談できる場所の充実	安全・安心な子どもの遊び場の充実	住宅取得のための支援	学童保育事業の整備・充実	不妊治療などへの支援	地域で子育てを助け合う仕組みづくり
全体(N=851)	65.9	41.8	24.6	18.7	13.9	12.9	12.8	12.3	11.2	9.9
【地区別】										
川辺小学校区(n=244)	66.0	40.2	25.8	20.5	13.5	14.3	11.1	8.6	11.9	9.0
瀬加小学校区(n=167)	62.3	37.1	26.3	21.0	12.6	9.0	12.6	14.4	8.4	13.2
甘地小学校区(n=211)	70.1	45.5	22.3	19.9	14.2	13.7	12.8	14.2	12.8	9.5
鶴居小学校区(n=228)	64.9	43.9	24.1	14.0	14.9	13.6	14.9	13.2	11.0	8.8
【性別】										
男性(n=373)	63.5	47.7	27.6	16.4	11.8	13.1	14.5	11.8	8.3	11.3
女性(n=476)	67.6	37.4	22.1	20.4	15.5	12.8	11.6	12.8	13.4	8.6

単位 (%)	多様な保育事業の拡充	整備が一世代に集え親と場子のど	実報妊提供や相談に体制する充情	て気サーにク参加できる子育て	機会児方どの法へのい接し学方やる育	その他	特にない
全体(N=851)	6.9	5.2	3.5	3.1	2.1	4.1	2.5
【地区別】							
川辺小学校区(n=244)	5.3	3.7	3.7	2.9	2.9	4.5	2.0
瀬加小学校区(n=167)	7.8	7.2	3.6	2.4	2.4	5.4	4.2
甘地小学校区(n=211)	8.5	3.3	3.8	3.3	1.9	3.3	2.4
鶴居小学校区(n=228)	6.6	7.0	3.1	3.5	1.3	3.5	1.8
【性別】							
男性(n=373)	6.4	5.9	2.7	2.7	1.9	5.4	1.9
女性(n=476)	7.4	4.6	4.2	3.4	2.3	2.9	2.9

年齢別では、30 歳代で「子育てに伴う経済的負担の軽減」「小児医療体制の整備など子どもの健康づくりへの支援」「安全・安心な子どもの遊び場の充実」「妊娠や出産に関する情報提供や相談体制の充実」、70 歳以上で「子育てに困ったときに気軽に相談できる場所の充実」「同じ世代の母親と子どもが一緒に集える場の整備」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	働きながら子育てできる環境づくり	子育てに伴う経済的負担の軽減	結婚に対する支援	小児医療体制の整備など子どもの健康づくりへの支援	子育てに困ったときに気軽に相談できる場所の充実	安全・安心な子どもの遊び場の充実	住宅取得のための支援	学童保育事業の整備・充実	不妊治療などへの支援	地域で子育てを助け合う仕組みづくり
全体(N=851)	65.9	41.8	24.6	18.7	13.9	12.9	12.8	12.3	11.2	9.9
【年齢別】										
29歳以下(n=83)	61.4	45.8	27.7	15.7	10.8	13.3	13.3	9.6	14.5	8.4
30歳代(n=95)	64.2	55.8	17.9	26.3	9.5	24.2	10.5	11.6	17.9	8.4
40歳代(n=113)	63.7	45.1	23.0	19.5	9.7	10.6	13.3	12.4	15.9	3.5
50歳代(n=154)	69.5	43.5	26.0	16.2	13.0	15.6	13.6	13.0	9.7	9.7
60歳代(n=262)	64.9	40.1	24.4	18.3	14.1	9.9	14.1	14.5	9.9	11.8
70歳以上(n=142)	69.0	29.6	26.8	17.6	22.5	9.9	10.6	9.9	4.2	13.4

単位（％）	多様な保育事業の拡充	整備もが一緒に集える場の	同じ世代の母親と子どもの	実報提供や相談に体制する充	妊娠や出産に関する情	て気軽に参加できる子育	児方法についての学べる育	機会の充実	子どもへの接し方や育	その他	特にない
全体(N=851)	6.9	5.2	3.5	3.1	2.1	4.1	2.5				
【年齢別】											
29歳以下(n=83)	10.8	2.4	0.0	2.4	4.8	4.8	3.6				
30歳代(n=95)	8.4	4.2	10.5	4.2	1.1	6.3	2.1				
40歳代(n=113)	6.2	2.7	5.3	1.8	0.0	8.0	4.4				
50歳代(n=154)	9.1	3.2	1.9	2.6	1.9	3.9	1.3				
60歳代(n=262)	5.0	5.7	1.5	2.7	2.3	2.3	2.3				
70歳以上(n=142)	5.6	10.6	4.9	4.9	2.8	2.1	2.1				

【5】まちづくりの満足度と重要度について

1 各施策の満足度と重要度

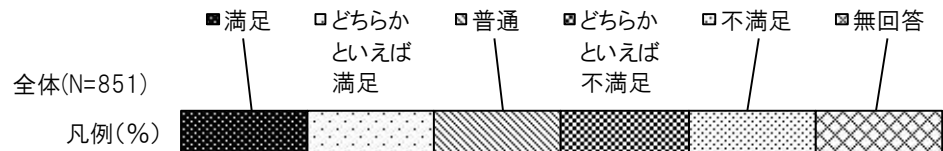
問 27 次にあげる市川町の各施策について、あなたは、現在、どれくらい満足されていますか。また、今後、どの程度重要だと思われますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

(1) 満足度

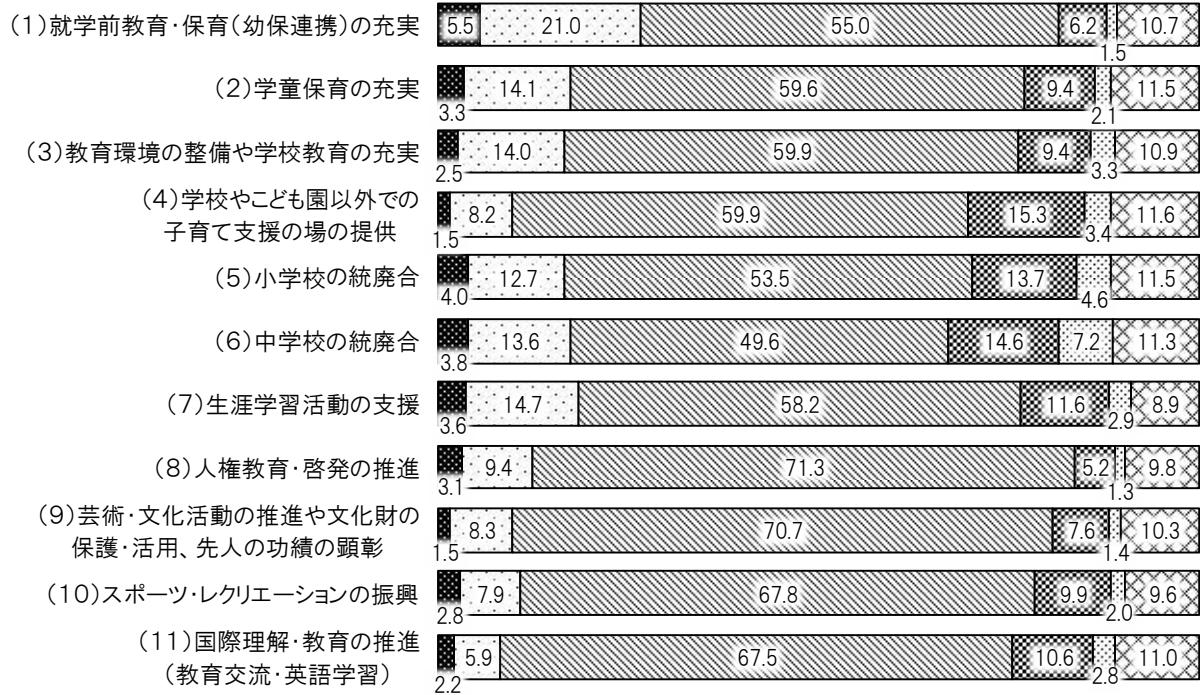
各施策 24 項目について、現在の満足度を5段階評価で質問したところ、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合が最も高かったのは「【1】(1) 就学前教育・保育(幼保連携)の充実」(26.5%)で、以下「【1】(7) 生涯学習活動の支援」(18.3%)、「【2】(2) 医療費助成の充実」(17.9%)、「【1】(2) 学童保育の充実」「【1】(6) 中学校の統廃合」(各 17.4%)、「【1】(5) 小学校の統廃合」(16.7%)、「【1】(3) 教育環境の整備や学校教育の充実」(16.5%)、「【2】(1) 健康づくりや食育の推進」(14.4%)などの順となっている。

一方、「不満足」「どちらかといえば不満足」の合計割合が最も高かったのは、「【3】(4) J R 甘地駅・鶴居駅周辺整備などの市街地の整備」(53.0%)であり、次いで「【3】(1) 道路の整備や橋の改修など安全の確保」(47.0%)、「【3】(6) 安全・安心な住宅環境への取組」(42.7%)、「【3】(3) 下水道施設の整備(雨水も含む)」(34.4%)、「【3】(2) 段差解消、バリアフリー化など人と環境に配慮した整備」(33.4%)、「【3】(7) コミュニティバスなどの地域公共交通の充実」(32.5%)、「【2】(2) 医療費助成の充実」(24.5%)、「【3】(5) 古い街並みや美しい景観などの魅力ある街並みの保全、創出」(24.2%)などの順となっている。

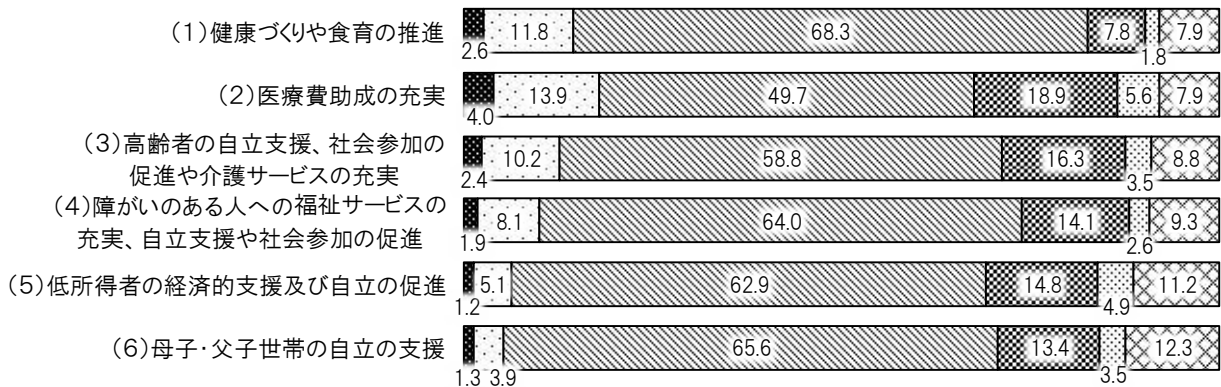
「【2】(2) 医療費助成の充実」は、満足度が高い一方で、不満足も比較的高くなっている。



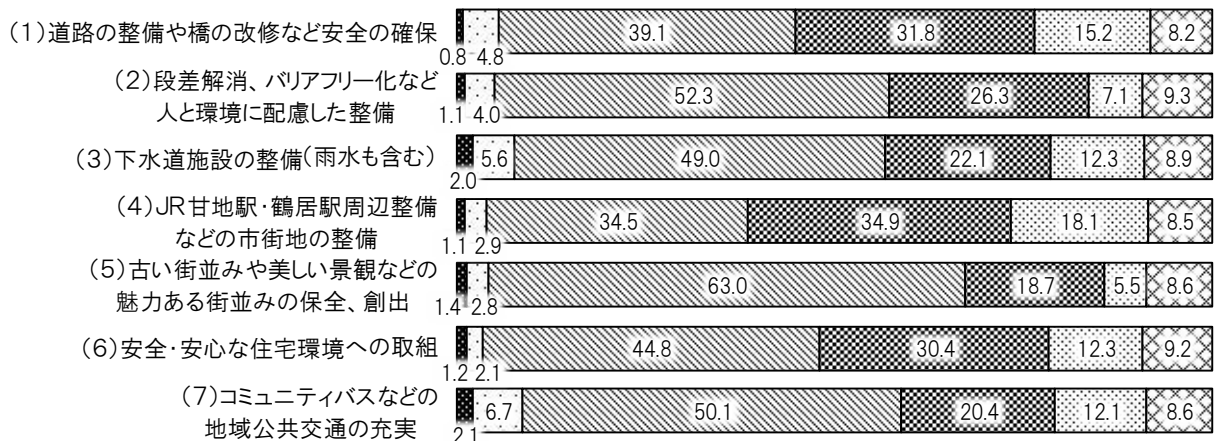
【1】教育施策について



【2】健康・医療・福祉施策について



【3】インフラ整備施策について



【満足度／平均評定値による集計】

満足度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化している。

- 「満足度」については「満足」「どちらかといえば満足」への回答とともに、「どちらかといえば不満足」「不満足」「普通」という選択肢もある。そのため、この「満足度」をよりの確に分析するために、平均評定値による指標化を行った。
- 平均評定値は、「満足」に＋10点、「どちらかといえば満足」に＋5点、「どちらかといえば不満足」に－5点、「不満足」に－10点、「普通」に0点の係数（ウェイト）を設定し、

【（「満足」の回答件数）×10（点）＋（「どちらかといえば満足」の回答件数）×5（点）＋（「どちらかといえば不満足」の回答件数）×－5（点）＋（「不満足」の回答件数）×－10（点）＋（「普通」の回答件数）×0（点）】÷【回答者件数－無回答件数】

の計算によって算出し、指標としている。

- この指標によって、「満足度」の強弱を、より明確に分析することができる。

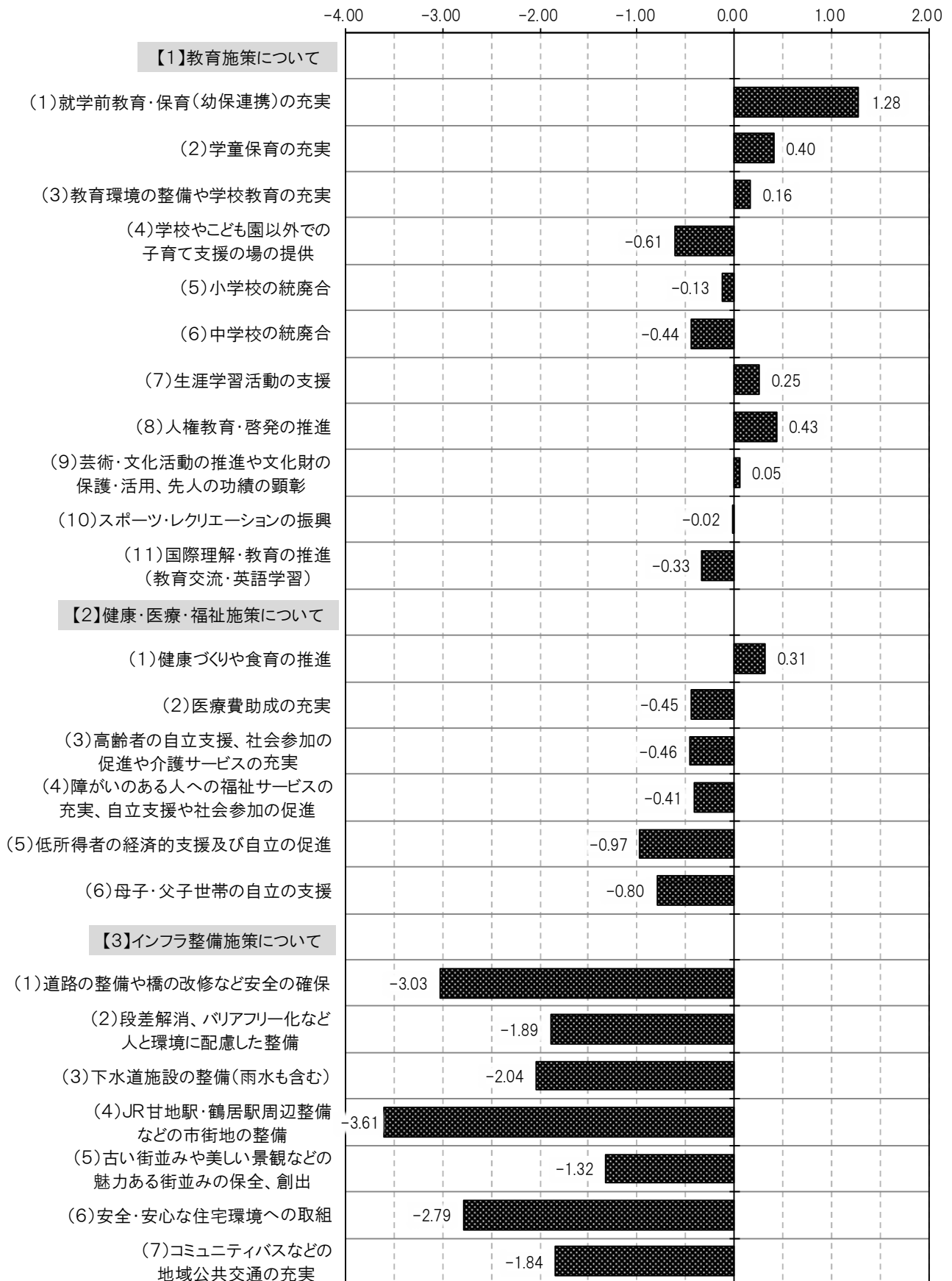
この指標による分析結果をみると、満足度評価が最も高い施策は「【1】（1）就学前教育・保育（幼保連携）の充実」（1.28）で、以下「【1】（8）人権教育・啓発の推進」（0.43）、「【1】（2）学童保育の充実」（0.40）、「【2】（1）健康づくりや食育の推進」（0.31）、「【1】（7）生涯学習活動の支援」（0.25）などの順となっている。

一方、相対的に満足度評価が低い施策としては、「【3】（4）JR甘地駅・鶴居駅周辺整備などの市街地の整備」（-3.61）、「【3】（1）道路の整備や橋の改修など安全の確保」（-3.03）、「【3】（6）安全・安心な住宅環境への取組」（-2.79）、「【3】（3）下水道施設の整備（雨水も含む）」（-2.04）、「【3】（2）段差解消、バリアフリー化など人と環境に配慮した整備」（-1.89）などがあげられる。

24項目中で平均評定値がプラス評価だったのは7項目、マイナス評価だったのは17項目となっている。

問27 満足度
全体(N=851)

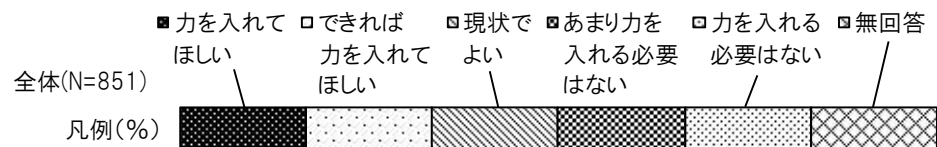
低い ← → 高い



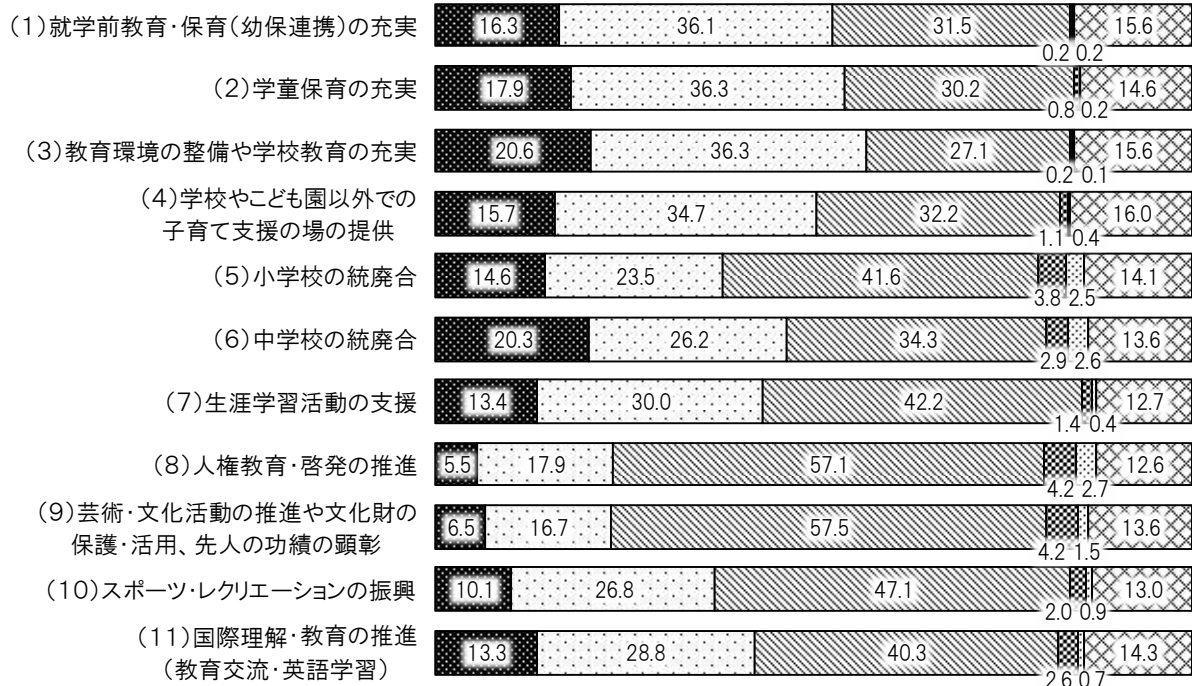
(2) 重要度

各施策 24 項目について、現在の重要度を 5 段階評価で質問したところ、「力を入れてほしい」「できれば力を入れてほしい」の合計割合が最も高かったのは「【3】(1) 道路の整備や橋の改修など安全の確保」(72.1%)で、以下「【3】(4) J R 甘地駅・鶴居駅周辺整備などの市街地の整備」(70.0%)、「【3】(6) 安全・安心な住宅環境への取組」(69.2%)、「【2】(2) 医療費助成の充実」(67.5%)、「【3】(2) 段差解消、バリアフリー化など人と環境に配慮した整備」(64.0%)、「【2】(3) 高齢者の自立支援、社会参加の促進や介護サービスの充実」(63.6%)、「【2】(4) 障がいのある人への福祉サービスの充実、自立支援や社会参加の促進」(60.7%)、「【3】(3) 下水道施設の整備（雨水も含む）」(59.0%)、「【3】(7) コミュニティバスなどの地域公共交通の充実」(58.3%)、「【1】(3) 教育環境の整備や学校教育の充実」(56.9%)などの順となっている。

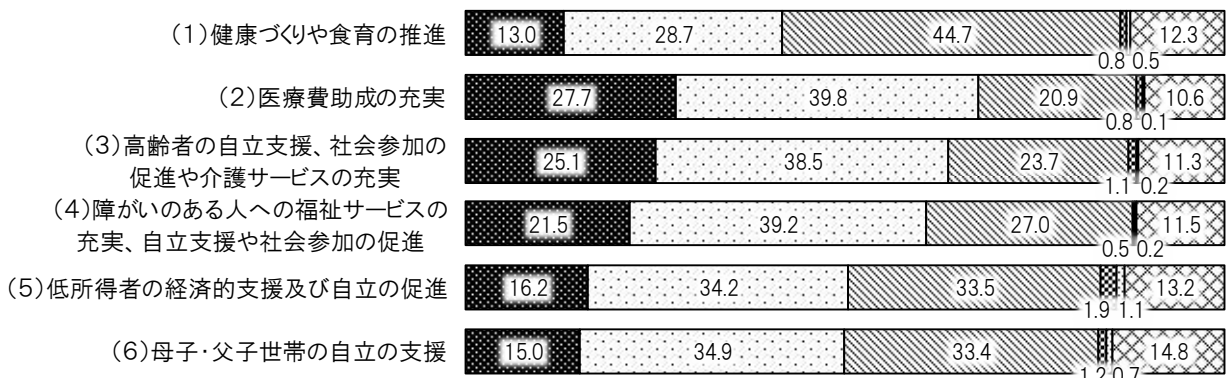
一方、「力を入れる必要はない」「あまり力を入れる必要はない」の合計割合が最も高かったのは、「【1】(8) 人権教育・啓発の推進」(6.9%)であり、次いで「【1】(5) 小学校の統廃合」(6.3%)、「【1】(9) 芸術・文化活動の推進や文化財の保護・活用、先人の功績の顕彰」(5.7%)、「【1】(6) 中学校の統廃合」(5.5%)、「【3】(5) 古い街並みや美しい景観などの魅力ある街並みの保全、創出」(4.7%)などの順となっている。



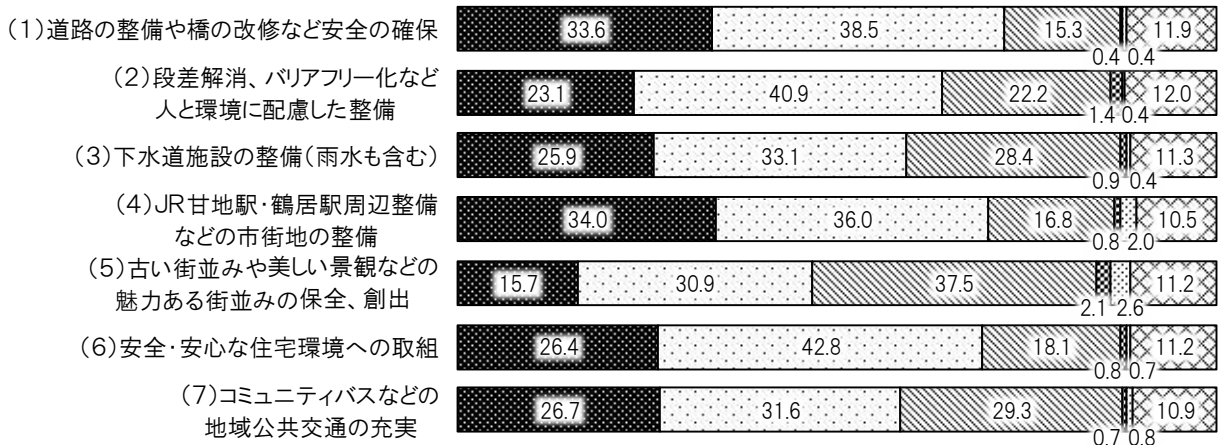
【1】教育施策について



【2】健康・医療・福祉施策について



【3】インフラ整備施策について



【重要度／平均評定値による集計】

重要度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化している。

○「重要度」については「力を入れてほしい」「できれば力を入れてほしい」への回答とともに、「あまり力を入れる必要はない」「力を入れる必要はない」「現状でよい」という選択肢もある。そのため、この「重要度」をよりの確に分析するために、平均評定値による指標化を行った。

○平均評定値は、「力を入れてほしい」に＋10点、「できれば力を入れてほしい」に＋5点、「あまり力を入れる必要はない」に－5点、「力を入れる必要はない」に－10点、「現状でよい」に0点の係数（ウェイト）を設定し、

【（「力を入れてほしい」の回答件数）×10（点）＋（「できれば力を入れてほしい」の回答件数）×5（点）＋（「あまり力を入れる必要はない」の回答件数）×－5（点）＋（「力を入れる必要はない」の回答件数）×－10（点）＋（「現状でよい」の回答件数）×0（点）】÷【回答者件数－無回答件数】

の計算によって算出し、指標としている。

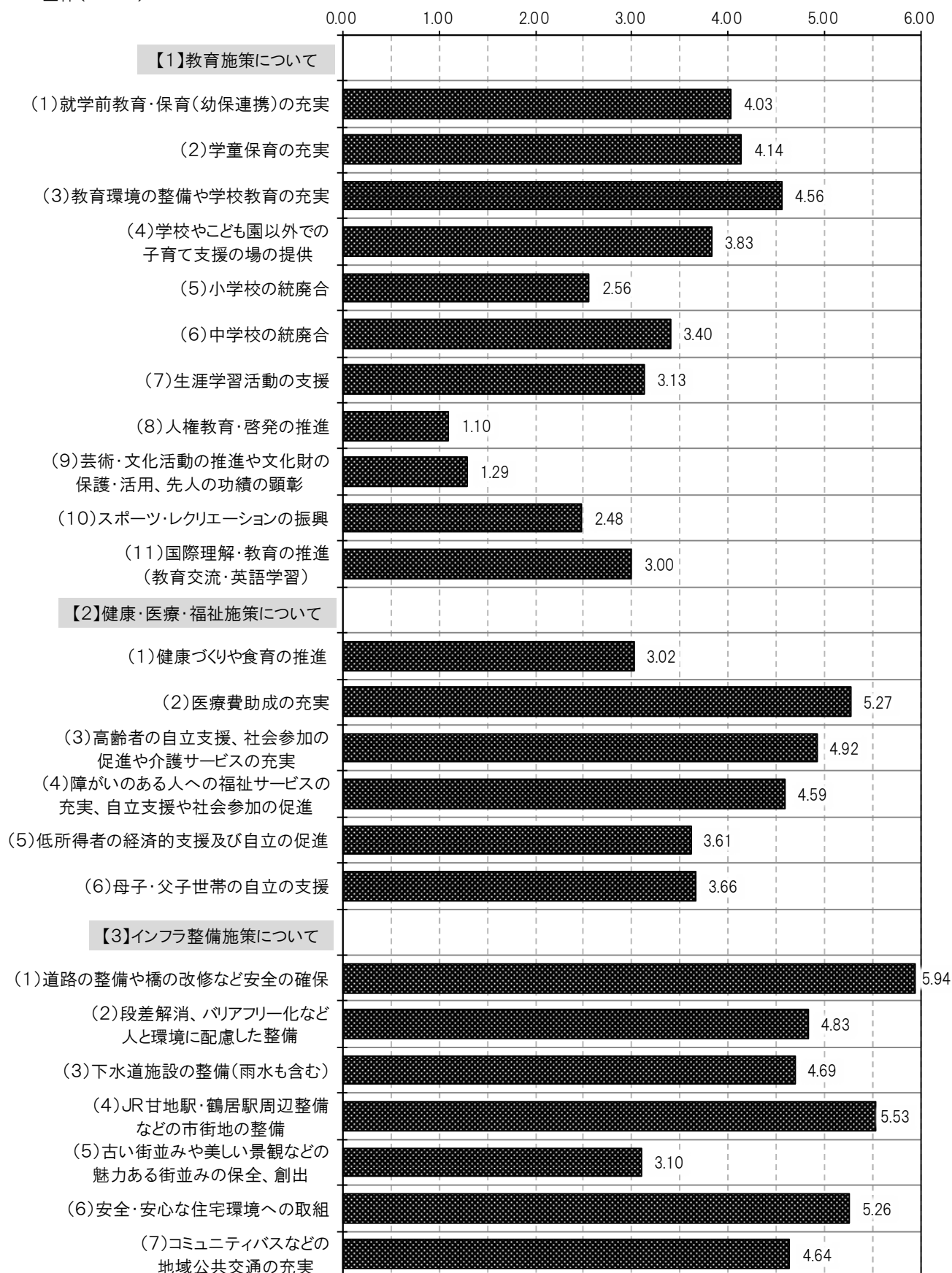
○この指標によって、「重要度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果をみると、重要度評価が最も高い施策は「【3】（1）道路の整備や橋の改修など安全の確保」（5.94）で、以下「【3】（4）JR甘地駅・鶴居駅周辺整備などの市街地の整備」（5.53）、「【2】（2）医療費助成の充実」（5.27）、「【3】（6）安全・安心な住宅環境への取組」（5.26）、「【2】（3）高齢者の自立支援、社会参加の促進や介護サービスの充実」（4.92）などの順となっている。

一方、相対的に重要度評価が低い施策としては、「【1】（8）人権教育・啓発の推進」（1.10）、「【1】（9）芸術・文化活動の推進や文化財の保護・活用、先人の功績の顕彰」（1.29）、「【1】（10）スポーツ・レクリエーションの振興」（2.48）、「【1】（5）小学校の統廃合」（2.56）、「【1】（11）国際理解・教育の推進（教育交流・英語学習）」（3.00）などがあげられる。

問27 重要度
全体(N=851)

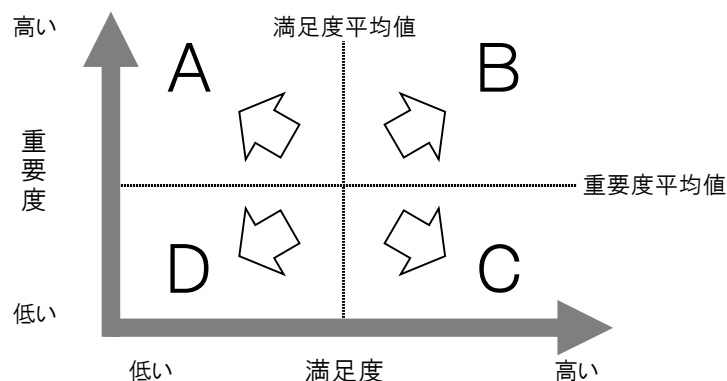
低い ← → 高い



（３）各施策の満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度の平均評定値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、24 の施策を散布図上に示したものが相関図である。

満足度と重要度の各平均値を基準としてA～Dの4つの領域に区分し、各施策がどの領域に配置されるのかを整理する。



4つの領域については、左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたい、以下のような傾向を示している。

A. 重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域。

B. 重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

C. 重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域。

D. 重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域。

【A 重点化・見直し領域】

A重点化・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【3】(1)道路の整備や橋の改修など安全の確保	-3.03	5.94
【3】(2)段差解消、バリアフリー化など人と環境に配慮した整備	-1.89	4.83
【3】(3)下水道施設の整備(雨水も含む)	-2.04	4.69
【3】(4)JR甘地駅・鶴居駅周辺整備などの市街地の整備	-3.61	5.53
【3】(6)安全・安心な住宅環境への取組	-2.79	5.26
【3】(7)コミュニティバスなどの地域公共交通の充実	-1.84	4.64

【B 現状維持領域】

B現状維持領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【1】(1)就学前教育・保育(幼保連携)の充実	1.28	4.03
【1】(2)学童保育の充実	0.40	4.14
【1】(3)教育環境の整備や学校教育の充実	0.16	4.56
【2】(2)医療費助成の充実	-0.45	5.27
【2】(3)高齢者の自立支援、社会参加の促進や介護サービスの充実	-0.46	4.92
【2】(4)障がいのある人への福祉サービスの充実、自立支援や社会参加の促進	-0.41	4.59

【C 現状維持・見直し領域】

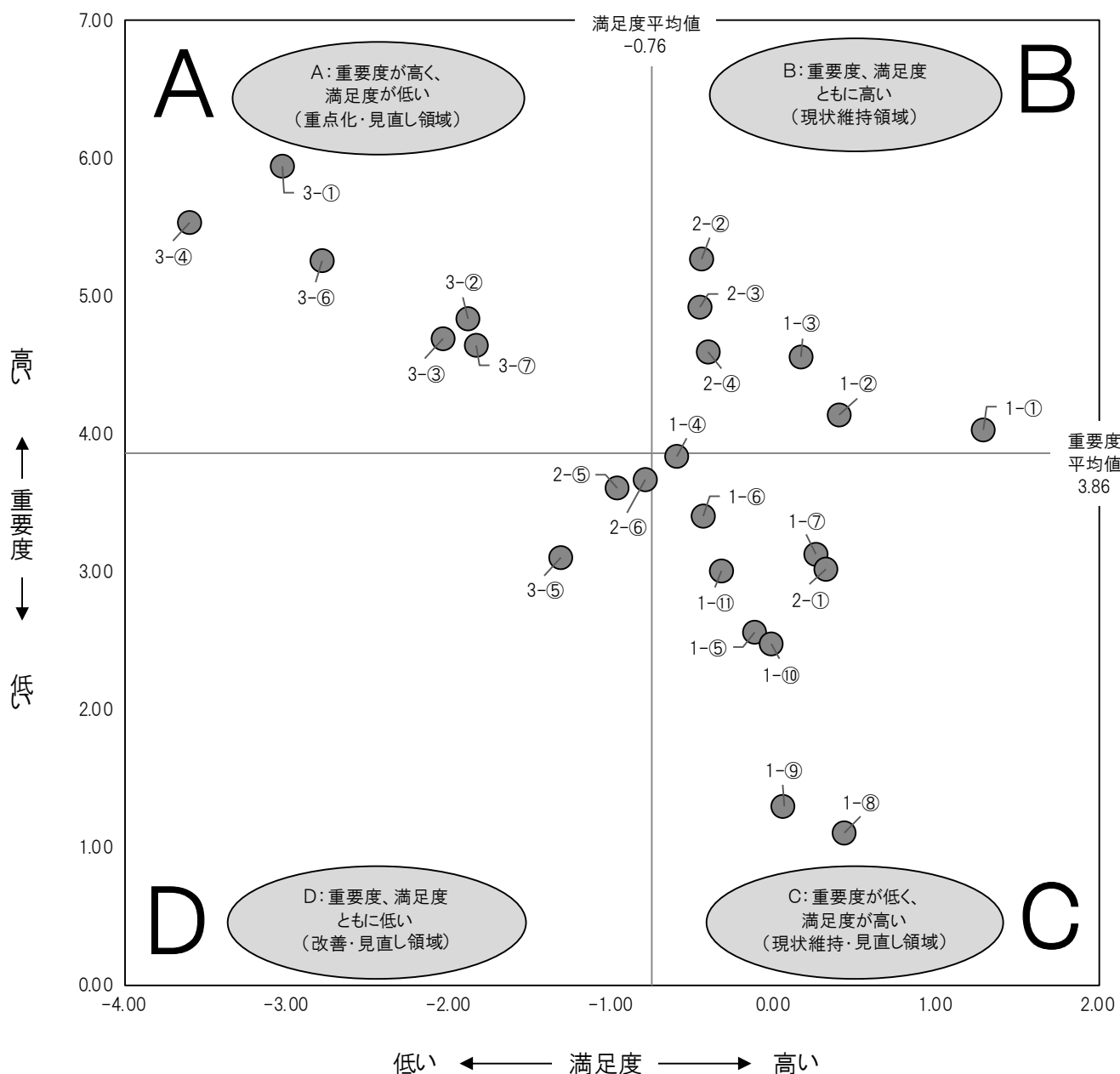
C現状維持・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【1】(4)学校やこども園以外での子育て支援の場の提供	-0.61	3.83
【1】(5)小学校の統廃合	-0.13	2.56
【1】(6)中学校の統廃合	-0.44	3.40
【1】(7)生涯学習活動の支援	0.25	3.13
【1】(8)人権教育・啓発の推進	0.43	1.10
【1】(9)芸術・文化活動の推進や文化財の保護・活用、先人の功績の顕彰	0.05	1.29
【1】(10)スポーツ・レクリエーションの振興	-0.02	2.48
【1】(11)国際理解・教育の推進(教育交流・英語学習)	-0.33	3.00
【2】(1)健康づくりや食育の推進	0.31	3.02

【D 改善・見直し領域】

D改善・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【2】(5)低所得者の経済的支援及び自立の促進	-0.97	3.61
【2】(6)母子・父子世帯の自立の支援	-0.80	3.66
【3】(5)古い街並みや美しい景観などの魅力ある街並みの保全、創出	-1.32	3.10



【1】教育施策について	領域
1-①就学前教育・保育(幼保連携)の充実	B
1-②学童保育の充実	B
1-③教育環境の整備や学校教育の充実	B
1-④学校やこども園以外での子育て支援の場の提供	C
1-⑤小学校の統廃合	C
1-⑥中学校の統廃合	C
1-⑦生涯学習活動の支援	C
1-⑧人権教育・啓発の推進	C
1-⑨芸術・文化活動の推進や文化財の保護・活用、先人の功績の顕彰	C
1-⑩スポーツ・レクリエーションの振興	C
1-⑪国際理解・教育の推進(教育交流・英語学習)	C

【2】健康・医療・福祉施策について	領域
2-①健康づくりや食育の推進	C
2-②医療費助成の充実	B
2-③高齢者の自立支援、社会参加の促進や介護サービスの充実	B
2-④障がいのある人への福祉サービスの充実、自立支援や社会参加の促進	B
2-⑤低所得者の経済的支援及び自立の促進	D
2-⑥母子・父子世帯の自立の支援	D
【3】インフラ整備施策について	領域
3-①道路の整備や橋の改修など安全の確保	A
3-②段差解消、バリアフリー化など人と環境に配慮した整備	A
3-③下水道施設の整備(雨水も含む)	A
3-④JR甘地駅・鶴居駅周辺整備などの市街地の整備	A
3-⑤古い街並みや美しい景観などの魅力ある街並みの保全、創出	D
3-⑥安全・安心な住宅環境への取組	A
3-⑦コミュニティバスなどの地域公共交通の充実	A

【6】自由記述回答集約結果

1 まちづくりに関する意見や提案等

問 34 あなたが将来に向けて町の行政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にご記入ください。

まちづくりについて、意見や提案等を自由記述方式で尋ねたところ、以下のような意見がみられた。なお、自由記述については、誤字等の修正を除き、原文に基づいて地区別に掲載している。

川辺小学校区

- ・行政主導で市川町の活性化を図ってほしい。町職員は、馴れ合いで仕事をするのではなく、市川町発展のために、長期・中期・短期に成すべきことを立案し、町民に提示してほしい。（男性 20 歳代）
- ・市川町の強みをもっと前面に出して発信する。（男性 20 歳代）
- ・町内の企業で、後継者がいないと困っているという話をよく聞きます。役場に相談窓口を設けたらいかがでしょうか。（男性 20 歳代）
- ・播但連絡道を活用した工業団地の開発及び企業の誘致。住宅地の開発。（女性 20 歳代）
- ・甘地駅に車を置いて電車で出かけたくても、役場に連絡しなければいけないので面倒です。もっと自由にとめられる場所があれば助かります。（女性 20 歳代）
- ・市川町は賃貸住宅が少ないように思う。賃貸住宅を増やすことでもっと若者が移住してくるのではないだろうか。私は市川町に住み続けたいと思うので賃貸住宅をつくってほしいと思う。（女性 20 歳代）
- ・若者が働く場がありません。友人に市川町のことを話しても、神河への通り道に過ぎないと言われます。（女性 20 歳代）
- ・中学校は 1 つにしたら良いと思います。中学校が違うと成人式で会っても知らない人がいる。（女性 20 歳代）
- ・道路を整備。道幅が狭く、危険な場所が多い。（女性 20 歳代）
- ・パチンコ店スイスの跡地に何かつくるべき。（男性 30 歳代）
- ・最近、市川町はイベントを開いたりして、観光に力を入れているのかなと思います。少子高齢化は加速しています。30 代の私たちからすると、自分たちが年老いた時にどのくらい住みやすい町になっているのかなと不安に感じる場合があります。まずは若い世代が市川町に住みたいと思える I ターン支援や子育て支援を充実させてほしいです。（男性 30 歳代）
- ・市川町を有名にする特化したものをつくれれば良いと思う。そもそも「ヒマワリ」と「アイアン」のどちらを推しているのかわからない。（男性 30 歳代）
- ・自然豊かな市川町なので、田舎は田舎らしくしてほしい。多少の不便ぐらいが良いと思う。自然環境の整備、維持・管理にも予算をかけてもらいたい。（男性 30 歳代）
- ・工業団地をつくり、若者が働きやすい町にする。駅周辺に商業施設や病院を誘致する。（女性 30 歳代）

- ・子育てがしやすい町づくり。フリーマーケットなどのイベント事業。（女性 30 歳代）
- ・飲食店等商業施設に力を入れて活気ある町にしてほしい。（女性 30 歳代）
- ・行政システムが周辺の市町に比べて古いと思います。（女性 30 歳代）
- ・今の子どもたちが、将来生活するのはやっぱり“市川町”だと思える町になってほしい。（女性 30 歳代）
- ・子ども園の行事がショボすぎる。参観なのに子どもたちの発表が 30 分間しかないのに
はびっくりしました。（女性 30 歳代）
- ・自然が美しくすばらしい町だとも思うが、日常的な交通の便が悪い。年配の方も自家用
車を利用せざるを得ない状況である。（女性 30 歳代）
- ・甘地駅前交差点が危ないのでロータリーをつくってほしい。（男性 40 歳代）
- ・空き家を利用した子育て世帯の移住促進。（男性 40 歳代）
- ・現状では高齢者の多い過疎の町となります。民間の知見を町政に生かす仕組みをつくり、
この閉塞状況を打破してください。（男性 40 歳代）
- ・職員のサービス向上に努めてほしい。（男性 40 歳代）
- ・甘地駅までの電車の本数を増やしてほしい。市川から通えるようにしてほしい。（女性
40 歳代）
- ・空き家が増えています。安全面で不安があるので、もっと活用できないか考えてほしい
です。（女性 40 歳代）
- ・限られた財源の中で町政を行わなければならない。場合によっては、町職員の給料の見
直しも必要。（女性 40 歳代）
- ・高齢化や少子化が身近になっていると感じます。その一つに空き家が増えており、後継
者がいないままになっています。今では廃墟となっており、治安の面でも気になってい
ます。きれいな町づくりは見栄えもあると思います。（女性 40 歳代）
- ・高齢者が運転免許を返納しても困らないようにコミュニティバス等の拡充をお願いします
。（女性 40 歳代）
- ・大きな病院があればいいと思います。（女性 40 歳代）
- ・市川町は姫路から日本海へ行く途中にあります。民泊や田舎の宿のような観光事業を増
やすことが必要と考えます。（男性 50 歳代）
- ・他市町村での成功事例を手本にする。（男性 50 歳代）
- ・大きなことは望んでいません。不適正なこと、不祥事などがない町づくりをお願いします
。（男性 50 歳代）
- ・通学路の防犯対策を切に願います。（男性 50 歳代）
- ・“市川町に住めば教育環境が充実している”“市川町に住めばスポーツにすごく熱心に
取り組んでいる”というようにソフト面に力を入れたら良いのではないかと思います。
（女性 50 歳代）
- ・コミュニティバスに力を入れているが、通っていない場所もあるので不便。本数と場所
を確保してほしいです。（女性 50 歳代）
- ・子育て世帯への助成。（女性 50 歳代）
- ・市川町にずっと住み続けている若者にもっと光を当ててほしい。移住者ばかりに目が向
いているような気がする。（女性 50 歳代）
- ・税金を減らしてほしい。税金が高い。（女性 50 歳代）

- ・体育館やテニスコートなどを無料にしてほしい。子育て世帯や老人世帯にもプラスになる。平日の昼間は利用者が少ないのではないかな？（女性 50 歳代）
- ・農業の担い手が少ないので、営農組合をもっと増やしてほしいです。（女性 50 歳代）
- ・福崎町のように工業団地ができればいいと思う。（女性 50 歳代）
- ・ふるさと納税の有効活用。道の駅などの産直施設をつくってほしい。市川町に定住してもらうために子育て世代の経済的負担を減らす。（男性 60 歳代）
- ・子育て及び教育環境の整備。下水道の整備。（男性 60 歳代）
- ・まずは人づくりから!!（男性 60 歳代）
- ・若い世代が移住してくれるような町づくりにすることが必要かと思いますが、高齢者にとっても住みやすい環境を望みます。（医療施設や移動手段の充実）（男性 60 歳代）
- ・小畑地区をはじめ、各地で黒豆が栽培されており、J A等に出荷されている。丹波篠山の特産品ではあるが、市川町の黒豆大豆の枝豆の美味しさはあまり知られていない。休耕地を活用して市川町の特産品としてPRできるのではないだろうか。（男性 60 歳代）
- ・瀬加〜八千代線の拡幅工事。（男性 60 歳代）
- ・町議会議員数の適正化。（男性 60 歳代）
- ・文化センターの有効活用。（映画やコンサートなど）（男性 60 歳代）
- ・ひまりん朝市についてですが、もっと人が集まるように出店数の工夫及びPRをしたほうが良いと思います。出店数が少なく毎回ワンパターンで、お客も減っていると思います。（女性 60 歳代）
- ・ひまわりホールを活用を図り、文化・芸術の拠点として町外に発信していく。（女性 60 歳代）
- ・企業誘致に力を入れる。（女性 60 歳代）
- ・基本的に公平であること。（女性 60 歳代）
- ・橋本忍さんを前面に出して、「映画の里」という観光地をつくったらいいいと思う。（女性 60 歳代）
- ・合併浄化槽の設置が進んでいない。地域でも呼びかけはしているが、もっと町からも声を上げてほしい。地域の水に関心を持ってもらいたい！（女性 60 歳代）
- ・私たちが市川町に来た時は、甘地駅前はまだ明るい感じがしていました。お店でもあれば明るくなるのではないかと思います。（女性 60 歳代）
- ・粗大ゴミの回収を月に1回でも良いのでつくっていただきたいです。姫路市は月2回の回収です。うらやましいです。（女性 60 歳代）
- ・他町に比べて全ての面で遅れていると思います。財政難と聞きますが、お金がないとできないのでしょうか？できることもあると思いますよ！市川町の将来像を町民にアピールするべきです。（女性 60 歳代）
- ・町民が、自然にボランティア活動に参加できる市川町になれたらいいと思います。（女性 60 歳代）
- ・播但道にETCの出入口があるのだからそれを生かした町づくりをする。（女性 60 歳代）
- ・福崎町や神河町に比べると市川町の知名度が低いように思われる。もっと積極的にPRしてほしい。（女性 60 歳代）
- ・甘地駅及び鶴居駅周辺の整備の早期着工。（男性 70 歳代）

- ・区長になり手が無い。（男性 70 歳代）
- ・財源を確保するために市川町としてどのような取組をしているのか、具体的に町民に説明してほしい。将来の展望がよくわからない。（男性 70 歳代）
- ・総花的な取組ではなく、特化した取組を充実し、市川町の特徴をつくる。（男性 70 歳代）
- ・他市町には道の駅がありますが、市川町でも人が集まる場所が必要だと思います。（男性 70 歳代）
- ・町政懇談会において、多くの意見や要望が出されその集約結果は公表されているが、具体的にどのように取り組まれ、改善されたのか報告されていない。町民にわかりやすく説明してほしい。（男性 70 歳代）
- ・各自治会の活動を強化し、行政をスリム化することによって、意見・情報のさらなる強化を図っていく。町の収入源の向上として、大規模な太陽光発電を行い、来るべき電池革命と合わせてクリーンエネルギーの供給元としての地盤づくりを行うべき。（女性 70 歳代）
- ・他の町に比べると税金が高くないですか？（女性 70 歳代）
- ・今の時代、何かといえばホームページを見てくださいと言われるが、全ての人がスマホやパソコンを持っているとは限らない。時代の波に乗り遅れている人間にとって、わからないことだらけです。これから先どうすれば情報を得られるのでしょうか？（女性 70 歳代）
- ・借入金が多いので減らしてほしい。（女性 70 歳代）
- ・小畑川の草や木が大きくなりすぎています。「この川は県が管理している」と聞いたことがあります、市川町から県には言えないのでしょうか？災害が起こってからでは遅いと思います。（女性 70 歳代）

瀬加小学校区

- ・公共交通機関の充実。（男性 30 歳代）
- ・少子高齢化に対する対策に関して、現場での分析結果を踏まえ、中・長期計画を立案し、広報紙等に記載してほしいです。（男性 30 歳代）
- ・ふるさと納税に力を入れる。（女性 30 歳代）
- ・市川町は生まれ育った所だが魅力が少ない。（男性 40 歳代）
- ・税収増に向けた前向きな取組を期待します。（男性 40 歳代）
- ・行政の情報公開。企業誘致。（男性 50 歳代）
- ・旧 4 ヶ村が共に繁栄するのは無理だと思う。コンパクトシティ化を進めるべき。姫路市との合併が良いと思う。（男性 50 歳代）
- ・合併しないことを選んだ市川町として、若者が住みたいと思う町づくりが一番大事ではないかと思う。そのためには若者は何を望んでいるかということ把握することが大事。（男性 50 歳代）
- ・せめて市川町で育った子どもたちが町外へ流出しないように職の確保をしたいものです。若者にとって魅力的な町になってほしいです。（女性 50 歳代）
- ・駅前にコンビニがほしい。（女性 50 歳代）
- ・市川町が他自治体より優れているところを前面に打ち出していく。（女性 50 歳代）

- ・若い世代の人たちが住みやすい町であることを望みます。（女性 50 歳代）
- ・若い世代を市川町に集めるための対策。（女性 50 歳代）
- ・瀬加の道路を広くしてほしい。（女性 50 歳代）
- ・リタイア後に帰りたいと思う町づくり。（男性 60 歳代）
- ・釜坂峠のトンネル化。（男性 60 歳代）
- ・空き家対策。（男性 60 歳代）
- ・県道 3 路線の拡幅工事を早期に実現してほしい。（男性 60 歳代）
- ・交通アクセスを整備することで、定住促進を図る。（男性 60 歳代）
- ・交通量の多い県道の整備と補修。（男性 60 歳代）
- ・市川町はあらゆるものが中心地区に集中している。過疎化地域を増やしては町が潤うわけがないと思います。（男性 60 歳代）
- ・住民税が高いと思う。（男性 60 歳代）
- ・町づくりは住民一人一人の心の持ち方が一番だと感じます。そのためには小学生から、市川町の歴史を教えていくことが大事だと思います。（男性 60 歳代）
- ・町職員の適正人員を望む。（男性 60 歳代）
- ・道路整備の促進。（男性 60 歳代）
- ・釜坂トンネルをつくってほしい。加西市とつながることで生活圏の幅が広がる。（女性 60 歳代）
- ・運転ができなくなった時のためにシャトルバスは続けてほしい。（女性 60 歳代）
- ・県道 34 号線の道路整備をお願いします。（女性 60 歳代）
- ・公民館でいろんな講座を開設して積極的に利用してほしいです。（女性 60 歳代）
- ・町長自らが、町内を巡回して町民の意見を定期的に聞く。（女性 60 歳代）
- ・道を広げてほしい。（女性 60 歳代）
- ・道路をきれいにしてほしいですね。（女性 60 歳代）
- ・利用する人の身になって、もっと地域公共交通の充実を考えてほしい。（女性 60 歳代）
- ・道路の整備。企業の誘致。観光地の整備。（男性 70 歳代）
- ・312 号線で、「ここからが市川町です」という建物等が見当たらない。市川町の特産品を P R するために道の駅を設置 してほしい。行政懇談会では「考えていない」との回答であったが、ぜひ実行してほしいと思います。（男性 70 歳代）
- ・市川町は話題性もなく、自慢できるものがない。（男性 70 歳代）
- ・大きな声よりも小さな声。（男性 70 歳代）
- ・子どもたちが、将来市川町に帰ってきたくなるような町にしてほしいです。（女性 70 歳代）
- ・市川町は、今まで真剣に市川町のことを考えてこなかったと思います。未だに本気で取り組みもうという気持ちを感じられません。職員が市川町民でないのは、市川町が住みにくい町だからという証明だと思います。職員全員が市川町民になった時に、住みよい市川町になっていると思います。（性別、年齢不明）

甘地小学校区

- ・空き家をリノベーションして安く売り出してほしい。（男性 19 歳以下）
- ・甘地駅周辺に買物ができる場所がほしい。（女性 20 歳代）

- ・居住先を考えている若い世代にとっては、“神崎郡”の郡という響きだけで田舎や不便であるなどのマイナスイメージを持ち、居住先の候補から外れてしまうこともあると思う。隣町と連携を図って“市”として大きな集団になってから、行政を見直すことが大切だと思います。（女性 20 歳代）
- ・役場は土・日・祝も対応してほしい。平日は仕事で、なかなか役所に行けない。（男性 30 歳代）
- ・子どもが少ないのに子ども園になるのがすごく遅い。下水道工事がなかなか進まないの
で、新しい家が建たない。（女性 30 歳代）
- ・子どもたちが安心して暮らせるように、優しい住環境づくりをしてほしい。小児科や病
児保育などの施設がほしい。（女性 30 歳代）
- ・クラシックコンサートなど文化・芸術に力を入れる。町外からも人を呼べると思います。
（女性 30 歳代）
- ・以前、ケガをして運転が出来なくなった時に移動手段がなく、大変困りました。高齢者
が運転免許を返納しても困らないようにコミュニティバスの拡充をお願いします。市川
町は J R もバスも利用しづらいですが、コミュニティバスがあれば高齢者は生活が便利
になると思います。（女性 30 歳代）
- ・花植え活動や掃除など、景観づくりに町も協力してほしい。（女性 30 歳代）
- ・甘地駅前土地に、以前のように買物施設を建設してほしい。（女性 30 歳代）
- ・空き家対策。（女性 30 歳代）
- ・高齢者を含め、移動手段の増えることが望ましい。（女性 30 歳代）
- ・国道 312 号線沿いのマックスバリュや病院付近に花などを植えたりして、見た目を明る
く豊かにする。（女性 30 歳代）
- ・小さい子どもが安心して遊べる公園がなくて困っています。（女性 30 歳代）
- ・税金の軽減。経済的な負担が多いと若い人たちが市川町から出て行くと思う。（女性
30 歳代）
- ・現在は自動車の運転もできるため、買物や通院に不便はないけれど、年配の方は交通手
段が少なく、不自由な思いをされているのではないかと思います。（男性 40 歳代）
- ・子育て家庭です。子育てがしやすい町づくりを望みます。（男性 40 歳代）
- ・市川町には観光の目玉となるものがない。観光に力を入れるのではなく、子育て世帯へ
の施策の充実を図ったほうが良いと思う。（男性 40 歳代）
- ・買物ができるスーパーが増えれば生活も便利になると思います。（男性 40 歳代）
- ・隣の福崎町や神河町と比べると市川町は何もない。便利が悪い。駅周辺に何もない。市
川町の努力が感じられない。（男性 40 歳代）
- ・F B I 大山のようなオシャレで若者やファミリーが来たくなるような町づくり。（女性
40 歳代）
- ・神河町では女優の「のんさん」を起用して、いろいろなメディアに出て町の P R にもなっ
ています。市川町でも取り組んでみてはどうでしょうか？ Y o u t u b e でも良いと思
います。（女性 40 歳代）
- ・役場の窓口の対応が気持ちの良いことを望みます。（女性 40 歳代）
- ・甘地駅前の交通整備。（男性 50 歳代）
- ・教育や産業、防災を中心に取り組んでもらいたい。（男性 50 歳代）

- ・住宅の整備や子育て環境の充実を図らないと人口減は止められない。（男性 50 歳代）
- ・市川の河川敷を整備し、キャンプ場等の場を設ける。（女性 50 歳代）
- ・町おこしに力を入れて観光客が増えるように取り組んでほしい。（女性 50 歳代）
- ・キャラクター（ひまりん）の徹底活用。町花（ひまわり）の周知化。町民が参加しやすいイベント企画の実施。（男性 60 歳代）
- ・経費節減に対する意識が甘い。駅前整備の対策過程が見えない。必要な道路網の整備。（男性 60 歳代）
- ・子どもから高齢者まで楽しめるイベントをいろいろと企画してほしい。町花のひまわりの種を配布して、いろいろな場所に花を咲かせたら良いと思う。（男性 60 歳代）
- ・甘地駅前交差点（5 差路）の改善。（男性 60 歳代）
- ・企業の誘致等、福崎町のまちづくり課を手本にしてほしい。（男性 60 歳代）
- ・給食センター前の道路の拡張。（男性 60 歳代）
- ・高齢化が進んで行くと交通手段に不安を感じます。バスもなくなってますます不便になり、魅力のない町になっていきます。甘地駅と鶴居駅の間にもう一つ、駅がほしいです。（男性 60 歳代）
- ・若者が住みたいと思う魅力ある町づくり。（男性 60 歳代）
- ・若者の雇用促進対策。他町と比べ遅れている。（男性 60 歳代）
- ・充実した介護サービスが受けられるように望みます。（男性 60 歳代）
- ・食料品店の誘致。（男性 60 歳代）
- ・先日テレビを見ていたら、高校の授業で自分たちの町を考える時間があるという番組があった。若い子どもたちの柔軟な考えやアイデアを市川町も取り入れたらどうかなとテレビを見て思いました。（男性 60 歳代）
- ・太陽光発電など、景観を損ねるものの新設に対しては、厳しい条例を決めてハードルを高くしてほしい。（男性 60 歳代）
- ・老後の生活に不安がない町にしてください。（男性 60 歳代）
- ・税金滞納者を 1 人でも減らすこと。職員の時間外労働（残業）を減らすこと。（女性 60 歳代）
- ・ひまわりホールの有効活用。（女性 60 歳代）
- ・ひまわり畑をつくって見に来てもらう。（女性 60 歳代）
- ・駅周辺の不便さが気になります。駐車場も少なく、甘地駅に駐車するのは無理なようにも思います。（女性 60 歳代）
- ・甘地駅前にスーパーやコンビニがあると便利です。（女性 60 歳代）
- ・空き家が増え、雑草が目立つようになりました。自治体を中心に、きれいな町づくりを実施できないのでしょうか。（女性 60 歳代）
- ・高齢になって自家用車に乗れなくなったらどうなるのが不安です。（女性 60 歳代）
- ・市川町に住んで 1 年になります。空き家が多いのにびっくりしています。空き家をリノベーションして若い人たちに貸すのはどうでしょうか？町が活性化されると思います。（女性 60 歳代）
- ・若い人が働ける職場が増えると良いと思う。（女性 60 歳代）
- ・役場の人の残業代を減らしてください。そのお金を福祉にまわしてください。（女性 60 歳代）

- ・商業施設や住宅地をからめた駅周辺の再開発。（女性 60 歳代）
- ・宅地分譲への積極的な取組。若者に対する住宅建設資金の一部支援。（男性 70 歳代）
- ・スポーツ・文化の振興を計画的に図る。（男性 70 歳代）
- ・町内には各営農組合があると思います。観光農園や貸し農園はいかがですか？神戸や大阪からもそれほど時間がかからないと思います。また、里山公園も良いと思います。（男性 70 歳代）
- ・農産物の販売機会を増やしたら良いと思います。（女性 70 歳代）
- ・民生委員で、業務上で知り得た情報を他人にしゃべっている人がいる。選任基準はどうなっているのでしょうか？任期は一期だけにしよう希望したいです。（女性 70 歳代）

鶴居小学校区

- ・市川町の高齢化に対し、医療や買物など自動車に依存しない環境づくりをお願いします。（男性 20 歳代）
- ・子どもが安心して歩ける通学路の整備。学童の充実。（女性 20 歳代）
- ・若者が定住しづらい町であることは確かだと思います。高齢者に対する支援も不可欠だと思いますが、若者が住みやすい町にすることは何よりも優先すべきことではないでしょうか？（女性 20 歳代）
- ・中山間地域において高齢者が増加する一方で、日常生活に必要な物資を入手できる場所は減少している。また車での移動を余儀なくされており、重大な事故につながる可能性が高い。地域で購入物資の要望をとりまとめ、買い出しできるような仕組みづくりが必要と考えます。（女性 20 歳代）
- ・空き家の再利用の促進。以前、移住や借家の相談を受けたことがあるが、空き家の実態がわからなかったので相談に乗れなかった。（男性 30 歳代）
- ・市川町に定住したいと思えるような住宅支援制度を導入してほしい。そして子育て支援に力を入れていただければ安心してこの町に住めると思います。（男性 30 歳代）
- ・住民税をもう少し安くしてほしいです。（男性 30 歳代）
- ・役場の交差点に右折レーンをつくってほしい。（男性 30 歳代）
- ・ひまわりの種とタズミの卵を使った商品開発。（女性 30 歳代）
- ・空き家が多すぎる。持ち主が健在のうちに更地にしてもらいたい。それができなければ、町がどうかしてほしい。（女性 30 歳代）
- ・子育て支援も大切ですが、親が高齢になってきています。家に引きこもらずに済むサービスや困った時に助けてもらえるサービスがあればいいなと思います。（女性 30 歳代）
- ・紙ベースのパンフレットと連動して観光案内にもWEBを活用して、お散歩マップやサイクルマップなどをPRする。（女性 30 歳代）
- ・自然災害が多いので市川の氾濫がとても心配です。災害が起こってから整備するのでは遅いので、いち早く整備して安心・安全に生活できることを望んでいます。（女性 30 歳代）
- ・隣町では障がい者の通勤等に交通費が補助されるそうです。市川町にはありません。高齢者や障がい者支援を充実させてほしいです。（女性 30 歳代）
- ・もっと企業誘致に力を入れるべきだと思います。（男性 40 歳代）

- ・限られた財源の中での活動は厳しいところもあるでしょうが、このアンケートを参考に
して、良い町づくりを検討してもらえたらありがたいです。（男性 40 歳代）
- ・就業率を上げるために、他地域（通勤圏内）の雇用情報の提供をする。（男性 40 歳代）
- ・人口が減少しているので、もっと若い人たちにも住んでもらえるような町づくり。（男
性 40 歳代）
- ・市川町は子育てがしにくい。見守り隊やボランティアを募って、もう少し子どもの見守
り体制を整えてほしい。姫路市や福崎町を見習ってほしい。（女性 40 歳代）
- ・若い世代が増えるようにしていただきたい。（女性 40 歳代）
- ・都市化を目指すのではなく、田舎にしかできない町おこしに取り組んではどうかと思ひ
ます。自然豊かな環境を生かし、グランピング施設やオートキャンプ場をつくれば雇用
も生まれ、都市部から観光に訪れる人も増えると思います。（女性 40 歳代）
- ・文化センターでのイベントの開催。（女性 40 歳代）
- ・隣町と比べると少し地味な感じもしますが、あまり宅地開発をし過ぎず、豊かな自然を
守ってください。（女性 40 歳代）
- ・高齢者の交通や買物等移動手段の確保。子育てがしやすい町。（男性 50 歳代）
- ・甘地駅や鶴居駅が無人状態では話にならない。売店をつくるなどして、明るい雰囲気づ
くりを行う必要がある。（男性 50 歳代）
- ・企業や商業施設の誘致により、雇用も増え、若者が増える町となる。（女性 50 歳代）
- ・空き家の活用。（女性 50 歳代）
- ・子育て支援の強化。（女性 50 歳代）
- ・私の家の周辺は空き家ばかりです。だんだんと住人が減っていくのはなぜなんだろうと
よく考えます。（女性 50 歳代）
- ・鶴居駅が無人になってますます交通の便が悪くなった気がします。車がなければ食料品
も買えない。住みづらいです。（女性 50 歳代）
- ・文化センターでのイベントを期待します。（女性 50 歳代）
- ・“市川町民です”と胸を張って言える町づくり。（男性 60 歳代）
- ・今回の町づくりに関するアンケートを集約し、町の総合戦略の指針となるように望みま
す。防災・減災が叫ばれる中、地域防災計画を町民に向けて更なる周知徹底をお願いし
たい。（男性 60 歳代）
- ・財政の情報公開を今まで以上に実施してほしい。空き家対策で、若者の定住を進めてほ
しい。医療、福祉の充実。（男性 60 歳代）
- ・姫路市と合併。駅周辺の整備。（男性 60 歳代）
- ・ゴミ処分場は市川町に建設すべきでは？十数年前に旧神崎町に建設されましたが、今回
は福崎町も含めた三町で建設です。中間に位置する市川町で建設・運営すべきです。議
会での良識ある判断をお願いします。まだ間に合いますよ！（男性 60 歳代）
- ・近隣の自治体と比べ、恥ずかしくない行政運営をお願いします。（男性 60 歳代）
- ・災害時の避難場所や避難経路を住民に徹底してほしい。（男性 60 歳代）
- ・市川町唯一の宿場町である「屋形地区」を町内外に知ってもらう工夫を、行政のバック
アップのもとに考えていく。（男性 60 歳代）
- ・人口減少を食い止める施策を最優先に実施してほしい。そのためには若い人が住みやす
いように鶴居駅や甘地駅周辺の住宅開発をしてほしい。（男性 60 歳代）

- ・福祉や医療に力を入れて住みやすい町づくりをお願いします。（男性 60 歳代）
- ・広大で豊かな自然を利用したスポーツ公園や町のシンボルであるヒマワリ畑のある緑化公園をつくって、町外からも集客する。（女性 60 歳代）
- ・高齢者のための交通移動手段を確保してください。（女性 60 歳代）
- ・子どもにも高齢者にも身障者にも優しい町づくりをお願いします。（女性 60 歳代）
- ・市川町の自然を生かした公園はいかがでしょうか？（女性 60 歳代）
- ・自然を生かしたキャンプ場とかアスレチック施設などをつくり、町外のお客さんを取り込むように考える。（女性 60 歳代）
- ・町民に寄り添った施策。（女性 60 歳代）
- ・各種団体のトップで、5 年以上経過した人は辞退すべき。トップの期間が長すぎる。（男性 70 歳代）
- ・行政懇談会が単なるパフォーマンスに終わることなく、ぜひ実行していただきたいです。（男性 70 歳代）
- ・市川町を大切にし、シンプルな町づくりを希望します。（男性 70 歳代）
- ・町外から遊びに来てくれる町づくり。（男性 70 歳代）
- ・町外の眼科に通っています。コミュニティバスを利用していますがとても不便です。バス停の場所を再検討してほしいです。（女性 70 歳代）
- ・鶴居駅のトイレが汚すぎます。何とかありませんか？（女性 70 歳代）
- ・子育て中です。保育料が高いです。他市町に比べ、子育てがしにくい町だと思っています。（女性、年齢不明）

市川町 まちづくりに関するアンケート 報告書

発 行／令和元年（2019 年）12 月
発 行 者／兵庫県 市川町
問 合 せ 先／市川町役場 企画政策課
〒679-2392 兵庫県神崎郡市川町西川辺 165-3
TEL（0790）26-1010
FAX（0790）26-1049
